

令和5年度太宰府まちづくり市民意識調査
報 告 書

太 宰 府 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の性格	1
(1) 調査地域	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査対象者数	1
(4) 抽出方法	1
(5) 調査方法	1
(6) 調査期間	1
(7) 回収状況	1
3. 調査項目	2
4. 調査結果利用上の注意	3
第2章 調査結果の分析	7
第1節 回答者の属性	7
1. 性別（問1）	7
2. 年齢（問2）	8
3. 世帯構成（問3）	9
4. 職業（問4）	10
5. 小学校区（問5）	11
6. 居住年数（問6）	12
第2節 住みやすさについて	13
1. 本市の住みやすさ（問7）	13
2. 住みやすい理由（問8）	14
3. 住みにくい理由（問9）	16
第3節 本市の行政運営について	18
1. 市政への関心度（問10）	18
2. 市政への信頼度（問11）	19
3. 効果的な行政運営に対する評価（問12）	20
4. 市職員の対応・姿勢に対する満足度（問13）	21
5. まちづくりビジョンの認知度（問14）	22
6. 本市が行っている施策について	23
(1) 施策の重要度（31 施策）（問15）	23
(2) 施策の満足度（31 施策）（問15）	28
(3) 重要度と満足度の相関関係	33
(4) 重要度と満足度の領域別相関関係	34
(5) 令和4年度の重要度と満足度の相関関係との比較	35
7. 太宰府市自治基本条例の認知度（問16）	37

第4節 日頃の暮らし、行動について	38
1. 子育てのしやすさ（問17）	38
2. 生きがいの実感（問18）	39
3. 高齢者福祉サービスの充実度（問19）	40
4. 障がい福祉サービスの充実度（問20）	41
5. 公共施設の弱者への配慮（問21）	42
6. 民間施設の弱者への配慮（問22）	43
7. 交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況（問23）	44
8. 地域福祉の推進状況（問24）	45
9. 健康状態（問25）	46
10. 健康増進の取り組み状況（問26）	47
11. 健康診査の受診状況（問27）	48
12. 災害に対する日頃の備え（問28）	49
13. 消防団の認知度（問29）	51
14. 防犯面の安心度（問30）	52
15. 人権侵害の経験の有無（問31）	53
16. 人権侵害の経験の内容（問32）	54
17. 市内での人権の尊重（問33）	56
18. 固定的な役割分担に対する考え方（問34）	57
19. DVを受けた経験がある場合の相談経験（問35）	58
20. 生涯学習活動の取り組み状況（問36）	59
21. 運動・スポーツの取り組み頻度（問37）	60
22. 文化芸術活動の取り組み状況（問38）	61
23. 地域の環境マナーの順守状況（問39）	62
24. 地域の美化運動への参加状況（問40）	63
25. 市内の自然の豊かさ（問41）	64
26. 野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所（問42）	65
27. 生ごみ堆肥化の取り組み状況（問43）	66
28. 不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況（問44）	67
29. 省エネルギー・省資源の活動状況（問45）	68
30. 環境に関する学習会等の参加状況（問46）	69
31. 市内の歴史的景観の美しさに対する評価（問47）	70
32. 居住地区のまちなみに対する評価（問48）	71
33. 住環境の快適さに対する評価（問49）	72
34. 商業施設等の利便性に対する評価（問50）	73
35. 市内のバスの利便性に対する評価（問51）	74
36. コミュニティバスの利用頻度（問52）	75

37. コミュニティバスの運賃や利便性に対する評価（問 53）	76
38. 市内の鉄道の利便性に対する評価（問 54）	77
39. 市内の道路の円滑性に対する評価（問 55）	78
40. 外出時の移動手段（問 56）	79
41. 日頃の買い物場所（問 57）	80
42. 歴史・文化遺産に対する評価（問 58）	81
43. 本市の日本遺産や市民遺産に対する認知度（問 59）	82
44. 観光客の来訪に対する評価（問 60）	83
45. 本市の観光に必要なこと（問 61）	84
46. 姉妹都市、友好都市締結の認知度（問 62）	86
47. 自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況（問 63）	88
48. ボランティア活動への参加状況（問 64）	89
49. 市民と行政との情報共有（問 65）	90
50. 本市が発信している情報を得ている媒体（問 66）	91
51. 行政情報の接触状況（問 67）	92
52. 市議会が発信している情報を得ている媒体（問 68）	94
53. 市議会情報の接触状況（問 69）	95

附属資料＜使用した調査票＞ 99

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の声を市政に活かし市民参画の行政を進めていくため、市民の生活実態や問題意識、現状の施策に対する評価、今後のまちづくりに対する期待などを把握し、今後のまちづくりの基礎資料とする目的で実施した。

2. 調査の性格

(1) 調査地域

太宰府市全域

(2) 調査対象

太宰府市内に居住する 18 歳以上の市民

(3) 調査対象者数

2,000 人

(4) 抽出方法

住民基本台帳による無作為抽出法

(5) 調査方法

郵送による発送

郵送及び Web による回答

(お礼兼督促状 1 回郵送)

(6) 調査期間

配布：令和 6 年 3 月 1 日（金）

投函締切：令和 6 年 3 月 15 日（金）

(ただし、3 月 25 日（月）到着分まで有効とした)

(7) 回収状況

有効回収数：1,061 件（回収率 53.1%）

3. 調査項目

回答者の属性	問1	性別
	問2	年齢
	問3	世帯構成
	問4	職業
	問5	小学校区
	問6	居住年数
住みやすさについて	問7	本市の住みやすさ
	問8	住みやすい理由
	問9	住みにくい理由
本市の行政運営について	問10	市政への関心度
	問11	市政への信頼度
	問12	効果的な行政運営に対する評価
	問13	市職員の対応・姿勢に対する満足度
	問14	まちづくりビジョンの認知度
	問15A	施策の重要度（31施策）
	問15B	施策の満足度（31施策）
日頃の暮らし、行動について	問16	太宰府市自治基本条例の認知度
	問17	子育てのしやすさ
	問18	生きがいの実感
	問19	高齢者福祉サービスの充実度
	問20	障がい福祉サービスの充実度
	問21	公共施設の弱者への配慮
	問22	民間施設の弱者への配慮
	問23	交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況
	問24	地域福祉の推進状況
	問25	健康状態
	問26	健康増進の取り組み状況
	問27	健康診査の受診状況
	問28	災害に対する日頃の備え
	問29	消防団の認知度
	問30	防犯面の安心度
	問31	人権侵害の経験の有無
	問32	人権侵害の経験の内容
	問33	市内での人権の尊重
	問34	固定的な役割分担に対する考え方
	問35	DVを受けた経験がある場合の相談経験
	問36	生涯学習活動の取り組み状況
	問37	運動・スポーツの取り組み頻度
	問38	文化芸術活動の取り組み状況
	問39	地域の環境マナーの順守状況
	問40	地域の美化活動への参加状況
	問41	市内の自然の豊かさ
	問42	野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所
	問43	生ごみ堆肥化の取り組み状況
	問44	不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況
	問45	省エネルギー・省資源の活動状況
	問46	環境に関する学習会等の参加状況
	問47	市内の歴史的景観の美しさに対する評価
	問48	居住地区のまちなみに対する評価
	問49	住環境の快適さに対する評価
	問50	商業施設等の利便性に対する評価
	問51	市内のバスの利便性に対する評価
	問52	コミュニティバスの利用頻度
	問53	コミュニティバスの運賃や利便性に対する評価
	問54	市内の鉄道の利便性に対する評価
	問55	市内の道路の円滑性に対する評価
	問56	外出時の移動手段
	問57	日頃の買い物場所
	問58	歴史・文化遺産に対する評価
	問59	本市の日本遺産や市民遺産に対する認知度
	問60	観光客の来訪に対する評価
	問61	本市の観光に必要なこと
	問62	姉妹都市、友好都市締結の認知度
	問63	自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況
	問64	ボランティア活動への参加状況
	問65	市民と行政との情報共有
	問66	本市が発信している情報を得ている媒体
	問67A	「広報だざいふ」の閲読状況
	問67B	「太宰府市ホームページ」の閲覧状況
	問68	市議会が発信している情報を得ている媒体
	問69A	「太宰府市議会だより」の閲読状況
	問69B	「太宰府市議会ホームページ」の閲覧状況
自由意見		

4. 調査結果利用上の注意

- (1) 単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を 100%としている。なお、回答率は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも 100%にならない場合がある。
- (2) 2 つ以上の回答を要する（複数回答）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は 100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示す N、n は、回答率算出上の基数（標本数）である。
N＝標本全数
n＝該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (4) 付問は前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2 つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- (6) 過去の調査結果と比較検討が可能な設問については、図中では R1 年度調査、R2 年度調査、R3 年度調査、R4 年度調査の表記で掲載している。なお、一部の質問文や選択肢では、過去の調査とは文言が変更になっているものもある。
- (7) 表中「20 歳代」は、18 歳・19 歳を含む。

第2章 調査結果の分析

第2章 調査結果の分析

第1節 回答者の属性

1. 性別(問1)

- 回答者の性別は「男性」が43.4%、「女性」が53.5%となっている。

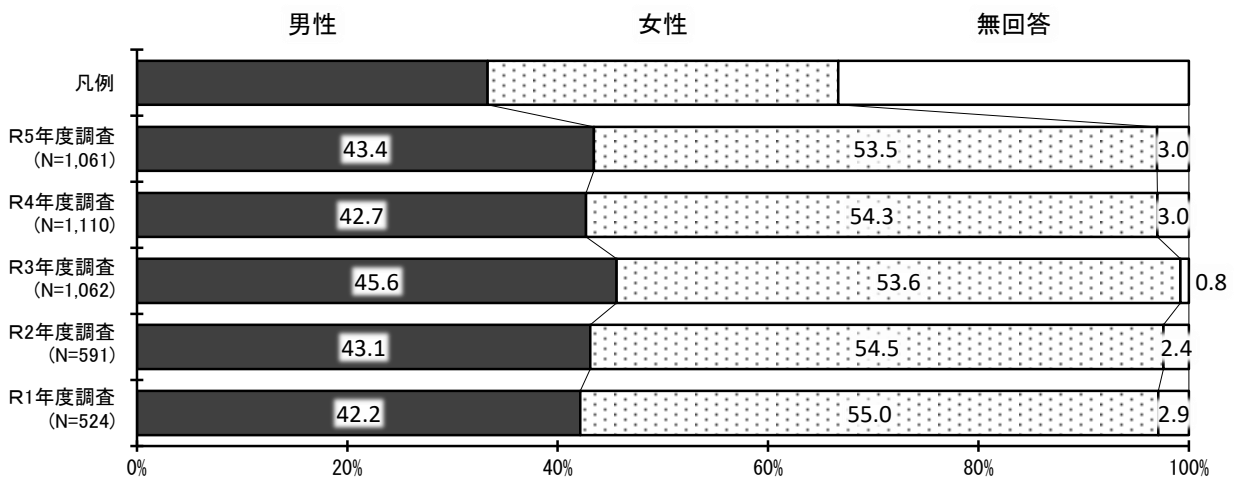
回答者の性別は、「男性」が43.4%、「女性」が53.5%で、女性の方が10.1ポイント高くなっている。

過去の調査結果と比べると、「女性」の方が高い傾向は変わらないが、前年より女性の回答率が低くなっている。

年代別にみると、すべての年齢層で「女性」の方が「男性」より高くなっており、20歳代の「女性」は6割を超えている。

小学校区別にみると、水城西小学校区を除いた小学校区で「女性」の方が「男性」より高くなっている。

問1. あなたの戸籍上の性別についてお選びください。



		(%)			
		標本数	男性	女性	無回答
全 体		1,061	461	568	32
		100.0	43.4	53.5	3.0
年 代 別	20歳代	92	39.1	60.9	-
	30歳代	123	43.1	56.1	0.8
	40歳代	173	39.9	59.0	1.2
	50歳代	191	41.4	57.1	1.6
	60歳代	191	47.6	49.7	2.6
	70歳代以上	284	46.8	48.2	4.9
	無回答	7	-	-	100.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	47.0	50.0	3.0
	太宰府東小学校区	113	43.4	54.9	1.8
	太宰府南小学校区	104	39.4	57.7	2.9
	水城小学校区	144	47.2	51.4	1.4
	水城西小学校区	126	49.2	47.6	3.2
	太宰府西小学校区	201	38.3	59.2	2.5
	国分小学校区	150	41.3	56.7	2.0
	わからない	73	47.9	49.3	2.7
	無回答	18	27.8	33.3	38.9

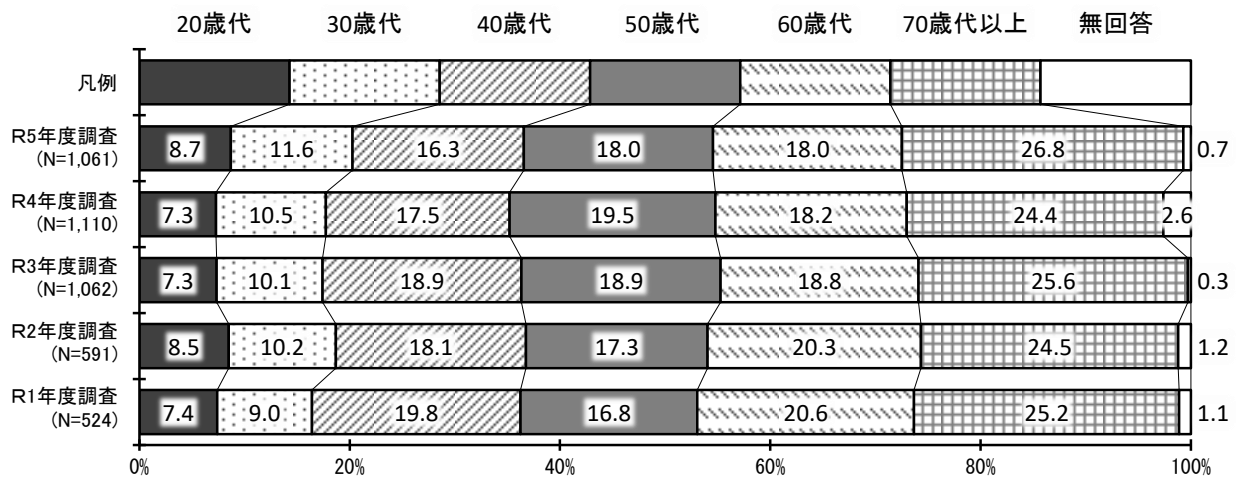
2. 年齢(問2)

- 回答者の年齢は70歳代以上が最も多くなっている。

回答者の年齢は、「70歳代以上」(26.8%)が最も高く、次いで「50歳代」と「60歳代」(同率18.0%)、「40歳代」(16.3%)の順となっている。

小学校区別にみると、水城西小学校区と太宰府小学校区を除き、「70歳代以上」が最も高くなっている。一方、太宰府小学校区では「60歳代」、水城西小学校区では「50歳代」が最も高くなっている。

問2. あなたの年齢を次の中から選びください。



		(%)						
	標本数	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
全 体		1,061	92	123	173	191	191	284
		100.0	8.7	11.6	16.3	18.0	18.0	26.8
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	9.1	13.6	20.5	10.6	24.2	22.0
	太宰府東小学校区	113	3.5	14.2	17.7	18.6	15.9	30.1
	太宰府南小学校区	104	5.8	15.4	12.5	12.5	16.3	37.5
	水城小学校区	144	11.8	13.9	13.2	20.8	16.0	24.3
	水城西小学校区	126	9.5	14.3	20.6	25.4	14.3	15.9
	太宰府西小学校区	201	11.4	4.5	13.9	21.9	15.4	32.8
	国分小学校区	150	8.0	6.7	20.0	17.3	19.3	28.7
	わからない	73	8.2	21.9	12.3	15.1	27.4	15.1
	無回答	18	-	-	5.6	-	16.7	38.9

3. 世帯構成(問3)

- 「2世代世帯（親と子）」が約5割、「夫婦のみ」の世帯が約3割となっている。
- 60歳代以上では「夫婦のみ」の世帯の割合が高く、50歳代以下では「2世代世帯（親と子）」の割合が高い。

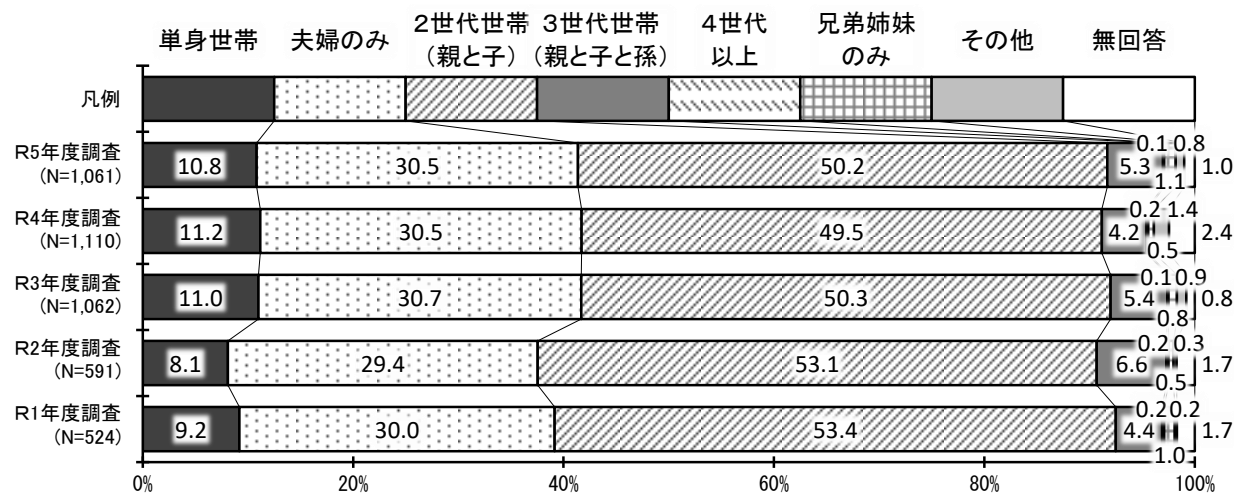
回答者の世帯構成は、「2世代世帯（親と子）」（50.2%）が最も高く、次いで「夫婦のみ」（30.5%）の順となっている。

性別にみると、男女とも「2世代世帯（親と子）」が最も高くなっている。

年代別にみると、50歳代以下では、「2世代世帯（親と子）」が最も高く、60歳代以上では「夫婦のみ」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「2世代世帯（親と子）」が最も高くなっている。

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。



		標本数	単身世帯	夫婦のみ	2世代世帯（親と子）	3世代世帯（親と子と孫）	4世代以上	兄弟姉妹のみ	その他	無回答
全体		1,061	115	324	533	56	1	12	9	11
		100.0	10.8	30.5	50.2	5.3	0.1	1.1	0.8	1.0
性別	男性	461	10.6	32.5	48.8	5.0	-	1.5	0.7	0.9
	女性	568	10.6	28.9	52.8	5.8	0.2	0.9	0.9	-
	無回答	32	18.8	31.3	25.0	-	-	-	3.1	21.9
年代別	20歳代	92	4.3	4.3	82.6	6.5	-	1.1	1.1	-
	30歳代	123	13.8	8.9	71.5	4.9	-	-	0.8	-
	40歳代	173	7.5	8.1	78.0	4.0	-	1.2	0.6	0.6
	50歳代	191	8.4	22.5	58.6	8.9	0.5	0.5	0.5	-
	60歳代	191	8.4	55.0	27.7	5.2	-	1.6	1.6	0.5
	70歳代以上	284	17.3	51.8	24.3	3.5	-	1.8	0.7	0.7
無回答		7	-	-	-	-	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	132	6.8	28.8	53.8	6.8	-	2.3	-	1.5
	太宰府東小学校区	113	8.8	35.4	48.7	6.2	0.9	-	-	-
	太宰府南小学校区	104	7.7	32.7	48.1	9.6	-	1.0	1.0	-
	水城小学校区	144	14.6	25.7	52.1	6.3	-	0.7	-	0.7
	水城西小学校区	126	5.6	26.2	64.3	0.8	-	1.6	1.6	-
	太宰府西小学校区	201	9.0	29.9	54.2	5.5	-	-	1.0	0.5
	国分小学校区	150	7.3	32.7	52.7	6.0	-	-	1.3	-
	わからない	73	41.1	37.0	16.4	-	-	4.1	1.4	-
	無回答	18	5.6	33.3	5.6	-	-	11.1	5.6	38.9

4. 職業(問4)

- 職業は「会社員」(30.3%) が最も高く、次いで「無職」(22.3%)、「パート・アルバイトなど」(15.0%) が主である。

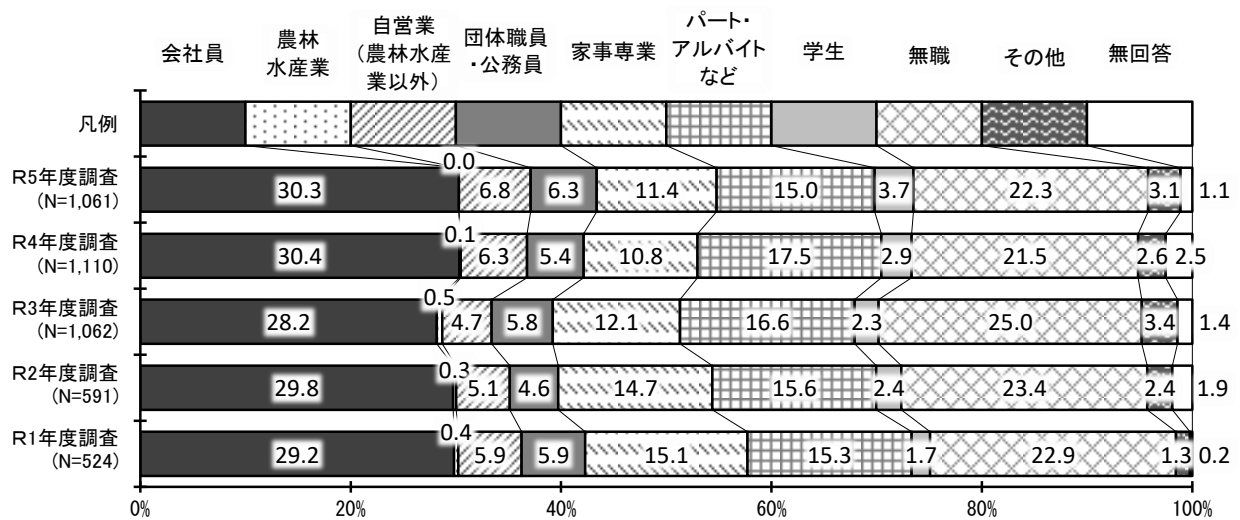
回答者の職業は、「会社員」(30.3%) が最も高く、次いで「無職」(22.3%)、「パート・アルバイトなど」(15.0%)、の順となっている。

過去の調査結果と比べると、過去5年間の調査で「会社員」と「無職」の割合が高い傾向は変わらない。

性別にみると、男性は「会社員」(42.5%) が最も高くなっている。一方、女性は「パート・アルバイトなど」(23.1%) が最も高くなっている。

小学校区別にみると、「会社員」が最も高いのは、水城西小学校区(40.5%)となっている。一方、「無職」が最も高いのは、太宰府南小学校区(29.8%)となっている。

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。



		標本数	会社員	農林水産業	自営業 (農林水産業以外)	団体職員・公務員	家事専業	パート・アルバイトなど	学生	無職	その他	無回答
全体		1,061	321	-	72	67	121	159	39	237	33	12
		100.0	30.3	-	6.8	6.3	11.4	15.0	3.7	22.3	3.1	1.1
性別	男性	461	42.5	-	8.9	9.1	0.2	5.4	3.3	26.9	3.5	0.2
	女性	568	21.0	-	4.9	4.4	21.0	23.1	4.2	17.8	3.0	0.7
	無回答	32	18.8	-	9.4	-	3.1	9.4	-	37.5	-	21.9
性別・年代別	男性:20歳代	36	38.9	-	-	11.1	-	2.8	41.7	2.8	2.8	-
	男性:30歳代	53	56.6	-	11.3	20.8	-	1.9	-	5.7	3.8	-
	男性:40歳代	69	65.2	-	7.2	13.0	-	5.8	-	7.2	1.4	-
	男性:50歳代	79	72.2	-	10.1	10.1	-	2.5	-	3.8	1.3	-
	男性:60歳代	91	38.5	-	14.3	8.8	-	7.7	-	26.4	4.4	-
	男性:70歳代以上	133	11.3	-	6.8	1.5	0.8	7.5	-	66.2	5.3	0.8
	女性:20歳代	56	35.7	-	-	1.8	5.4	8.9	42.9	3.6	1.8	-
	女性:30歳代	69	42.0	-	7.2	8.7	4.3	26.1	-	7.2	4.3	-
	女性:40歳代	102	39.2	-	10.8	8.8	9.8	27.5	-	2.9	1.0	-
	女性:50歳代	109	21.1	-	3.7	4.6	19.3	39.4	-	8.3	2.8	0.9
	女性:60歳代	95	6.3	-	2.1	4.2	32.6	26.3	-	24.2	4.2	-
	女性:70歳代以上	137	0.7	-	4.4	-	37.2	8.8	-	43.1	3.6	2.2
小学校区別	無回答	32	18.8	-	9.4	-	3.1	9.4	-	37.5	-	21.9
	太宰府小学校区	132	29.5	-	7.6	6.1	10.6	22.0	4.5	18.2	1.5	-
	太宰府東小学校区	113	30.1	-	6.2	6.2	11.5	12.4	2.7	26.5	3.5	0.9
	太宰府南小学校区	104	23.1	-	7.7	5.8	13.5	14.4	1.9	29.8	2.9	1.0
	水城小学校区	144	35.4	-	5.6	5.6	7.6	17.4	4.2	20.8	3.5	-
	水城西小学校区	126	40.5	-	6.3	9.5	9.5	18.3	3.2	11.9	0.8	-
	太宰府西小学校区	201	24.4	-	3.5	7.0	15.4	13.4	5.5	25.4	4.5	1.0
	国分小学校区	150	28.7	-	11.3	5.3	10.7	14.0	4.7	22.0	2.7	0.7
小学校区別	わからない	73	39.7	-	6.8	4.1	11.0	6.8	-	24.7	6.8	-
	無回答	18	5.6	-	11.1	5.6	11.1	-	-	27.8	-	38.9

5. 小学校区(問5)

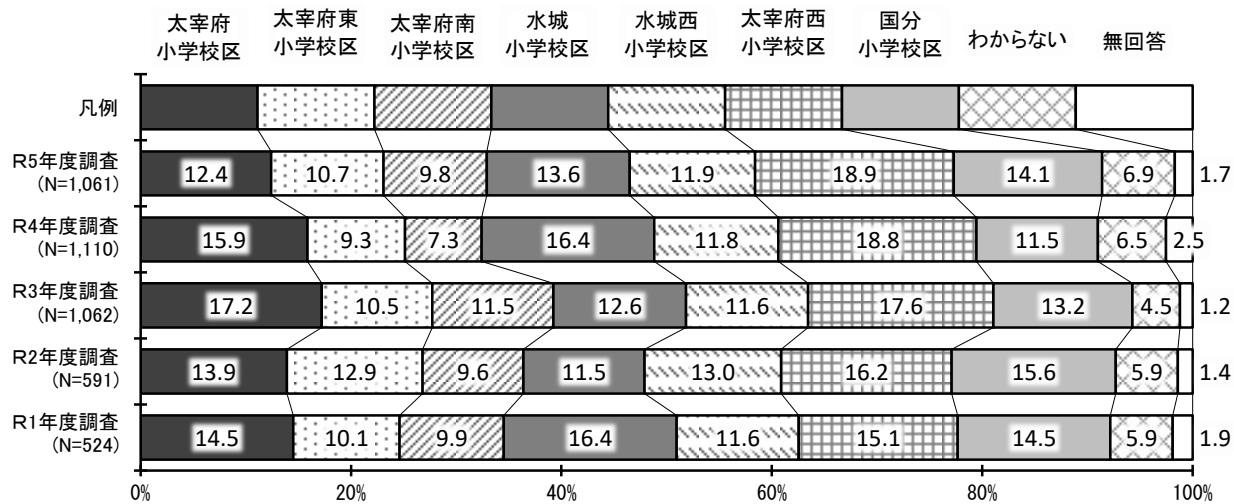
● 住んでいる小学校区は「太宰府西小学校区」(18.9%)と「国分小学校区」(14.1%)が多くなっている。

回答者の住んでいる小学校区は「太宰府西小学校区」(18.9%)が最も高く、次いで「国分小学校区」(14.1%)、「水城小学校区」(13.6%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「太宰府西小学校区」が最も高くなっている。

年代別にみると、20歳代、50歳代、70歳代以上では「太宰府西小学校区」が、30歳代では「水城小学校区」、40歳代では「国分小学校区」、60歳代では「太宰府小学校区」が最も高くなっている。

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中から選びください。



		(%)								
		標本数	小太宰府区	小太宰府区東	小太宰府区南	小水城校区	小水城校区西	小太宰府区西	小国分校区	わからない
全体		1,061	132	113	104	144	126	201	150	73
		100.0	12.4	10.7	9.8	13.6	11.9	18.9	14.1	6.9
性別	男性	461	13.4	10.6	8.9	14.8	13.4	16.7	13.4	7.6
	女性	568	11.6	10.9	10.6	13.0	10.6	21.0	15.0	6.3
	無回答	32	12.5	6.3	9.4	6.3	12.5	15.6	9.4	6.3
年代別	20歳代	92	13.0	4.3	6.5	18.5	13.0	25.0	13.0	6.5
	30歳代	123	14.6	13.0	13.0	16.3	14.6	7.3	8.1	13.0
	40歳代	173	15.6	11.6	7.5	11.0	15.0	16.2	17.3	5.2
	50歳代	191	7.3	11.0	6.8	15.7	16.8	23.0	13.6	5.8
	60歳代	191	16.8	9.4	8.9	12.0	9.4	16.2	15.2	10.5
	70歳代以上	284	10.2	12.0	13.7	12.3	7.0	23.2	15.1	3.9
	無回答	7	-	-	-	-	-	-	-	-
										100.0

6. 居住年数(問6)

- 居住年数が「25年以上」が約5割を占めている。

回答者の居住年数は「25年以上」(49.3%)が最も高く約5割を占めている。

過去の調査結果と比べると、「3年未満」は令和4年度調査より3.9ポイント減少している。

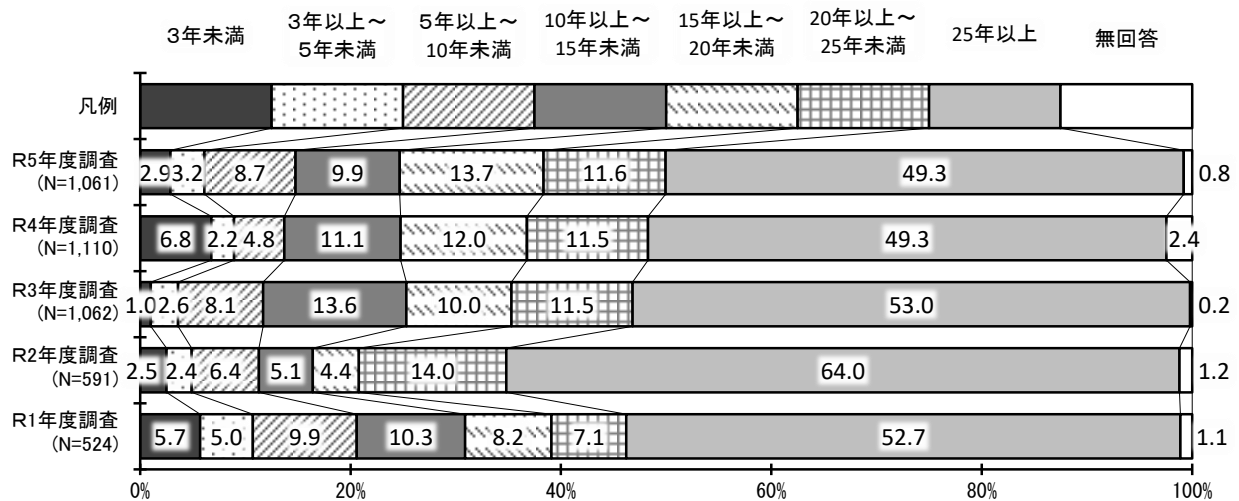
一方、「5年以上10年未満」は令和4年度調査より3.9ポイント増加している。

性別にみると、男女とも「25年以上」が最も高くなっている。

年代別にみると、30歳代以上では、年代が上がるにつれて在住歴が長い傾向にある。一方、20歳代では「15年以上～20年未満」の割合が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「25年以上」が最も高くなっている。

問6. あなたは本市に住んで何年になりますか。次の中から選びください。



		標本数	3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上	無回答
全体		1,061	31	34	92	105	145	123	523	8
		100.0	2.9	3.2	8.7	9.9	13.7	11.6	49.3	0.8
性別	男性	461	2.4	4.3	7.4	11.9	15.2	11.3	47.5	-
	女性	568	3.5	2.3	10.0	8.3	13.0	12.5	50.2	0.2
	無回答	32	-	3.1	3.1	9.4	3.1	-	59.4	21.9
年代別	20歳代	92	7.6	4.3	7.6	6.5	31.5	29.3	13.0	-
	30歳代	123	12.2	11.4	24.4	8.9	10.6	7.3	25.2	-
	40歳代	173	1.7	2.9	16.2	20.8	20.8	8.1	29.5	-
	50歳代	191	1.0	2.1	4.7	12.0	18.3	20.4	41.4	-
	60歳代	191	0.5	1.6	5.8	6.3	11.5	8.4	65.4	0.5
	70歳代以上	284	1.1	1.4	2.5	6.0	3.5	6.3	79.2	-
	無回答	7	-	-	-	-	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	132	1.5	0.8	10.6	8.3	10.6	13.6	53.8	0.8
	太宰府東小学校区	113	2.7	0.9	12.4	6.2	10.6	7.1	60.2	-
	太宰府南小学校区	104	1.0	1.9	6.7	10.6	5.8	7.7	66.3	-
	水城小学校区	144	4.2	6.3	11.1	11.8	16.0	10.4	40.3	-
	水城西小学校区	126	4.0	4.8	5.6	12.7	18.3	15.9	38.9	-
	太宰府西小学校区	201	1.5	2.5	5.5	8.0	16.9	12.9	52.7	-
	国分小学校区	150	2.0	1.3	3.3	10.7	13.3	12.0	57.3	-
	わからない	73	8.2	11.0	23.3	15.1	15.1	13.7	13.7	-
無回答		18	11.1	-	5.6	-	11.1	-	33.3	38.9

第2節 住みやすさについて

1. 本市の住みやすさ(問7)

- 本市の住みやすさについて『満足派』は79.3%、『不満派』は13.7%となっている。

本市の住みやすさについて、『満足派』（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）の割合は79.3%、一方、『不満派』（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）は13.7%で、『満足派』が約8割と高くなっている。

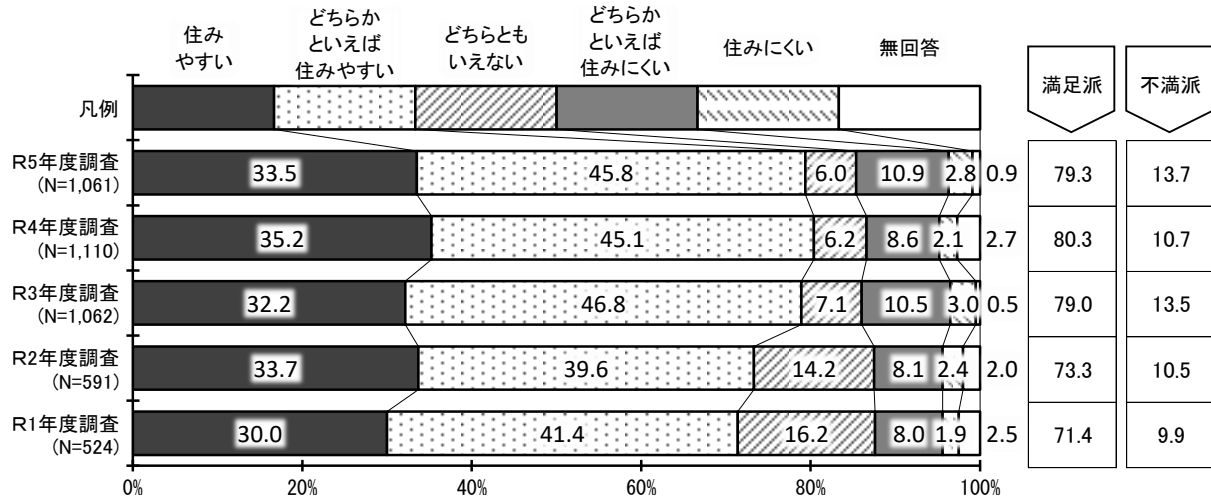
過去の調査結果と比べると、『満足派』は令和4年度調査から1.0ポイント減少している。

性別にみると、『満足派』は男性（81.5%）の方が女性（78.3%）より高くなっている。

年代別にみると、いずれも『満足派』が7割を超えている。なお、『満足派』が最も高いのは20歳代（81.6%）となっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区を除き、『満足派』が7割を超えている。『満足派』の割合が最も高いのは水城西小学校区（89.7%）となっている。

問7. あなたは本市が住みやすいまちだと思いますか。（○は1つ）



		標本数	住みやすい	ややど すえ いば ら	いど えち な ら い	にど くえ いば ら	住 み に く い	無 回 答	(%)	
全 体		1,061	355	486	64	116	30	10	満足派	不満派
		100.0	33.5	45.8	6.0	10.9	2.8	0.9	79.3	13.7
性別	男 性	461	39.0	42.5	7.2	7.8	3.0	0.4	81.5	10.8
	女 性	568	29.0	49.3	5.3	13.6	2.5	0.4	78.3	16.1
	無回答	32	31.3	31.3	3.1	9.4	6.3	18.8	62.6	15.7
年代別	20歳代	92	35.9	45.7	4.3	10.9	2.2	1.1	81.6	13.1
	30歳代	123	33.3	45.5	4.9	13.8	2.4	-	78.8	16.2
	40歳代	173	37.6	42.2	6.9	10.4	2.9	-	79.8	13.3
	50歳代	191	33.5	46.6	4.7	12.0	3.1	-	80.1	15.1
	60歳代	191	30.4	47.1	9.4	11.0	1.6	0.5	77.5	12.6
	70歳代以上	284	33.1	47.9	5.3	9.5	3.5	0.7	81.0	13.0
	無回答	7	-	-	-	-	14.3	85.7	-	14.3
小学校区別	太宰府小学校区	132	30.3	37.9	7.6	16.7	7.6	-	68.2	24.3
	太宰府東小学校区	113	30.1	50.4	2.7	13.3	3.5	-	80.5	16.8
	太宰府南小学校区	104	28.8	47.1	3.8	18.3	1.9	-	75.9	20.2
	水城小学校区	144	36.8	51.4	4.2	6.3	1.4	-	88.2	7.7
	水城西小学校区	126	50.0	39.7	6.3	4.0	-	-	89.7	4.0
	太宰府西小学校区	201	37.3	46.8	7.0	6.5	1.5	1.0	84.1	8.0
	国分小学校区	150	23.3	48.7	6.7	16.0	4.0	1.3	72.0	20.0
	わからない	73	31.5	41.1	12.3	12.3	2.7	-	72.6	15.0
	無回答	18	11.1	50.0	-	-	5.6	33.3	61.1	5.6

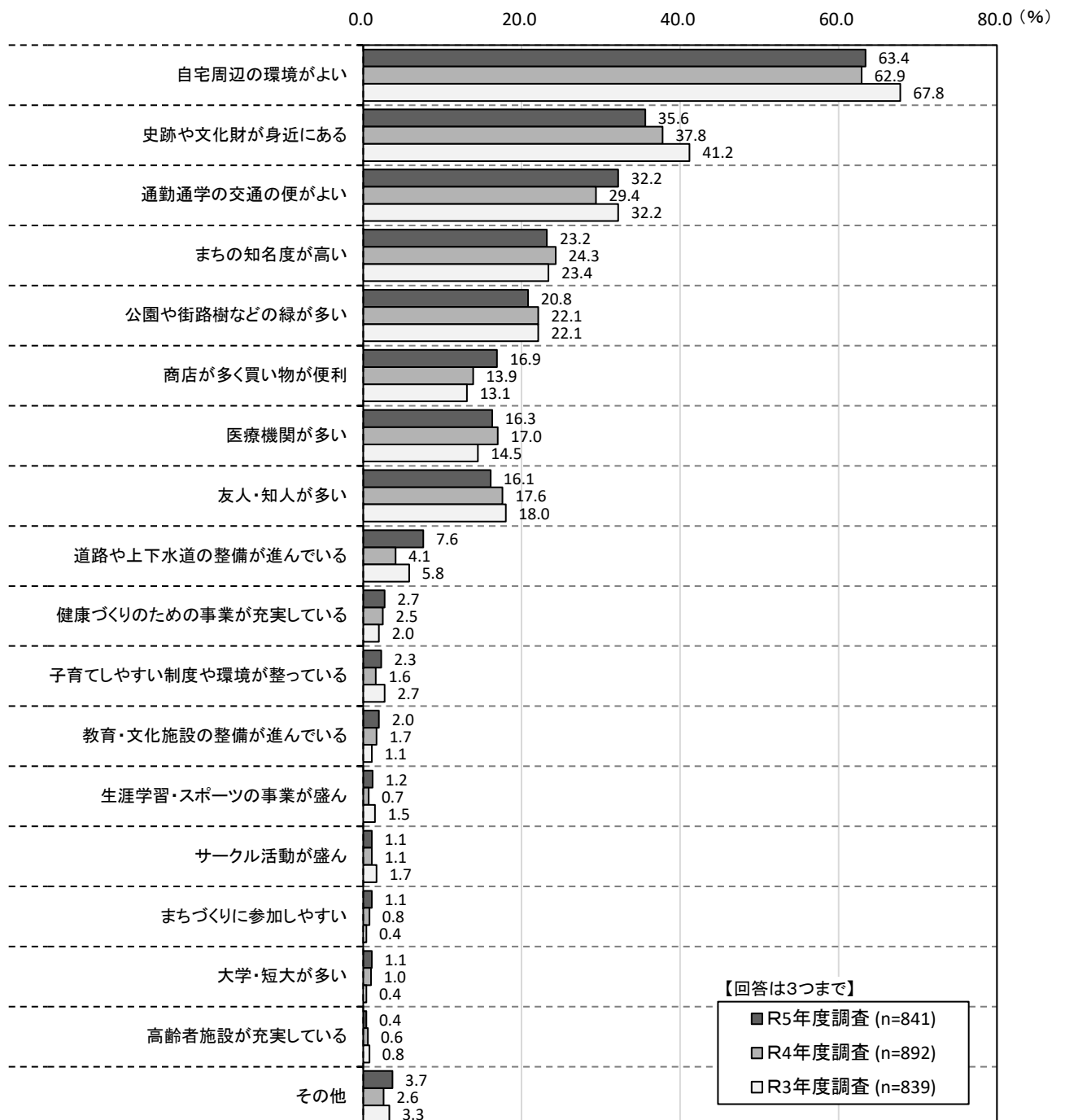
2. 住みやすい理由(問8)

- 住みやすい理由は、「自宅周辺の環境がよい」(63.4%) が最も高く、次いで「史跡や文化財が身近にある」(35.6%)、「通勤通学の交通の便がよい」(32.2%) などの順となっている。

本市が住みやすい理由について、「自宅周辺の環境がよい」(63.4%) が最も高く、次いで「史跡や文化財が身近にある」(35.6%)、「通勤通学の交通の便がよい」(32.2%) となっている。

過去の調査結果と比べると、上位3項目のうち「自宅周辺の環境がよい」、「通勤通学の交通の便がよい」は、令和4年度調査からそれぞれ0.5ポイント、2.8ポイント増加している。

問8.【住みやすいと答えた方】におたずねします。住みやすいと思う主な理由は何ですか。
(〇は3つまで)



性別にみると、男女ともに「自宅周辺の環境がよい」（男性 63.6%、女性 63.4%）が最も高く、次いで、「史跡や文化財が身近にある」（男性 36.2%、女性 35.5%）、「通勤通学の交通の便がよい」（男性 33.5%、女性 31.5%）の順となっている。

年代別にみると、すべての年代で「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。次いで、20歳代から50歳代は「通勤通学の交通の便がよい」、60歳代以上は「史跡や文化財が身近にある」がそれぞれ高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。

		(%)																			
		標本数	自宅 周辺の 環境が よい	史跡や 文化財 が身近 にある	通勤 通学の 交通の 便が よい	まちの 知名度 が高い	公園や 街路樹 などの 緑が多 い	利便性 が高く 買い物 が便利	医療機 関が多 い	友人・ 知人が 多い	道路や 上下水 道の整 備が進 んでいる	健康づ くりの ための 事業が 充実し ている	環境が 整って いる	子育て しやすい 制度や 環境が 整って いる	教育・ 文化施 設の整 備が進 んでいる	生涯学 習・ス ポーツ の事業 が盛ん	サークル 活動が 盛ん	すまい づくりに 参加し やすい	大学・ 短大が 多い	高齢者 施設が 充実し ている	その他
全 体		841 -	533 63.4	299 35.6	271 32.2	195 23.2	175 20.8	142 16.9	137 16.3	135 16.1	64 7.6	23 2.7	19 2.3	17 2.0	10 1.2	9 1.1	9 1.1	9 1.1	3 0.4	31 3.7	
性別	男 性	376	63.6	36.2	33.5	24.5	17.6	17.0	14.9	12.5	9.0	1.9	2.4	2.4	1.3	0.5	0.5	1.3	-	3.2	
	女 性	445	63.4	35.5	31.5	22.9	23.6	16.6	17.3	19.6	6.5	3.6	2.2	1.8	1.1	1.6	1.6	0.9	0.4	4.0	
		20	60.0	25.0	25.0	5.0	20.0	20.0	20.0	5.0	5.0	-	-	-	-	-	-	-	5.0	5.0	
年代別	20歳代	75	45.3	28.0	36.0	22.7	17.3	13.3	6.7	32.0	2.7	-	2.7	4.0	-	-	-	-	-	4.0	
	30歳代	97	56.7	22.7	43.3	19.6	22.7	16.5	10.3	15.5	5.2	3.1	1.0	3.1	-	-	1.0	2.1	-	6.2	
	40歳代	138	60.1	34.1	37.7	27.5	17.4	15.2	10.9	18.1	2.9	0.7	5.8	1.4	0.7	-	2.2	0.7	-	2.9	
	50歳代	153	64.7	30.7	39.9	24.2	22.9	17.0	17.0	17.6	4.6	1.3	2.0	2.0	2.0	0.7	0.7	0.7	-	2.6	
	60歳代	148	73.0	39.2	35.1	22.3	16.9	14.9	19.6	12.2	8.8	2.7	1.4	1.4	0.7	1.4	1.4	1.4	-	4.1	
	70歳代以上	230	67.0	45.2	16.1	22.2	24.3	20.4	22.6	11.3	14.3	5.7	1.3	1.7	2.2	2.6	0.9	1.3	1.3	3.5	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小学校区別	太宰府小学校区	90	63.3	45.6	31.1	27.8	28.9	8.9	15.6	11.1	3.3	2.2	1.1	2.2	1.1	-	2.2	4.4	-	3.3	
	太宰府東小学校区	91	60.4	34.1	16.5	29.7	19.8	12.1	17.6	23.1	8.8	3.3	2.2	3.3	2.2	-	1.1	1.1	-	3.3	
	太宰府南小学校区	79	59.5	34.2	20.3	36.7	15.2	7.6	11.4	22.8	10.1	5.1	1.3	1.3	2.5	3.8	2.5	1.3	-	10.1	
	水城小学校区	127	52.8	48.8	51.2	18.1	21.3	13.4	13.4	10.2	5.5	1.6	3.1	0.8	-	0.8	-	1.6	-	2.4	
	水城西小学校区	113	64.6	19.5	63.7	15.9	15.9	28.3	15.9	18.6	6.2	2.7	1.8	-	0.9	0.9	0.9	-	-	4.4	
	太宰府西小学校区	169	76.9	26.6	14.2	20.7	17.8	26.6	25.4	16.0	9.5	1.8	2.4	2.4	1.2	1.2	-	0.6	0.6	1.8	
	国分小学校区	108	62.0	46.3	28.7	24.1	24.1	10.2	5.6	19.4	12.0	4.6	3.7	4.6	1.9	1.9	2.8	-	1.9	2.8	
	わからない	53	58.5	26.4	34.0	18.9	30.2	18.9	22.6	3.8	1.9	1.9	1.9	-	-	-	-	-	-	3.8	
	無回答	11	54.5	63.6	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	18.2	9.1	-	-	-	9.1	-	-	-	-	-	9.1

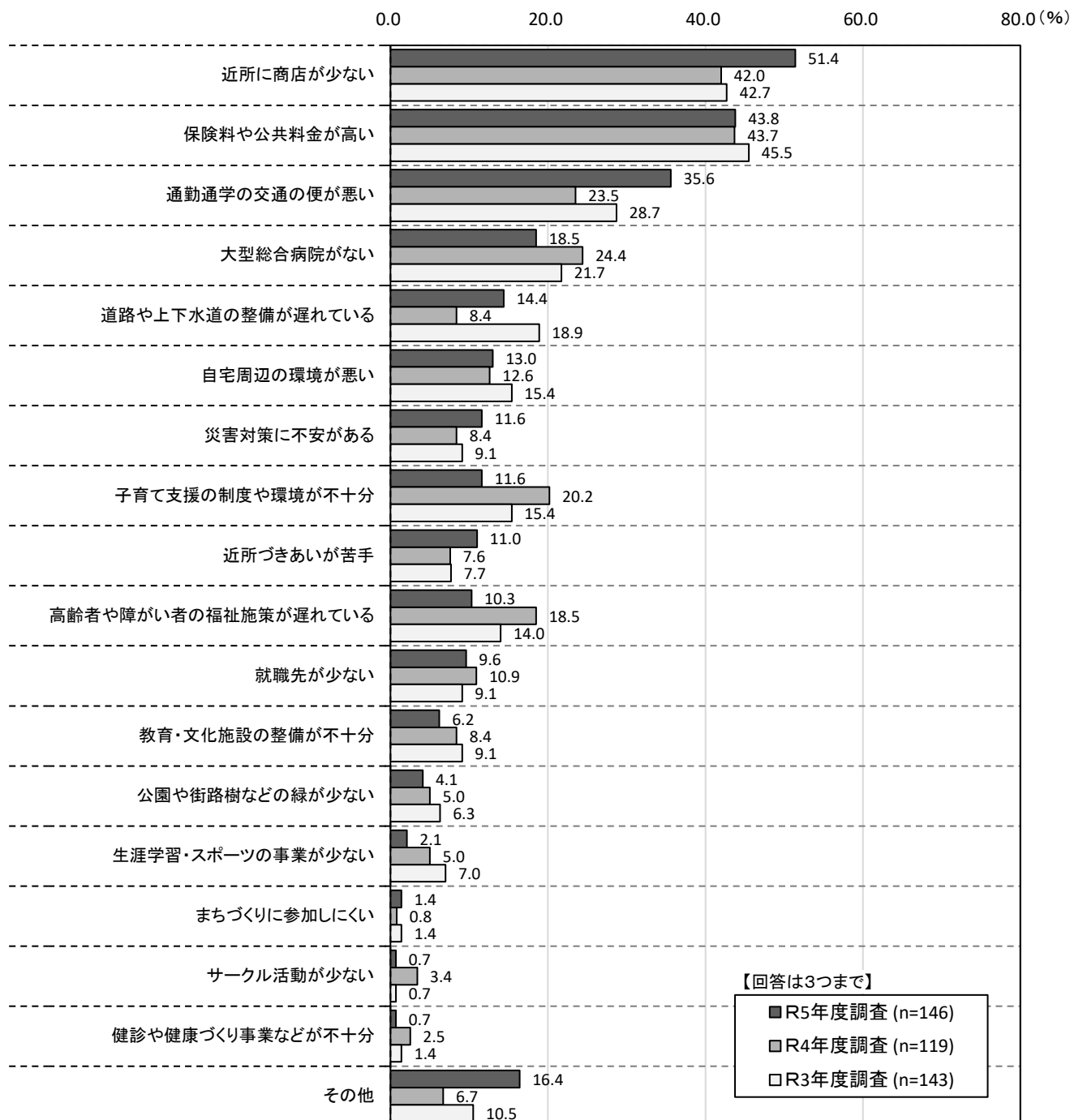
3. 住みにくい理由(問9)

- 住みにくい理由は、「近所に商店が少ない」(51.4%) が最も高い。

本市が住みにくい理由について、「近所に商店が少ない」(51.4%) が最も高く、次いで「保険料や公共料金が高い」(43.8%)、「通勤通学の交通の便が悪い」(35.6%)、「大型総合病院がない」(18.5%) の順となっている。

過去の調査結果と比べると、令和4年度調査から「子育て支援の制度や環境が不十分」(8.6ポイント減)、「高齢者や障がい者の福祉施策が遅れている」(8.2ポイント減)、「大型病院がない」(5.9ポイント減)などが大きく減少している。一方、「通勤通学の交通の便が悪い」(12.1ポイント増)、「近所に商店が少ない」(9.4ポイント増)、「道路や上下水道の整備が遅れている」(6.0ポイント増)などが大きく増加している。

問9.【住みにくいと答えた方】におたずねします。住みにくいと思う主な理由は何ですか。



性別にみると、男性は「保険料や公共料金が高い」(50.0%)、女性は「近所に商店が少ない」(54.9%)が最も高くなっている。続いて、男性は「近所に商店が少ない」(44.0%)、「通勤通学の交通の便が悪い」(34.0%)、「大型総合病院がない」(20.0%)の順になっている。一方、女性は「保険料や公共料金が高い」(39.6%)、「通勤通学の交通の便が悪い」(37.4%)、「大型総合病院がない」(18.7%)の順になっている。

小学校区別にみると、太宰府東小学校区と太宰府南小学校区で「近所に商店が少ない」が7割以上、国分小学校区と水城西小学校区で「保険料や公共料金が高い」が6割以上と特に高くなっている。

		(%)																		
		標本数	近所に商店が少ない	保険料や公共料金が高い	通勤通学の交通の便が悪い	大型総合病院がない	道路や上下水道の整備が遅れている	自宅周辺の環境が悪い	災害対策に不安がある	子育て支援の制度や環境が不十分	近所づきあいが苦手	高齢者が障がい者の福祉施策が遅れている	就職先が少ない	教育・文化施設の整備が不十分	公園や街路樹などの緑が少ない	生涯学習・スポーツの事業が少ない	まちづくりに参加しにくい	サークル活動が少ない	健康づくり事業などが不十分	その他
全 体		146	75	64	52	27	21	19	17	17	16	15	14	9	6	3	2	1	1	24
		-	51.4	43.8	35.6	18.5	14.4	13.0	11.6	11.6	11.0	10.3	9.6	6.2	4.1	2.1	1.4	0.7	0.7	16.4
性別	男 性	50	44.0	50.0	34.0	20.0	16.0	14.0	6.0	12.0	4.0	10.0	12.0	4.0	10.0	-	-	-	2.0	20.0
	女 性	91	54.9	39.6	37.4	18.7	13.2	12.1	15.4	12.1	14.3	11.0	8.8	7.7	1.1	3.3	2.2	1.1	-	13.2
	無回答	5	60.0	60.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	40.0
年代別	20歳代	12	58.3	-	41.7	8.3	8.3	25.0	25.0	25.0	16.7	8.3	16.7	-	8.3	8.3	-	-	-	16.7
	30歳代	20	30.0	50.0	35.0	10.0	10.0	15.0	10.0	30.0	10.0	-	20.0	10.0	5.0	-	-	-	-	35.0
	40歳代	23	69.6	39.1	43.5	13.0	34.8	13.0	13.0	13.0	4.3	13.0	8.7	-	-	-	4.3	-	4.3	17.4
	50歳代	29	41.4	62.1	34.5	17.2	3.4	13.8	10.3	17.2	6.9	10.3	6.9	3.4	3.4	3.4	-	3.4	-	20.7
	60歳代	24	62.5	37.5	29.2	33.3	20.8	12.5	8.3	-	4.2	8.3	8.3	4.2	8.3	-	-	-	-	12.5
	70歳代以上	37	51.4	45.9	35.1	21.6	10.8	8.1	10.8	-	16.2	21.6	2.7	8.1	2.7	2.7	2.7	-	-	2.7
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	32	56.3	34.4	28.1	21.9	21.9	21.9	12.5	9.4	15.6	-	12.5	9.4	-	-	-	-	-	34.4
	太宰府東小学校区	19	73.7	47.4	31.6	10.5	10.5	15.8	21.1	5.3	21.1	10.5	5.3	-	-	-	-	-	-	10.5
	太宰府南小学校区	21	71.4	19.0	66.7	28.6	4.8	4.8	9.5	9.5	-	14.3	14.3	4.8	4.8	4.8	4.8	-	-	-
	水城西小学校区	11	9.1	45.5	9.1	-	9.1	18.2	-	27.3	18.2	-	-	-	9.1	-	-	-	-	18.2
	水城西小学校区	5	40.0	60.0	20.0	-	-	-	20.0	-	20.0	-	20.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	20.0
	太宰府西小学校区	16	25.0	43.8	31.3	18.8	25.0	12.5	25.0	25.0	6.3	-	12.5	6.3	12.5	6.3	-	-	6.3	25.0
	国分小学校区	30	43.3	63.3	46.7	16.7	16.7	10.0	-	13.3	6.7	30.0	6.7	10.0	-	3.3	3.3	3.3	-	3.3
	わからない	11	72.7	45.5	18.2	36.4	9.1	9.1	18.2	-	9.1	9.1	9.1	-	9.1	-	-	-	-	18.2
無回答		1	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0

第3節 本市の行政運営について

1. 市政への関心度(問 10)

● 市政への関心度は、『ある派』は 65.2%、『ない派』は 33.8%となっている。

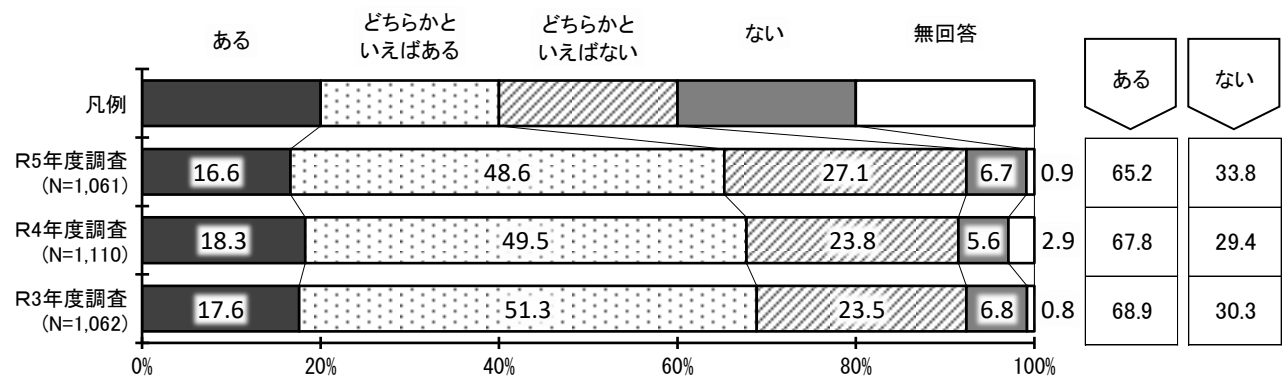
市政への関心度について、『ある派』（「ある」と「どちらかといえばある」の合計）は 65.2% となっている。一方、『ない派』（「ない」と「どちらかといえはない」の合計）は 33.8%で、『ある派』の方が『ない派』よりも 31.4 ポイント高くなっている。

性別にみると、『ある派』は男性（69.5%）の方が女性（62.2%）より 7.3 ポイント高くなっている。

年代別にみると、『ある派』は 70 歳代以上（72.2%）が最も高くなっており、一方、『ない派』は 20 歳代（57.7%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『ある派』の方が『ない派』より高くなっており、太宰府東小学校区（74.4%）が最も高くなっている。

問 10. あなたは市政に関心はありますか。（○は1つ）



									(%)	
		標 本 数	ある	えど ち ば あ ら か と い	えど ち ば な い か と い	ない	無 回 答		ある 派	ない 派
全 体		1,061 100.0	176 16.6	516 48.6	288 27.1	71 6.7	10 0.9		692 65.2	359 33.8
性別	男 性	461	22.6	46.9	22.6	7.2	0.9		69.5	29.8
	女 性	568	11.8	50.4	30.8	6.3	0.7		62.2	37.1
	無回答	32	15.6	43.8	28.1	6.3	6.3		59.4	34.4
年代 別	20歳代	92	12.0	30.4	37.0	20.7	-		42.4	57.7
	30歳代	123	16.3	38.2	34.1	11.4	-		54.5	45.5
	40歳代	173	17.9	46.8	28.9	5.8	0.6		64.7	34.7
	50歳代	191	14.7	52.9	26.2	4.7	1.6		67.6	30.9
	60歳代	191	13.6	58.1	25.7	2.1	0.5		71.7	27.8
	70歳代以上	284	20.8	51.4	21.8	4.9	1.1		72.2	26.7
	無回答	7	14.3	28.6	14.3	14.3	28.6		42.9	28.6
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	17.4	45.5	30.3	6.8	-		62.9	37.1
	太宰府東小学校区	113	19.5	54.9	19.5	5.3	0.9		74.4	24.8
	太宰府南小学校区	104	19.2	49.0	28.8	1.9	1.0		68.2	30.7
	水城小学校区	144	17.4	52.8	19.4	7.6	2.8		70.2	27.0
	水城西小学校区	126	17.5	50.8	22.2	8.7	0.8		68.3	30.9
	太宰府西小学校区	201	15.4	48.8	29.9	6.0	-		64.2	35.9
	国分小学校区	150	12.7	50.0	32.0	4.7	0.7		62.7	36.7
	わからない	73	13.7	32.9	38.4	15.1	-		46.6	53.5
	無回答	18	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1		55.5	33.3

2. 市政への信頼度(問 11)

● 市政への信頼については、『肯定派』は73.9%、『否定派』は25.1%となっている。

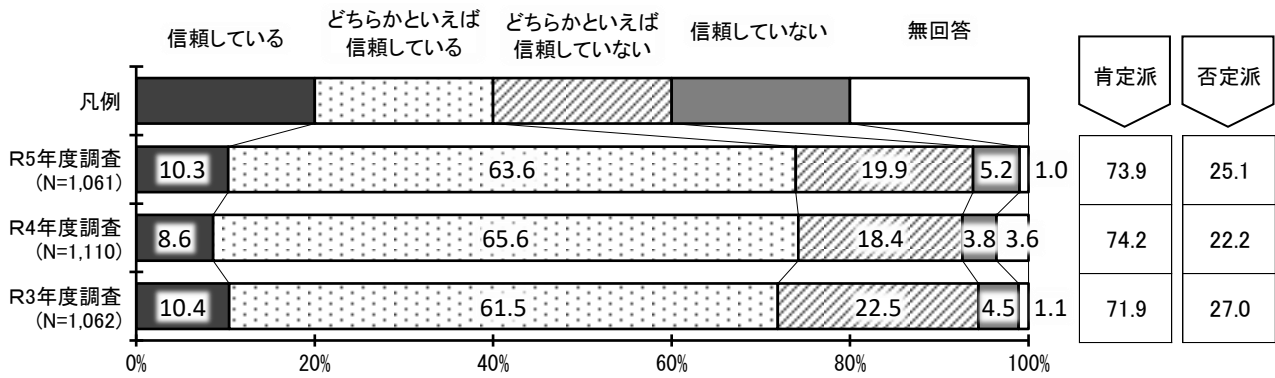
市政への信頼度について、『肯定派』（「信頼している」と「どちらかといえば信頼している」の合計）は73.9%となっている。一方、『否定派』（「信頼していない」と「どちらかといえば信頼していない」の合計）は25.1%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも48.8ポイント高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は女性（75.0%）の方が男性（72.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は70歳代以上（82.8%）が最も高くなっており、一方、『否定派』は30歳代（37.4%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』の方が『否定派』より高くなっており、太宰府西小学校区（81.0%）が最も高くなっている。

問 11. あなたは市政を信頼していますか。（○は1つ）



			(%)						
		標 本 数	信 頼 し て い る	い えど ち ら 信 頼 し て 言 う	い えど ち ら 信 頼 し て 言 う	い 信 頼 し て い な	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		1,061 100.0	109 10.3	675 63.6	211 19.9	55 5.2	11 1.0	784 73.9	266 25.1
性別	男 性	461	12.1	60.5	19.7	6.5	1.1	72.6	26.2
	女 性	568	8.6	66.4	20.2	4.0	0.7	75.0	24.2
	無回答	32	12.5	59.4	15.6	6.3	6.3	71.9	21.9
年代別	20歳代	92	9.8	60.9	20.7	8.7	-	70.7	29.4
	30歳代	123	6.5	56.1	28.5	8.9	-	62.6	37.4
	40歳代	173	11.6	63.0	18.5	6.4	0.6	74.6	24.9
	50歳代	191	6.3	62.3	24.6	6.3	0.5	68.6	30.9
	60歳代	191	9.4	65.4	21.5	2.6	1.0	74.8	24.1
	70歳代以上	284	14.8	68.0	13.0	2.5	1.8	82.8	15.5
	無回答	7	-	57.1	-	14.3	28.6	57.1	14.3
小学校区別	太宰府小学校区	132	11.4	55.3	25.0	7.6	0.8	66.7	32.6
	太宰府東小学校区	113	12.4	63.7	17.7	5.3	0.9	76.1	23.0
	太宰府南小学校区	104	10.6	70.2	15.4	1.9	1.9	80.8	17.3
	水城小学校区	144	11.1	60.4	22.2	4.9	1.4	71.5	27.1
	水城西小学校区	126	8.7	63.5	23.0	4.0	0.8	72.2	27.0
	太宰府西小学校区	201	10.4	70.6	14.9	4.0	-	81.0	18.9
	国分小学校区	150	8.7	64.7	23.3	3.3	-	73.4	26.6
	わからない	73	8.2	56.2	20.5	15.1	-	64.4	35.6
無回答	18	11.1	55.6	5.6	5.6	22.2	66.7	11.2	

3. 効果的な行政運営に対する評価(問 12)

- 効果的な行政運営については、『肯定派』は68.7%、『否定派』は29.0%となっている。

本市の効果的な行政運営について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は68.7%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は29.0%で、『肯定派』の方が『否定派』より39.7ポイント高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和4年度調査から1.6ポイント増加しており、過去5年間の調査で最も高くなっている。

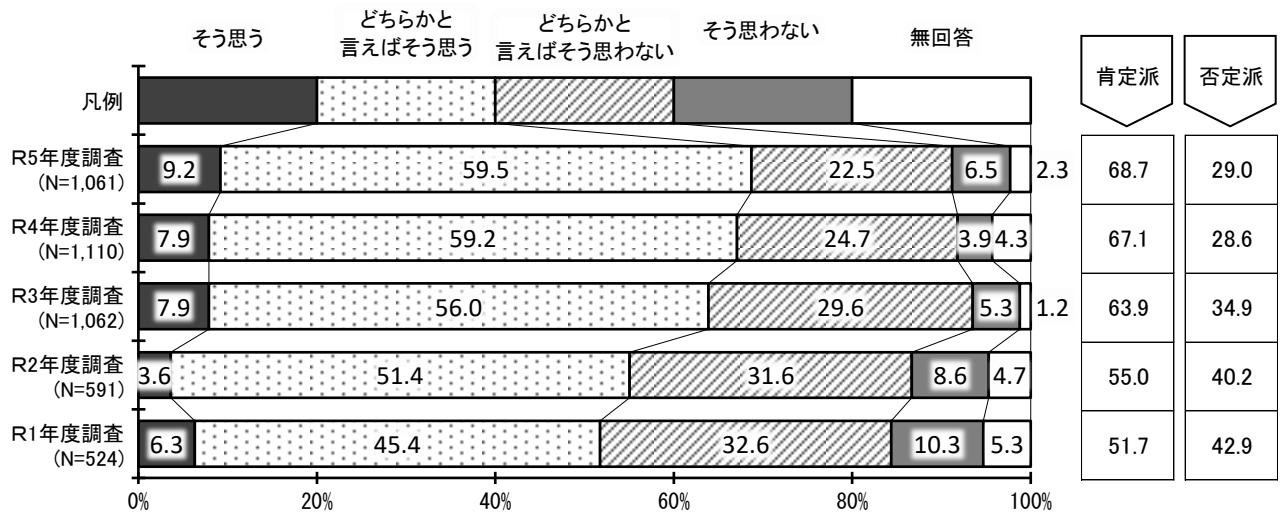
性別にみると、『肯定派』は女性（69.2%）の方が男性（68.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは70歳代以上（73.9%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは太宰府南小学校区（75.9%）となっている。

一方、『否定派』が最も高いのは国分小学校区（37.4%）となっている。

問 12. あなたは本市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全 体		1,061	98	631	239	69	24	729	308
		100.0	9.2	59.5	22.5	6.5	2.3	68.7	29.0
性別	男 性	461	8.7	59.9	22.3	7.6	1.5	68.6	29.9
	女 性	568	9.2	60.0	22.5	5.6	2.6	69.2	28.1
	無回答	32	18.8	43.8	25.0	6.3	6.3	62.6	31.3
年代別	20歳代	92	9.8	48.9	33.7	7.6	-	58.7	41.3
	30歳代	123	5.7	58.5	26.8	8.9	-	64.2	35.7
	40歳代	173	9.2	61.8	19.7	8.7	0.6	71.0	28.4
	50歳代	191	8.4	58.6	20.9	10.5	1.6	67.0	31.4
	60歳代	191	6.8	62.8	25.1	3.1	2.1	69.6	28.2
	70歳代以上	284	13.0	60.9	18.0	3.2	4.9	73.9	21.2
	無回答	7	-	28.6	28.6	14.3	28.6	28.6	42.9
小学校区別	太宰府小学校区	132	6.8	58.3	23.5	9.8	1.5	65.1	33.3
	太宰府東小学校区	113	7.1	61.1	20.4	6.2	5.3	68.2	26.6
	太宰府南小学校区	104	14.4	61.5	18.3	2.9	2.9	75.9	21.2
	水城小学校区	144	10.4	61.1	18.1	6.3	4.2	71.5	24.4
	水城西小学校区	126	10.3	55.6	27.0	6.3	0.8	65.9	33.3
	太宰府西小学校区	201	12.4	62.7	18.9	4.5	1.5	75.1	23.4
	国分小学校区	150	5.3	56.7	30.7	6.7	0.7	62.0	37.4
	わからない	73	5.5	57.5	24.7	12.3	-	63.0	37.0
	無回答	18	5.6	55.6	22.2	5.6	11.1	61.2	27.8

4. 市職員の対応・姿勢に対する満足度(問 13)

● 市職員の対応や行動などの仕事への取り組みについては、『満足派』は 84.5%、『不満派』は 14.5%となっている。

市職員の対応や行動に対する満足度について、『満足派』（「満足している」と「ある程度満足している」の合計）は 84.5%となっている。一方、『不満派』（「満足していない」と「あまり満足していない」の合計）は 14.5%で、『満足派』の方が『不満派』より高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『満足派』は令和 4 年度調査から 1.8 ポイント増加しており、過去 5 年間の調査で最も高くなっている。

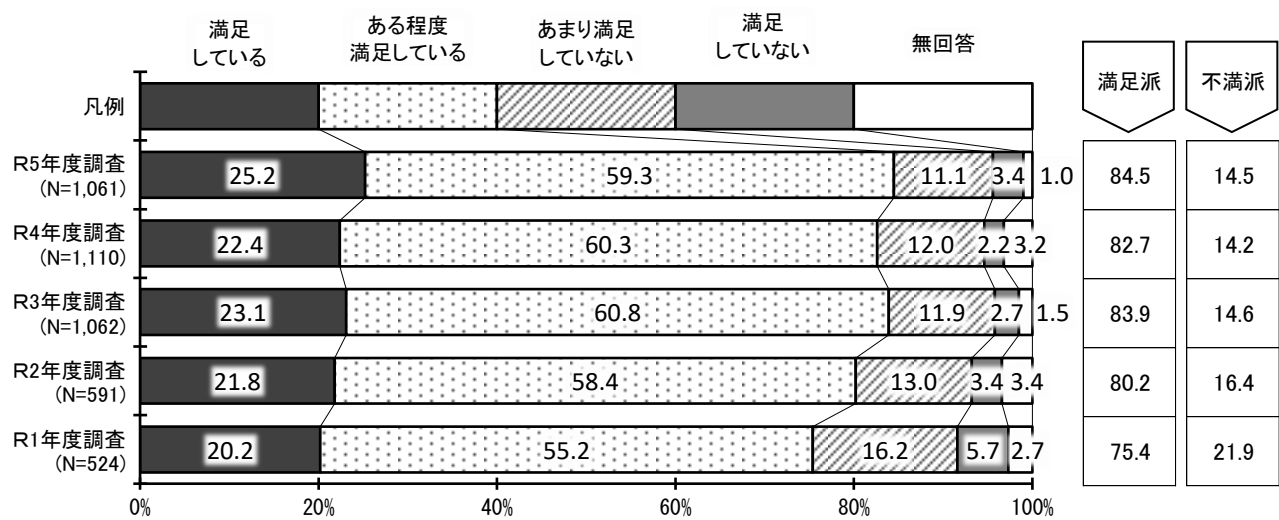
性別にみると、『満足派』は男性（86.2%）の方が女性（83.8%）より高くなっている。

年代別にみると、『満足派』が最も高いのは 70 歳代以上（87.3%）となっている。

小学校区別にみると、『満足派』が最も高いのは太宰府西小学校区（91.5%）となっている。

一方、『不満派』が最も高いのは太宰府小学校区（19.7%）となっている。

問 13. あなたは本市職員の窓口での対応や日頃の仕事に対する姿勢について、満足していますか。（○は1つ）



								(%)	
		標 本 数	満 足 し て い る	あ る 程 度 満 足	て あ ま り ない 満 足 し	い 満 足 し て い な	無 回 答	満 足 派	不 満 派
全 体		1,061 100.0	267 25.2	629 59.3	118 11.1	36 3.4	11 1.0	896 84.5	154 14.5
性別	男 性	461	27.8	58.4	10.6	2.8	0.4	86.2	13.4
	女 性	568	23.1	60.7	11.3	3.7	1.2	83.8	15.0
	無回答	32	25.0	46.9	15.6	6.3	6.3	71.9	21.9
年代別	20歳代	92	25.0	62.0	7.6	5.4	-	87.0	13.0
	30歳代	123	23.6	59.3	15.4	0.8	0.8	82.9	16.2
	40歳代	173	23.7	61.8	10.4	3.5	0.6	85.5	13.9
	50歳代	191	23.6	56.5	13.1	6.3	0.5	80.1	19.4
	60歳代	191	21.5	62.8	12.0	3.1	0.5	84.3	15.1
	70歳代以上	284	31.0	56.3	9.2	1.8	1.8	87.3	11.0
	無回答	7	-	57.1	-	14.3	28.6	57.1	14.3
小学校区別	太宰府小学校区	132	28.0	52.3	10.6	9.1	-	80.3	19.7
	太宰府東小学校区	113	23.0	65.5	7.1	3.5	0.9	88.5	10.6
	太宰府南小学校区	104	23.1	59.6	14.4	1.0	1.9	82.7	15.4
	水城小学校区	144	26.4	56.3	12.5	3.5	1.4	82.7	16.0
	水城西小学校区	126	17.5	65.1	11.1	4.8	1.6	82.6	15.9
	太宰府西小学校区	201	31.8	59.7	7.5	1.0	-	91.5	8.5
	国分小学校区	150	21.3	61.3	15.3	2.0	-	82.6	17.3
	わからない	73	28.8	53.4	15.1	2.7	-	82.2	17.8
	無回答	18	16.7	55.6	-	5.6	22.2	72.3	5.6

5. まちづくりビジョンの認知度(問 14)

- まちづくりビジョンの認知度は、「知らない」は 67.0%、「聞いた（見た）ことがある」は 21.1%となっている。

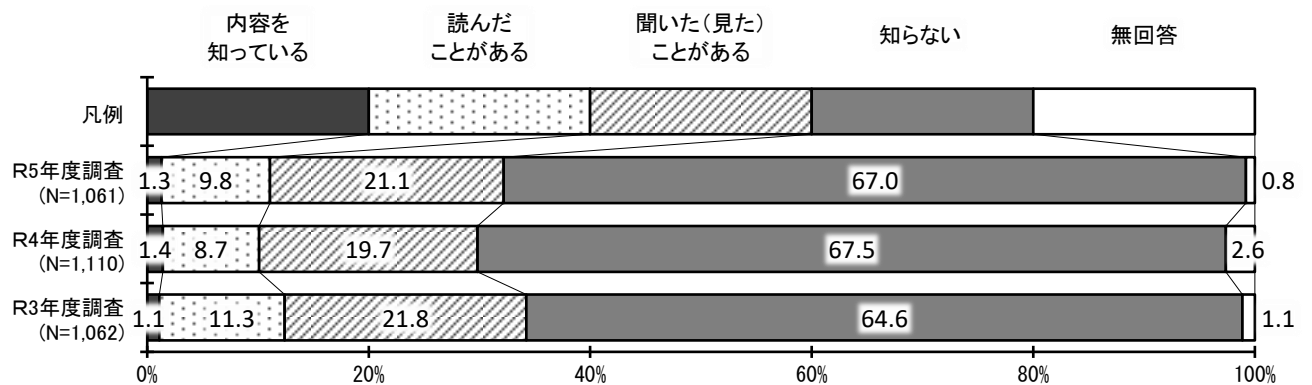
まちづくりビジョンの認知度について、「知らない」(67.0%) が最も高く、次いで「聞いた（見た）ことがある」(21.1%)、「読んだことがある」(9.8%) の順となっている。

性別にみると、「知らない」は男性が 67.2%、女性が 67.3%で男女に大きな差はみられない。

年代別にみると、「聞いた（見た）ことがある」が最も高いのは 70 歳以上 (26.1%) となっている。一方、「知らない」が最も高いのは 20 歳代 (78.3%) となっている。

小学校区別にみると、「内容を知っている」が最も高いのは太宰府東小学校区 (3.5%) となっている。一方、「知らない」が最も高いのは国分小学校区 (71.3%) となっている。

問 14. あなたは第 2 期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略（通称：まちづくりビジョン）を知っていますか。（○は 1 つ）



		標本数	内容を知っている	読んだことがある	聞いた(見た)ことがある	知らない	無回答
全体		1,061	14	104	224	711	8
		100.0	1.3	9.8	21.1	67.0	0.8
性別	男性	461	1.7	9.8	20.8	67.2	0.4
	女性	568	0.9	9.3	21.8	67.3	0.7
	無回答	32	3.1	18.8	12.5	59.4	6.3
年代別	20歳代	92	2.2	4.3	15.2	78.3	-
	30歳代	123	1.6	7.3	15.4	75.6	-
	40歳代	173	-	6.4	20.2	73.4	-
	50歳代	191	1.0	8.9	20.9	68.6	0.5
	60歳代	191	1.6	12.6	21.5	64.4	-
	70歳代以上	284	1.4	13.0	26.1	57.7	1.8
	無回答	7	14.3	28.6	14.3	14.3	28.6
小学校区別	太宰府小学校区	132	0.8	10.6	21.2	67.4	-
	太宰府東小学校区	113	3.5	13.3	22.1	60.2	0.9
	太宰府南小学校区	104	-	6.7	23.1	69.2	1.0
	水城小学校区	144	1.4	13.9	21.5	62.5	0.7
	水城西小学校区	126	1.6	8.7	19.8	69.8	-
	太宰府西小学校区	201	1.5	9.5	24.4	64.2	0.5
	国分小学校区	150	-	7.3	20.7	71.3	0.7
	わからない	73	1.4	4.1	12.3	82.2	-
無回答		18	5.6	22.2	11.1	44.4	16.7

6. 本市が行っている施策について

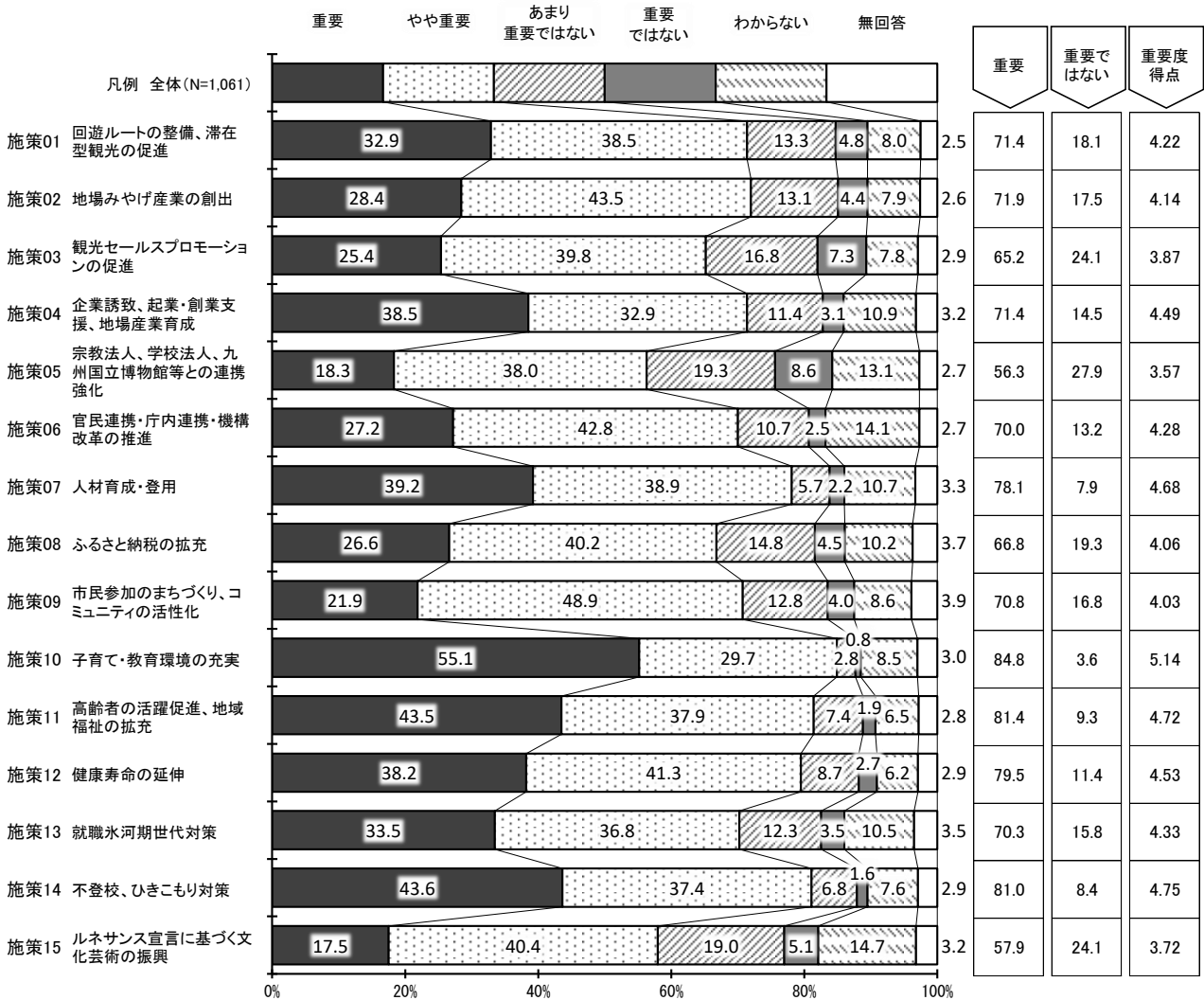
(1) 施策の重要度(31 施策)(問 15)

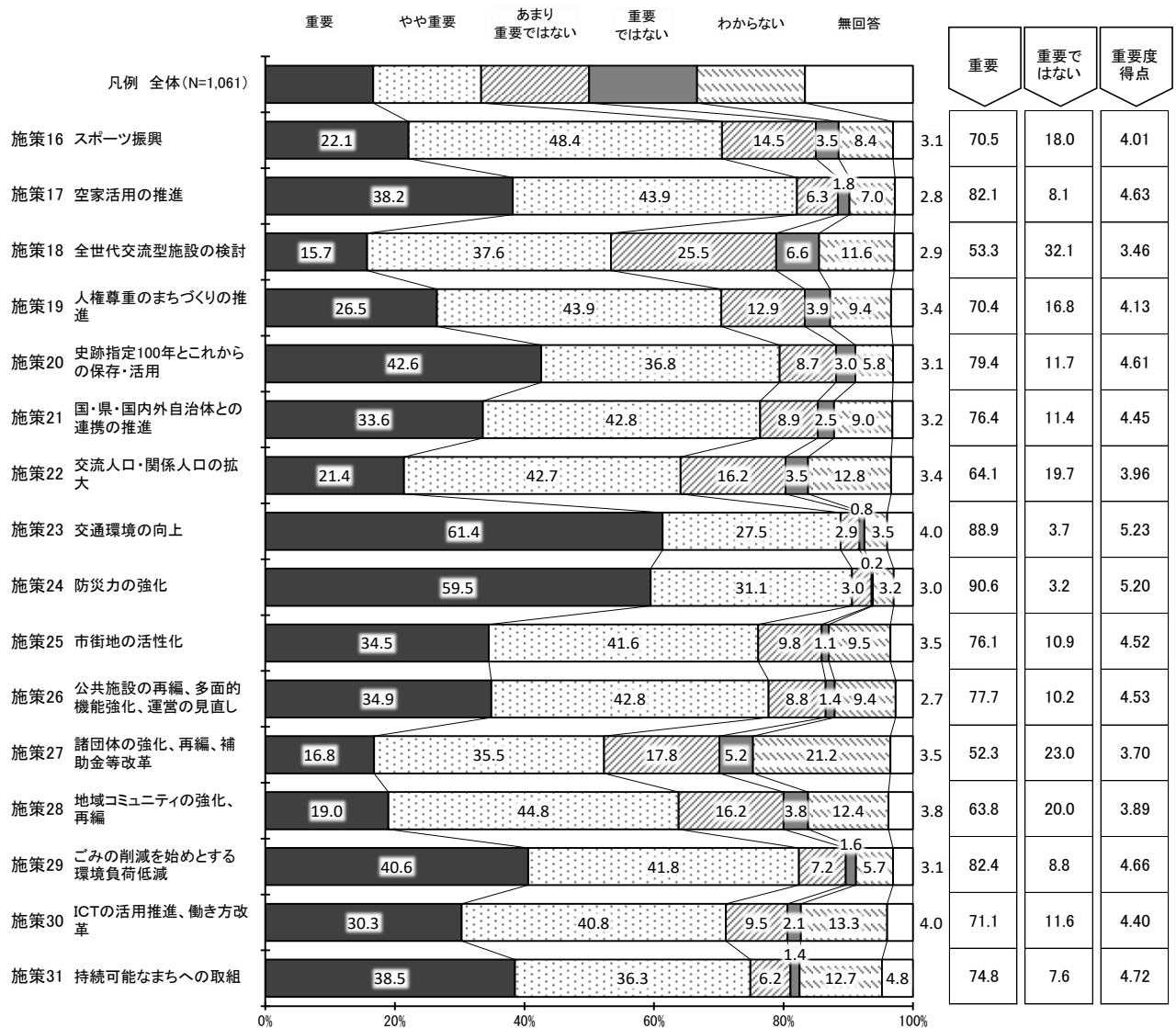
●「施策 23 交通環境の向上」「施策 24 防災力の強化」「施策 10 子育て・教育環境の充実」などで「重要」の割合が高い。

まちづくりビジョンに掲げた 31 項目への取り組みについて、『重要』（「重要」と「やや重要」の合計）と考えている割合が高いのは、「24 防災力の強化」（90.6%）、「23 交通環境の向上」（88.9%）、「10 子育て・教育環境の充実」（84.8%）、「29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減」（82.4%）、「17 空家活用の推進」（82.1%）、「11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充」（81.4%）、「14 不登校、ひきこもり対策」（81.0%）、「12 健康寿命の延伸」（79.5%）などがある。

一方、『重要』と考えている割合が低いのは、「27 諸団体の強化、再編、補助金等改革」（52.3%）や「18 全世代交流型施設の検討」（53.3%）などがあげられる。

問 15. 本市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、本市が行っているまちづくりビジョンに掲げる次の 1～31 の施策についておたずねします。
（A）あなたは、この施策がどの程度重要だと思いますか。
あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ 1 つ選んで、数字に○印をお付けください。





■重要度の得点化の手順

重 要 度		得 点	
1. 重 要	→	6 点	
2. やや重要	→	4 点	
3. あまり重要ではない	→	2 点	
4. 重要ではない	→	0 点	
5. わからない (無回答)	→	欠損値 (得点計算 の対象外)	

重要度
得 点

=

(選択肢 1) × 6 + (選択肢 2) × 4 + (選択肢 3) × 2 + (選択肢 4) × 0

(選択肢 1 ~ 選択肢 4 の回答者数)

	回答者の割合(%)			重要度	
	『重要』	『重要ではない』	わからない	重要度 得点	順位
施策23 交通環境の向上	88.9	3.7	3.5	5.23	1
施策24 防災力の強化	90.6	3.2	3.2	5.20	2
施策10 子育て・教育環境の充実	84.8	3.6	8.5	5.14	3
施策14 不登校、ひきこもり対策	81.0	8.4	7.6	4.75	4
施策31 持続可能なまちへの取組	74.8	7.6	12.7	4.72	5
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	81.4	9.3	6.5	4.72	6
施策07 人材育成・登用	78.1	7.9	10.7	4.68	7
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	82.4	8.8	5.7	4.66	8
施策17 空家活用の推進	82.1	8.1	7.0	4.63	9
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	79.4	11.7	5.8	4.61	10
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	77.7	10.2	9.4	4.53	11
施策12 健康寿命の延伸	79.5	11.4	6.2	4.53	12
施策25 市街地の活性化	76.1	10.9	9.5	4.52	13
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	71.4	14.5	10.9	4.49	14
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	76.4	11.4	9.0	4.45	15
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	71.1	11.6	13.3	4.40	16
施策13 就職氷河期世代対策	70.3	15.8	10.5	4.33	17
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	70.0	13.2	14.1	4.28	18
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	71.4	18.1	8.0	4.22	19
施策02 地場みやげ産業の創出	71.9	17.5	7.9	4.14	20
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	70.4	16.8	9.4	4.13	21
施策08 ふるさと納税の拡充	66.8	19.3	10.2	4.06	22
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	70.8	16.8	8.6	4.03	23
施策16 スポーツ振興	70.5	18.0	8.4	4.01	24
施策22 交流人口・関係人口の拡大	64.1	19.7	12.8	3.96	25
施策28 地域コミュニティの強化、再編	63.8	20.0	12.4	3.89	26
施策03 観光セールスプロモーションの促進	65.2	24.1	7.8	3.87	27
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	57.9	24.1	14.7	3.72	28
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	52.3	23.0	21.2	3.70	29
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	56.3	27.9	13.1	3.57	30
施策18 全世代交流型施設の検討	53.3	32.1	11.6	3.46	31

重要度
【平均値】
4.34

『重要』＝「重要」＋「やや重要」
『重要ではない』＝「あまり重要ではない」＋「重要ではない」

各施策について、まちづくりビジョンに掲げた市民意識調査による重要度評価を整理する。

① 性別

重要度の平均値は 4.34 となり、その内訳をみると男性が 4.22 に対し女性は 4.46 で、女性の方が高くなっている。

女性は、「03 観光セールスプロモーションの促進」を除くすべての項目において男性より重要度得点が高くなっている。

② 年齢別

第1位をみると、20歳代と40歳代と50歳代は「23 交通環境の向上」、30歳代は「10 子育て・教育環境の充実」、60歳代と70歳代以上は「24 防災力の強化」となっている。

③ 地域別

第1位をみると、太宰府南小学校区と水城小学校区と水城西小学校区を除くすべての小学校区で「23 交通環境の向上」となっている。なお、太宰府南小学校区と水城小学校区と水城西小学校区は「24 防災力の強化」が第1位となっている。

第2章 調査結果の分析

(左列:重要度得点/右列:順位)

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上
施策23 交通環境の向上	5.23 1	5.19 1	5.29 2	5.45 1	5.22 2	5.38 1	5.22 1	5.15 2	5.12 2
施策24 防災力の強化	5.20 2	5.03 2	5.34 1	5.20 3	5.15 3	5.28 2	5.12 2	5.27 1	5.18 1
施策10 子育て・教育環境の充実	5.14 3	4.99 3	5.28 3	5.43 2	5.33 1	5.22 3	5.06 3	5.15 3	4.93 3
施策14 不登校、ひきこもり対策	4.75 4	4.54 5	4.93 4	4.80 7	4.89 4	4.87 4	4.40 14	4.70 10	4.89 4
施策31 持続可能なまちへの取組	4.72 5	4.65 4	4.79 8	5.13 4	4.46 10	4.68 7	4.56 6	4.75 9	4.84 6
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	4.72 6	4.50 7	4.91 5	4.36 18	4.35 14	4.73 5	4.78 4	4.97 4	4.78 7
施策07 人材育成・登用	4.68 7	4.52 6	4.82 7	4.55 13	4.74 6	4.66 8	4.48 10	4.81 6	4.75 9
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	4.66 8	4.47 9	4.84 6	4.63 9	4.33 15	4.54 12	4.53 8	4.86 5	4.89 5
施策17 空家活用の推進	4.63 9	4.46 11	4.76 9	4.60 10	4.46 11	4.71 6	4.53 8	4.76 8	4.64 11
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	4.61 10	4.46 10	4.76 10	4.80 8	4.36 13	4.55 11	4.47 11	4.69 11	4.77 8
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	4.53 11	4.45 12	4.61 12	4.59 11	4.75 5	4.63 10	4.41 13	4.57 13	4.39 15
施策12 健康寿命の延伸	4.53 12	4.32 15	4.72 11	4.24 20	4.17 19	4.45 16	4.53 7	4.78 7	4.67 10
施策25 市街地の活性化	4.52 13	4.48 8	4.57 15	4.44 16	4.61 7	4.66 8	4.42 12	4.56 15	4.45 13
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	4.49 14	4.42 13	4.57 16	4.15 23	4.56 8	4.46 15	4.68 5	4.58 12	4.37 16
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	4.45 15	4.32 16	4.60 13	4.59 11	4.37 12	4.38 17	4.23 17	4.57 14	4.59 12
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	4.40 16	4.39 14	4.43 17	4.84 6	4.50 9	4.50 13	4.35 15	4.35 17	4.20 19
施策13 就職氷河期世代対策	4.33 17	4.01 21	4.59 14	4.54 15	4.14 21	4.50 14	4.11 20	4.36 16	4.33 17
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	4.28 18	4.18 17	4.38 18	4.33 19	4.26 18	4.18 18	4.08 21	4.34 18	4.43 14
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	4.22 19	4.18 18	4.29 19	4.88 5	4.30 16	4.13 21	4.29 16	4.21 20	3.97 25
施策02 地場みやげ産業の創出	4.14 20	4.10 19	4.19 22	4.14 24	4.14 22	4.17 19	4.21 19	4.16 21	4.05 23
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	4.13 21	4.05 20	4.22 20	4.19 22	4.16 20	4.14 20	3.94 23	4.26 19	4.13 22
施策08 ふるさと納税の拡充	4.06 22	3.96 22	4.21 21	4.55 13	4.29 17	4.00 23	4.22 18	3.92 26	3.81 27
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	4.03 23	3.93 23	4.10 25	4.07 25	3.88 23	3.94 24	3.85 25	4.15 22	4.17 20
施策16 スポーツ振興	4.01 24	3.88 24	4.12 23	3.91 27	3.87 24	3.91 25	3.93 24	4.01 23	4.24 18
施策22 交流人口・関係人口の拡大	3.96 25	3.81 26	4.10 24	4.43 17	3.66 26	4.03 22	3.79 26	3.91 27	4.04 24
施策28 地域コミュニティの強化、再編	3.89 26	3.78 27	3.98 26	3.85 28	3.56 28	3.86 27	3.68 27	3.99 24	4.17 21
施策03 観光セールスプロモーションの促進	3.87 27	3.88 25	3.87 27	4.21 21	3.69 25	3.87 26	3.99 22	3.94 25	3.69 29
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.72 28	3.58 29	3.85 28	3.69 29	3.50 29	3.73 29	3.46 29	3.83 28	3.95 26
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	3.70 29	3.60 28	3.79 29	4.03 26	3.64 27	3.80 28	3.59 28	3.81 29	3.51 31
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	3.57 30	3.44 30	3.69 30	3.54 31	3.33 30	3.43 31	3.37 31	3.77 30	3.78 28
施策18 全世代交流型施設の検討	3.46 31	3.30 31	3.64 31	3.56 30	3.08 31	3.48 30	3.38 30	3.67 31	3.55 30
平均	4.34 -	4.22 -	4.46 -	4.44 -	4.25 -	4.35 -	4.25 -	4.41 -	4.36 -

(左列:重要度得点/右列:順位)

	全体	太宰府 小学校区	太宰府東 小学校区	太宰府南 小学校区	水城 小学校区	水城西 小学校区	太宰府西 小学校区	国分 小学校区	わからな い
施策23 交通環境の向上	5.23 1	5.32 1	5.19 1	5.35 2	5.25 2	5.09 3	5.30 1	5.26 1	5.03 2
施策24 防災力の強化	5.20 2	5.12 2	5.14 2	5.45 1	5.32 1	5.20 1	5.14 3	5.18 3	5.17 1
施策10 子育て・教育環境の充実	5.14 3	5.07 3	5.03 3	5.22 3	5.23 3	5.14 2	5.27 2	5.23 2	4.73 3
施策14 不登校、ひきこもり対策	4.75 4	4.76 4	4.68 5	5.00 4	4.74 7	4.68 8	4.86 7	4.73 8	4.42 8
施策31 持続可能なまちへの取組	4.72 5	4.75 5	4.76 4	4.74 10	4.61 11	4.69 7	4.86 6	4.83 5	4.34 10
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	4.72 6	4.47 12	4.60 8	4.80 7	4.77 5	4.72 5	4.94 4	4.82 7	4.39 9
施策07 人材育成・登用	4.68 7	4.52 10	4.65 6	4.64 12	4.75 6	4.70 6	4.68 11	4.83 6	4.60 5
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	4.66 8	4.66 7	4.55 9	4.87 5	4.67 9	4.62 9	4.73 10	4.69 9	4.62 4
施策17 空家活用の推進	4.63 9	4.68 6	4.41 12	4.65 11	4.78 4	4.47 12	4.81 8	4.67 10	4.28 12
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	4.61 10	4.50 11	4.62 7	4.81 6	4.72 8	4.27 17	4.90 5	4.56 13	4.24 13
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	4.53 11	4.54 9	4.54 10	4.50 15	4.45 17	4.50 11	4.66 13	4.47 15	4.54 6
施策12 健康寿命の延伸	4.53 12	4.17 17	4.52 11	4.78 8	4.66 10	4.24 18	4.80 9	4.62 11	4.21 16
施策25 市街地の活性化	4.52 13	4.56 8	4.25 15	4.76 9	4.52 12	4.39 13	4.60 14	4.52 14	4.53 7
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	4.49 14	4.13 19	4.25 15	4.62 13	4.46 16	4.77 4	4.52 16	4.84 4	4.10 18
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	4.45 15	4.43 13	4.39 13	4.53 14	4.47 14	4.37 14	4.67 12	4.33 17	4.32 11
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	4.40 16	4.31 14	4.08 19	4.39 16	4.47 15	4.55 10	4.50 17	4.59 12	4.21 15
施策13 就職氷河期世代対策	4.33 17	4.30 15	4.37 14	4.29 19	4.33 19	4.07 20	4.55 15	4.39 16	4.06 19
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	4.28 18	4.16 18	4.20 17	4.31 18	4.41 18	4.31 16	4.31 20	4.25 19	4.24 14
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	4.22 19	4.05 21	4.00 21	4.11 23	4.49 13	4.35 15	4.29 22	4.27 18	4.03 20
施策02 地場みやげ産業の創出	4.14 20	3.72 26	4.16 18	4.22 22	4.22 20	4.09 19	4.31 19	4.24 20	4.16 17
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	4.13 21	4.26 16	4.08 20	4.27 20	4.05 23	4.00 21	4.29 21	4.08 23	3.84 24
施策08 ふるさと納税の拡充	4.06 22	4.02 22	3.92 23	4.02 25	4.11 21	3.98 22	4.27 23	4.09 21	3.90 22
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	4.03 23	4.08 20	3.86 25	4.24 21	3.98 24	3.81 25	4.19 24	3.98 25	3.97 21
施策16 スポーツ振興	4.01 24	3.85 25	3.96 22	3.89 27	4.08 22	3.86 24	4.37 18	3.95 26	3.75 26
施策22 交流人口・関係人口の拡大	3.96 25	3.91 23	3.74 27	4.31 17	3.83 29	3.93 23	4.14 26	4.02 24	3.48 29
施策28 地域コミュニティの強化、再編	3.89 26	3.91 23	3.87 24	3.91 26	3.91 27	3.74 27	4.04 27	3.86 27	3.67 27
施策03 観光セールスプロモーションの促進	3.87 27	3.54 30	3.58 29	3.69 28	3.98 25	3.81 25	4.18 25	4.09 22	3.87 23
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.72 28	3.64 28	3.60 28	4.10 24	3.97 26	3.21 31	3.97 28	3.63 30	3.45 30
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	3.70 29	3.57 29	3.85 26	3.64 29	3.90 28	3.40 29	3.69 30	3.74 28	3.82 25
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	3.57 30	3.53 31	3.54 30	3.56 31	3.63 30	3.44 28	3.75 29	3.63 29	3.19 31
施策18 全世代交流型施設の検討	3.46 31	3.64 27	3.16 31	3.56 30	3.61 31	3.33 30	3.51 31	3.39 31	3.50 28
平均	4.34 -	4.26 -	4.24 -	4.43 -	4.40 -	4.25 -	4.49 -	4.38 -	4.15 -

(2) 施策の満足度(31 施策)(問 15)

- 「施策 20 史跡指定 100 年とこれからの保存・活用」「施策 02 地場みやげ産業の創出」「施策 03 観光セールスプロモーションの促進」「施策 29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減」などで『満足派』の割合が高い。

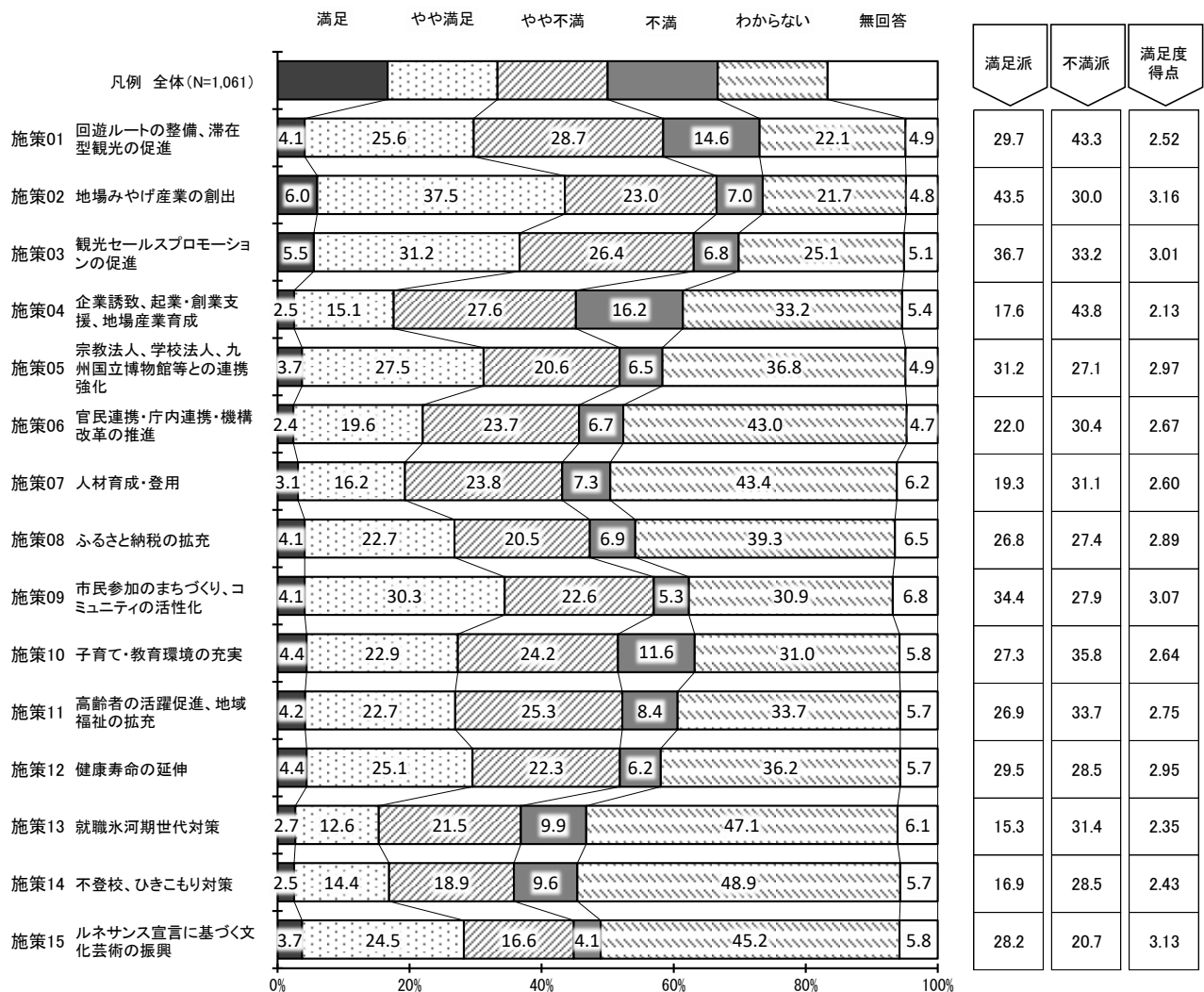
まちづくりビジョンに掲げた 31 項目への取り組みについて、『満足派』（「満足」と「やや満足」の合計）と考えている割合が高いのは「20 史跡指定 100 年とこれからの保存・活用」（45.2%）、「02 地場みやげ産業の創出」（43.5%）、「03 観光セールスプロモーションの促進」（36.7%）、「29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減」（36.6%）、「16 スポーツ振興」（35.5%）、「09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化」（34.4%）などがある。

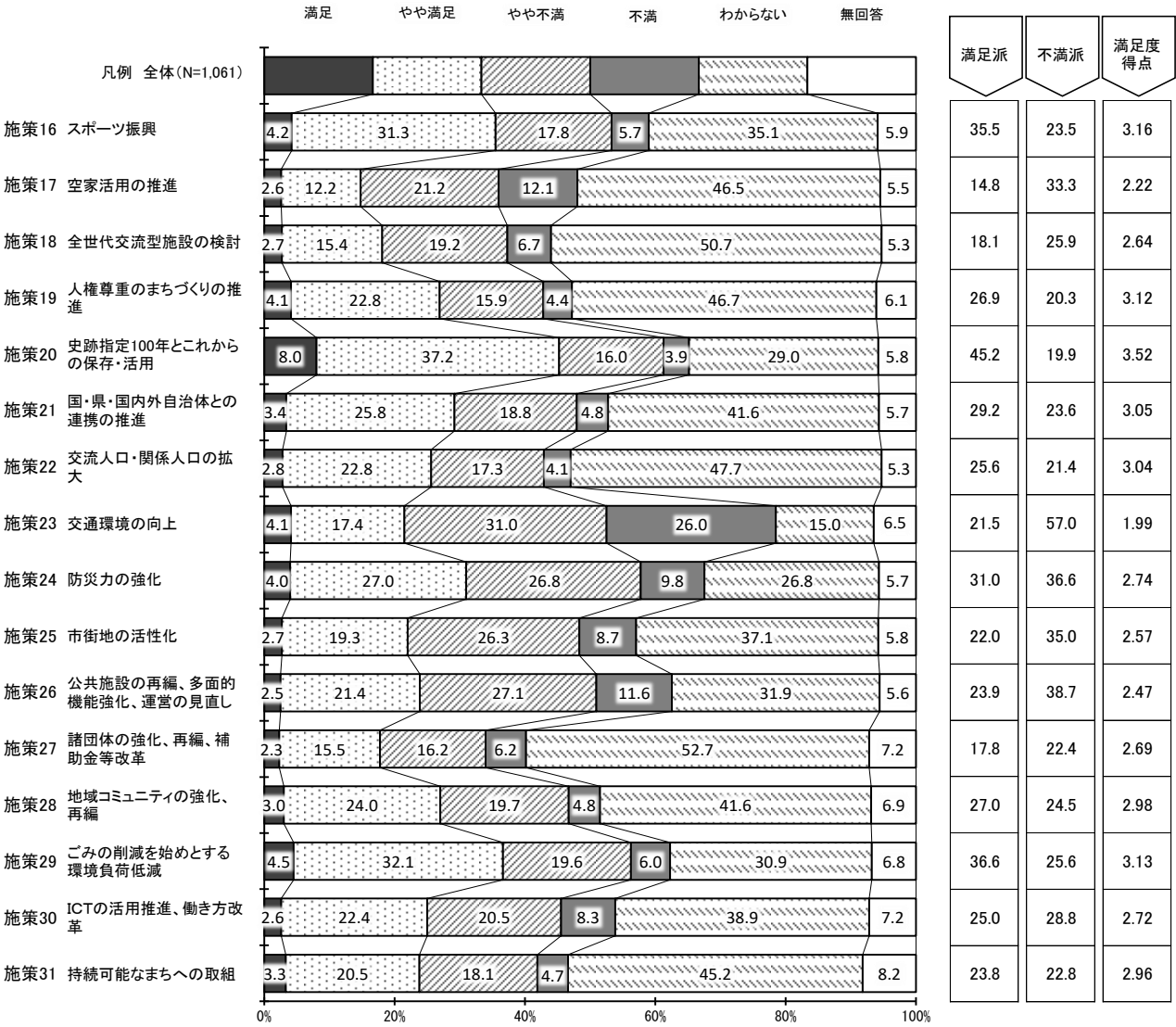
一方、『満足派』の割合が低い施策としては、「17 空家活用の推進」（14.8%）や「13 就職氷河期世代対策」（15.3%）、「14 不登校、ひきこもり対策」（16.9%）、「04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成」（17.6%）などがあげられる。

問 15. 本市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、本市が行っているまちづくりビジョンに掲げる次の 1～31 の施策についておたずねします。

(B) あなたは、この施策にどの程度満足していますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ 1 つ選んで、数字に○印をお付けください。





■満足度の得点化の手順

満足度	得点
1. 満足	→ 6点
2. やや満足	→ 4点
3. やや不満	→ 2点
4. 不満	→ 0点
5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算の対象外)

満足度得点

=

(選択肢1) × 6 + (選択肢2) × 4 + (選択肢3) × 2 + (選択肢4) × 0

(選択肢1 ~ 選択肢4 の回答者数)

	回答者の割合(%)			満足度	
	『満足』	『不満』	わからない	満足度 得点	順位
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	45.2	19.9	29.0	3.52	1
施策02 地場みやげ産業の創出	43.5	30.0	21.7	3.16	2
施策16 スポーツ振興	35.5	23.5	35.1	3.16	3
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	28.2	20.7	45.2	3.13	4
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	36.6	25.6	30.9	3.13	5
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	26.9	20.3	46.7	3.12	6
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	34.4	27.9	30.9	3.07	7
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	29.2	23.6	41.6	3.05	8
施策22 交流人口・関係人口の拡大	25.6	21.4	47.7	3.04	9
施策03 観光セールスプロモーションの促進	36.7	33.2	25.1	3.01	10
施策28 地域コミュニティの強化、再編	27.0	24.5	41.6	2.98	11
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	31.2	27.1	36.8	2.97	12
施策31 持続可能なまちへの取組	23.8	22.8	45.2	2.96	13
施策12 健康寿命の延伸	29.5	28.5	36.2	2.95	14
施策08 ふるさと納税の拡充	26.8	27.4	39.3	2.89	15
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	26.9	33.7	33.7	2.75	16
施策24 防災力の強化	31.0	36.6	26.8	2.74	17
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	25.0	28.8	38.9	2.72	18
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	17.8	22.4	52.7	2.69	19
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	22.0	30.4	43.0	2.67	20
施策18 全世代交流型施設の検討	18.1	25.9	50.7	2.64	21
施策10 子育て・教育環境の充実	27.3	35.8	31.0	2.64	22
施策07 人材育成・登用	19.3	31.1	43.4	2.60	23
施策25 市街地の活性化	22.0	35.0	37.1	2.57	24
施策01 回遊ルートを整備、滞在型観光の促進	29.7	43.3	22.1	2.52	25
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	23.9	38.7	31.9	2.47	26
施策14 不登校、ひきこもり対策	16.9	28.5	48.9	2.43	27
施策13 就職氷河期世代対策	15.3	31.4	47.1	2.35	28
施策17 空家活用の推進	14.8	33.3	46.5	2.22	29
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	17.6	43.8	33.2	2.13	30
施策23 交通環境の向上	21.5	57.0	15.0	1.99	31

満足度
【平均値】
2.78

『満足』＝「満足」＋「やや満足」

『不満』＝「やや不満」＋「不満」

●『満足』『不満』『わからない』のうち、各項目で最も割合が高いものを太字で示している

各施策について、まちづくりビジョンに掲げた市民意識調査による満足度評価を整理する。

① 性別

満足度の平均値は 2.78 となり、その内訳をみると男性が 2.71 に対し女性は 2.87 で、女性の方が高くなっている。

女性は、「10 子育て・教育環境の充実」「01 回遊ルートを整備、滞在型観光の促進」「13 就職氷河期世代対策」を除くすべての項目において男性より満足度得点が高くなっている。

② 年齢別

第1位をみると、すべての年代で「20 史跡指定 100 年とこれからの保存・活用」となっている。

③ 地域別

第1位をみると、すべての小学校区で「20 史跡指定 100 年とこれからの保存・活用」となっている。

(左列:満足度得点/右列:順位)

	全体	男性	女性	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代 以上
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	3.52 1	3.38 1	3.65 1	4.00 1	3.77 1	3.66 1	3.27 1	3.36 1	3.43 1
施策02 地場みやげ産業の創出	3.16 2	2.98 6	3.32 2	3.60 4	3.56 2	3.43 2	2.96 7	2.94 9	2.90 14
施策16 スポーツ振興	3.16 3	3.07 2	3.27 4	3.59 5	3.25 7	3.21 5	3.18 2	3.06 2	2.99 5
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.13 4	3.03 4	3.27 3	3.67 3	3.21 9	3.41 3	2.98 5	3.00 3	2.93 12
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	3.13 5	3.01 5	3.22 6	3.54 8	3.16 10	3.18 6	2.89 9	2.97 7	3.21 2
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	3.12 6	3.05 3	3.23 5	3.82 2	3.29 6	3.30 4	3.10 3	2.75 13	2.94 9
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	3.07 7	2.96 8	3.16 10	3.41 12	2.93 16	3.05 10	3.07 4	2.97 5	3.06 3
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	3.05 8	2.97 7	3.17 9	3.52 9	3.24 8	3.09 9	2.85 11	3.00 3	2.95 8
施策22 交流人口・関係人口の拡大	3.04 9	2.90 11	3.19 8	3.58 6	3.38 4	2.93 14	2.93 8	2.97 6	2.88 15
施策03 観光セールスプロモーションの促進	3.01 10	2.87 14	3.19 7	3.54 7	3.31 5	3.14 8	2.97 6	2.69 15	2.87 16
施策28 地域コミュニティの強化、再編	2.98 11	2.89 12	3.09 11	3.42 11	3.42 3	2.94 13	2.73 17	2.76 12	3.01 4
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	2.97 12	2.87 13	3.08 12	3.46 10	3.09 12	2.90 15	2.81 13	2.95 8	2.94 10
施策31 持続可能なまちへの取組	2.96 13	2.91 9	3.01 15	3.37 13	3.09 11	3.02 11	2.78 15	2.84 10	2.94 11
施策12 健康寿命の延伸	2.95 14	2.91 10	3.01 14	3.35 15	3.07 13	3.15 7	2.85 10	2.64 18	2.97 7
施策08 ふるさと納税の拡充	2.89 15	2.75 15	3.04 13	3.30 17	2.82 21	2.86 16	2.82 12	2.72 14	2.99 6
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	2.75 16	2.73 16	2.78 18	3.27 18	2.88 18	3.01 12	2.80 14	2.46 25	2.61 21
施策24 防災力の強化	2.74 17	2.72 18	2.78 19	3.37 14	2.78 23	2.62 20	2.75 16	2.54 22	2.72 20
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	2.72 18	2.68 19	2.77 20	2.97 22	2.54 27	2.76 17	2.68 19	2.65 17	2.77 18
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	2.69 19	2.53 24	2.88 16	2.77 26	2.85 19	2.52 22	2.48 22	2.81 11	2.80 17
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	2.67 20	2.54 23	2.81 17	3.33 16	3.02 15	2.73 18	2.48 22	2.57 19	2.52 22
施策18 全世代交流型施設の検討	2.64 21	2.60 20	2.70 21	3.26 19	3.06 14	2.52 21	2.71 18	2.55 21	2.33 27
施策10 子育て・教育環境の充実	2.64 22	2.73 17	2.56 24	2.55 27	2.21 31	2.69 19	2.63 20	2.65 16	2.91 13
施策07 人材育成・登用	2.60 23	2.57 21	2.69 22	2.80 24	2.91 17	2.51 23	2.40 27	2.50 23	2.72 19
施策25 市街地の活性化	2.57 24	2.49 25	2.66 23	3.24 20	2.83 20	2.40 24	2.53 21	2.47 24	2.43 24
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	2.52 25	2.54 22	2.51 25	2.96 23	2.49 28	2.37 25	2.47 24	2.55 20	2.50 23
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	2.47 26	2.46 26	2.47 27	3.05 21	2.62 26	2.37 26	2.35 28	2.44 26	2.40 26
施策14 不登校、ひきこもり対策	2.43 27	2.38 28	2.48 26	2.78 25	2.81 22	2.34 27	2.42 26	2.33 28	2.21 28
施策13 就職氷河期世代対策	2.35 28	2.39 27	2.36 28	2.47 30	2.62 24	2.08 29	2.43 25	2.36 27	2.42 25
施策17 空家活用の推進	2.22 29	2.22 29	2.25 29	2.48 29	2.46 29	2.31 28	2.32 29	2.02 30	2.06 29
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	2.13 30	2.09 30	2.18 30	2.53 28	2.62 25	2.02 30	1.91 31	2.18 29	2.00 30
施策23 交通環境の向上	1.99 31	1.90 31	2.08 31	2.20 31	2.31 30	1.85 31	1.94 30	1.89 31	1.97 31
平均	2.78 -	2.71 -	2.87 -	3.20 -	2.95 -	2.79 -	2.69 -	2.66 -	2.72 -

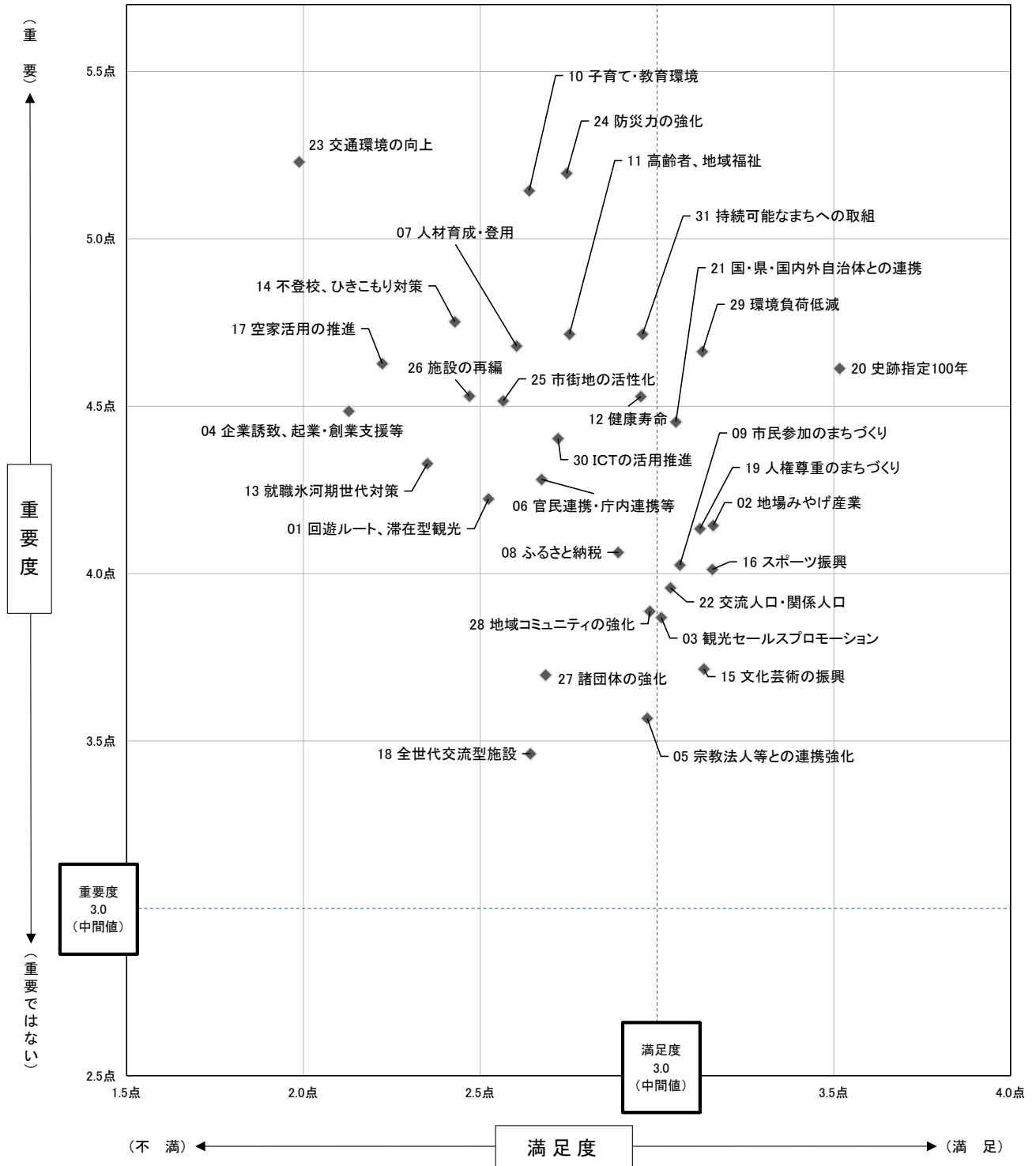
第2章 調査結果の分析

(左列:満足度得点/右列:順位)

	全体	太宰府 小学校区	太宰府東 小学校区	太宰府南 小学校区	水城 小学校区	水城西 小学校区	太宰府西 小学校区	国分 小学校区	わからな い
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	3.52 1	3.56 1	3.44 1	3.55 1	3.58 1	3.41 1	3.65 1	3.20 1	3.81 1
施策02 地場みやげ産業の創出	3.16 2	3.19 4	3.20 3	3.24 4	3.07 15	3.14 2	3.33 5	2.94 8	3.08 7
施策16 スポーツ振興	3.16 3	3.08 7	3.17 5	3.39 2	3.23 4	2.99 7	3.27 7	3.04 5	3.24 3
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.13 4	3.07 8	3.17 4	3.04 9	3.36 2	2.91 10	3.39 2	2.97 7	3.07 11
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	3.13 5	3.34 2	2.83 14	3.25 3	3.15 9	3.01 6	3.18 8	3.20 2	2.81 20
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	3.12 6	2.86 15	3.39 2	3.13 6	3.20 5	3.03 5	3.34 4	3.07 4	2.83 19
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	3.07 7	2.84 16	3.08 8	3.05 8	3.15 9	2.78 13	3.36 3	3.02 6	3.15 6
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	3.05 8	3.03 9	2.89 13	3.13 5	3.15 13	2.90 11	3.33 6	2.89 9	3.03 12
施策22 交流人口・関係人口の拡大	3.04 9	3.22 3	2.96 11	2.80 16	3.16 8	2.81 12	3.06 12	3.10 3	3.47 2
施策03 観光セールスプロモーションの促進	3.01 10	3.10 6	3.11 7	2.86 14	3.15 12	2.75 14	3.15 10	2.87 10	3.07 10
施策28 地域コミュニティの強化、再編	2.98 11	2.96 12	2.95 12	2.77 17	3.15 11	3.03 4	3.17 9	2.80 13	2.90 15
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	2.97 12	3.02 10	3.06 9	3.08 7	3.32 3	2.74 15	2.95 16	2.80 12	2.97 13
施策31 持続可能なまちへの取組	2.96 13	3.10 5	2.72 17	2.82 15	3.13 14	3.09 3	3.06 12	2.75 15	3.07 9
施策12 健康寿命の延伸	2.95 14	3.01 11	3.13 6	2.98 11	3.17 7	2.93 8	2.85 18	2.70 16	3.07 8
施策08 ふるさと納税の拡充	2.89 15	2.64 21	3.03 10	3.04 10	3.18 6	2.49 21	3.11 11	2.80 11	2.85 16
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	2.75 16	2.80 17	2.78 15	2.91 12	2.96 19	2.65 17	2.71 24	2.42 21	2.91 14
施策24 防災力の強化	2.74 17	2.79 18	2.56 21	2.65 20	2.98 17	2.92 9	2.70 25	2.69 17	2.76 23
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	2.72 18	2.88 14	2.65 18	2.40 24	2.88 21	2.55 20	2.82 19	2.54 18	3.19 4
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	2.69 19	2.90 13	2.53 23	2.35 26	2.85 22	2.70 16	2.88 17	2.45 20	2.55 27
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	2.67 20	2.66 19	2.46 25	2.76 18	3.03 16	2.37 26	2.99 14	2.36 23	2.63 26
施策18 全世代交流型施設の検討	2.64 21	2.28 27	2.63 19	2.52 22	2.96 18	2.41 23	2.82 20	2.76 14	2.85 17
施策10 子育て・教育環境の充実	2.64 22	2.44 24	2.60 20	2.89 13	2.69 25	2.38 25	2.96 15	2.24 26	3.18 5
施策07 人材育成・登用	2.60 23	2.43 25	2.55 22	2.65 19	2.91 20	2.39 24	2.81 21	2.33 25	2.83 18
施策25 市街地の活性化	2.57 24	2.65 20	2.28 27	2.17 28	2.82 23	2.64 18	2.73 23	2.48 19	2.76 22
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	2.52 25	2.27 28	2.74 16	2.56 21	2.43 27	2.43 22	2.73 22	2.37 22	2.72 24
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	2.47 26	2.47 23	2.16 30	2.38 25	2.68 26	2.56 19	2.55 27	2.34 24	2.70 25
施策14 不登校、ひきこもり対策	2.43 27	2.56 22	2.49 24	2.34 27	2.40 28	2.33 27	2.60 26	2.03 27	2.80 21
施策13 就職氷河期世代対策	2.35 28	2.29 26	2.26 28	2.45 23	2.75 24	2.31 28	2.45 28	2.03 28	2.43 28
施策17 空家活用の推進	2.22 29	2.25 29	2.22 29	2.08 30	2.31 29	2.28 29	2.38 29	1.89 29	2.38 30
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	2.13 30	2.16 30	2.41 26	2.12 29	2.24 30	1.93 31	2.31 30	1.64 31	2.42 29
施策23 交通環境の向上	1.99 31	1.87 31	1.74 31	1.92 31	1.95 31	2.04 30	2.23 31	1.85 30	2.36 31
平均	2.78 -	2.77 -	2.75 -	2.75 -	2.94 -	2.67 -	2.93 -	2.60 -	2.90 -

(3)重要度と満足度の相関関係

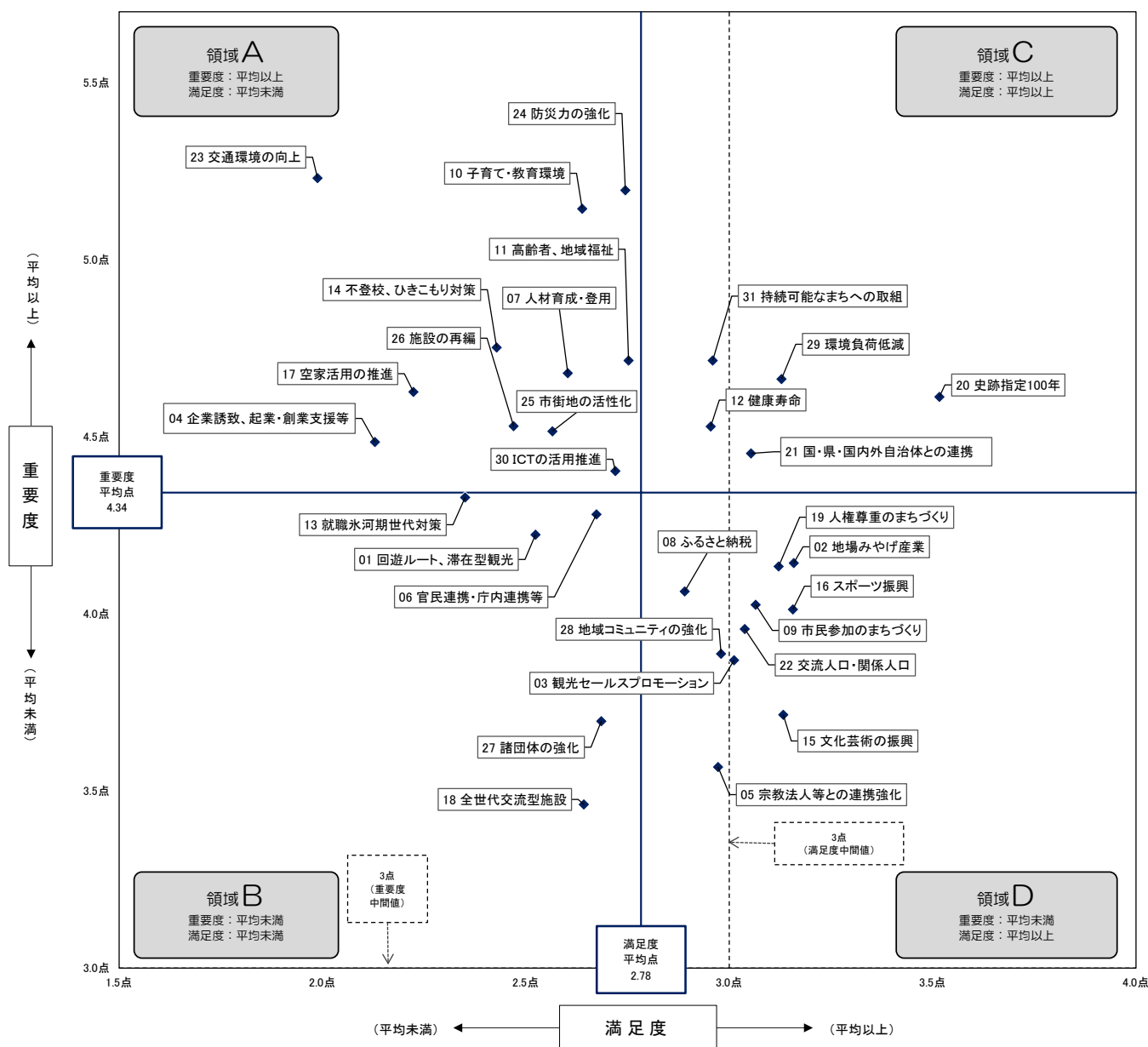
縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関関係をみると、重要度はすべての項目で中間値(3.0)を上回っている。一方、満足度が中間値(3.0)を上回っているのは、「20 史跡指定100年とこれからの保存・活用」「02 地場みやげ産業の創出」「16 スポーツ振興」「15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興」「29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減」「19 人権尊重のまちづくりの推進」「09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化」「21 国・県・国内外自治体との連携の推進」「22 交流人口・関係人口の拡大」「03 観光セールスプロモーションの促進」の10施策となっている。



(4)重要度と満足度の領域別相関関係

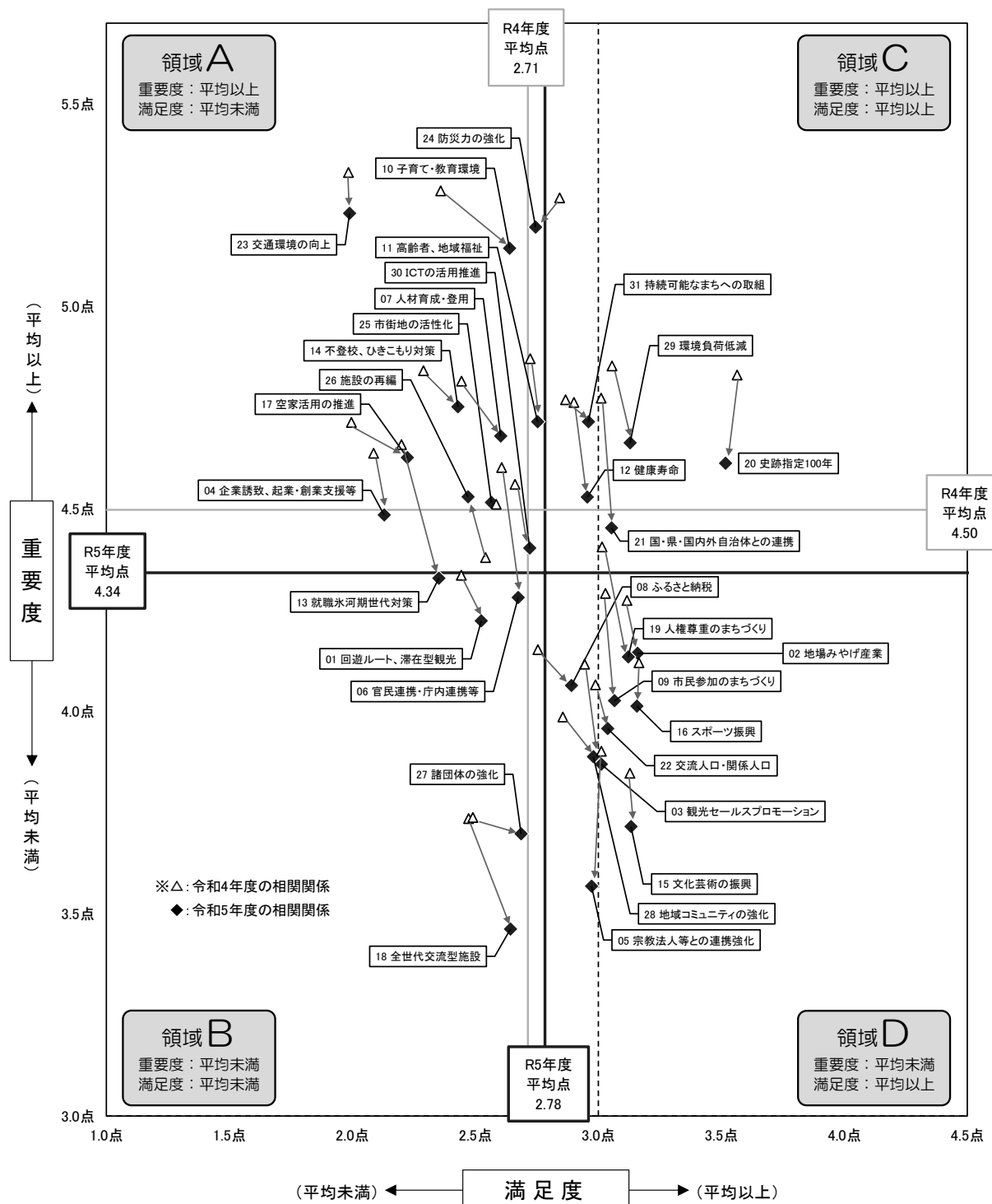
重要度と満足度の領域別相関関係をみると、重要度が高くかつ満足度が低い【領域A】に入る施策が早急に対応すべき優先度が高い項目となり、その施策は「23 交通環境の向上」「14 不登校、ひきこもり対策」「17 空家活用の推進」「10 子育て・教育環境の充実」「24 防災力の強化」「04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成」「07 人材育成・登用」「26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し」「25 市街地の活性化」「11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充」「30 ICTの活用推進、働き方改革」の11施策となっている。

各領域 該当項目 の特徴	【領域A】	重要度・高 満足度・低	今後改善の優先度が高い（行政的ニーズが高い）。
	【領域B】	重要度・低 満足度・低	施策の重要性を理解してもらうとともに満足度をあげていく必要がある。
	【領域C】	重要度・高 満足度・高	重要度・満足度ともに平均以上で、引き続き取り組みの充実が求められる。
	【領域D】	重要度・低 満足度・高	重要度が低く、満足度が高いもので、今後、施策の重要性を理解してもらうことが必要である。



(5)令和4年度の重要度と満足度の相関関係との比較

令和4年度の重要度と満足度の領域別相関関係をみると、重要度が高い一方、満足度が低い【領域A】に入る、早急に対応が必要と考えられる施策としては「23 交通環境の向上」「14 不登校、ひきこもり対策」「17 空家活用の推進」「10 子育て・教育環境の充実」「24 防災力の強化」「04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成」「07 人材育成・登用」「26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し」「25 市街地の活性化」「11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充」「30 ICTの活用推進、働き方改革」の11施策となっている。このうち、「24 防災力の強化」と「11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充」は令和4年度【領域C】から令和5年度【領域A】へ、「26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し」は令和4年度【領域B】から令和5年度【領域A】へ、「13 就職氷河期世代対策」と「06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進」は令和4年度【領域A】から令和5年度【領域B】へ移行している。



重要度と満足度による相関領域（重要度×満足度）

	重要度			満足度			重要度 × 満足度	令和 4年度	令和 3年度
	重要度 得点	全体平均 との差	順位	満足得点	全体平均 との差	順位			
施策23 交通環境の向上	5.23	0.89	1	1.99	▲0.79	31	A	A	A
施策14 不登校、ひきこもり対策	4.75	0.41	4	2.43	▲0.35	27	A	A	A
施策17 空家活用の推進	4.63	0.29	9	2.22	▲0.56	29	A	A	A
施策10 子育て・教育環境の充実	5.14	0.80	3	2.64	▲0.14	21	A	A	A
施策24 防災力の強化	5.20	0.86	2	2.74	▲0.04	17	A	C	C
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	4.49	0.15	14	2.13	▲0.65	30	A	A	A
施策07 人材育成・登用	4.68	0.34	7	2.60	▲0.18	23	A	A	A
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	4.53	0.19	11	2.47	▲0.31	26	A	B	A
施策25 市街地の活性化	4.52	0.18	13	2.57	▲0.21	24	A	A	A
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	4.72	0.38	5	2.75	▲0.03	16	A	C	C
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	4.40	0.06	16	2.72	▲0.06	18	A	A	A
施策13 就職氷河期世代対策	4.33	▲0.01	17	2.35	▲0.43	28	B	A	A
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	4.22	▲0.12	19	2.52	▲0.26	25	B	B	B
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	4.28	▲0.06	18	2.67	▲0.11	20	B	A	A
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	3.70	▲0.64	29	2.69	▲0.09	19	B	B	B
施策18 全世代交流型施設の検討	3.46	▲0.88	31	2.64	▲0.14	21	B	B	B
施策31 持続可能なまちへの取組	4.72	0.38	5	2.96	0.18	13	C	C	C
施策12 健康寿命の延伸	4.53	0.19	11	2.95	0.17	14	C	C	C
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	4.66	0.32	8	3.13	0.35	4	C	C	C
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	4.45	0.11	15	3.05	0.27	8	C	C	C
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	4.61	0.27	10	3.52	0.74	1	C	C	C
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	4.13	▲0.21	21	3.12	0.34	6	D	D	D
施策02 地場みやげ産業の創出	4.14	▲0.20	20	3.16	0.38	2	D	D	D
施策08 ふるさと納税の拡充	4.06	▲0.28	22	2.89	0.11	15	D	D	B
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	4.03	▲0.31	23	3.07	0.29	7	D	D	D
施策16 スポーツ振興	4.01	▲0.33	24	3.16	0.38	2	D	D	D
施策22 交流人口・関係人口の拡大	3.96	▲0.38	25	3.04	0.26	9	D	D	D
施策28 地域コミュニティの強化、再編	3.89	▲0.45	26	2.98	0.20	11	D	D	D
施策03 観光セールスプロモーションの促進	3.87	▲0.47	27	3.01	0.23	10	D	D	D
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.72	▲0.62	28	3.13	0.35	4	D	D	D
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	3.57	▲0.77	30	2.97	0.19	12	D	D	D
【全体平均】	4.34			2.78					

*4領域ごとに、対応すべき優先度が高い項目順に並べている

《重要度×満足度》

- A：【重要度】平均以上【満足度】平均未満
 B：【重要度】【満足度】ともに平均未満
 C：【重要度】【満足度】ともに平均以上
 D：【重要度】平均未満【満足度】平均以上

《全体平均》

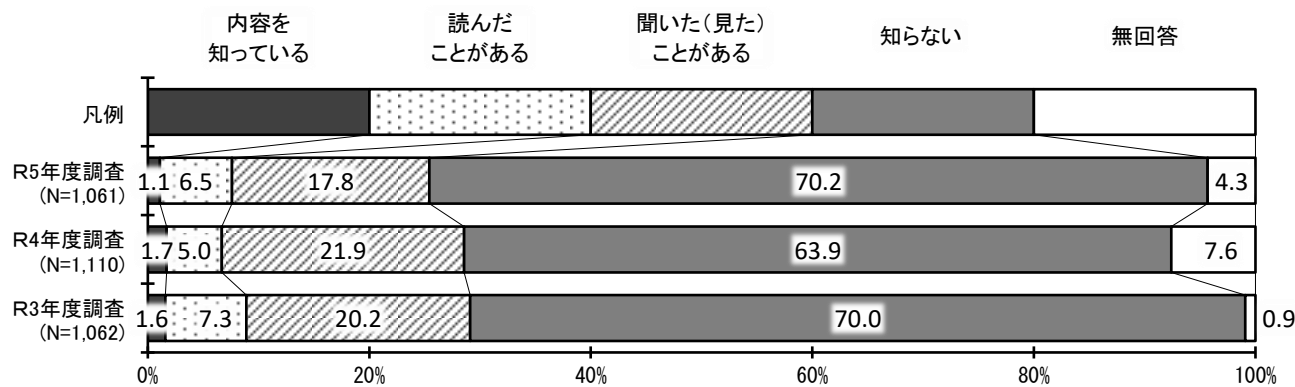
31施策の重要度得点、満足度得点をそれぞれ単純平均

7. 太宰府市自治基本条例の認知度(問 16)

● 太宰府市自治基本条例の認知度については、「知らない」は 70.2%、「聞いた（見た）ことがある」は 17.8%となっている。

太宰府市自治基本条例の認知度について、「知らない」(70.2%) が最も高く、次いで「聞いた（見た）ことがある」(17.8%)、「読んだことがある」(6.5%) の順となっている。
性別にみると、「知らない」は女性 (72.4%) の方が男性 (68.1%) より高くなっている。
年代別にみると、「聞いた(見た)ことがある」が最も高いのは 50 歳代 (20.9%) となっている。一方、「知らない」が最も高いのは 20 歳代 (80.4%) となっている。

問 16. 本市では市民を主体とした自治を推進し、市民福祉の向上を図ることを目的に「太宰府市自治基本条例」を制定していますが、あなたはこの条例についてご存じですか。(○は 1 つ)



			(%)				
		標 本 数	内 容 を 知 つ て い	読 ん だ こ と が あ	聞 いた が あ る (見 た)	知 ら な い	無 回 答
全 体		1,061 100.0	12 1.1	69 6.5	189 17.8	745 70.2	46 4.3
性別	男 性	461	1.7	7.6	19.1	68.1	3.5
	女 性	568	0.5	5.5	16.9	72.4	4.8
	無回答	32	3.1	9.4	15.6	62.5	9.4
年 代 別	20歳代	92	1.1	1.1	15.2	80.4	2.2
	30歳代	123	0.8	4.9	11.4	79.7	3.3
	40歳代	173	0.6	4.6	20.2	72.8	1.7
	50歳代	191	0.5	5.2	20.9	69.6	3.7
	60歳代	191	1.0	8.9	16.8	68.6	4.7
	70歳代以上	284	1.8	9.2	19.0	63.4	6.7
	無回答	7	14.3	14.3	-	42.9	28.6
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	-	6.8	22.7	67.4	3.0
	太宰府東小学校区	113	1.8	8.0	15.0	69.9	5.3
	太宰府南小学校区	104	1.0	6.7	17.3	72.1	2.9
	水城小学校区	144	1.4	4.9	18.8	70.1	4.9
	水城西小学校区	126	0.8	10.3	15.1	71.4	2.4
	太宰府西小学校区	201	2.5	6.0	23.9	64.2	3.5
	国分小学校区	150	-	4.7	14.7	77.3	3.3
	わからない	73	-	4.1	11.0	76.7	8.2
	無回答	18	5.6	11.1	-	55.6	27.8

第4節 日頃の暮らし、行動について

1. 子育てのしやすさ(問 17)

●『子育てがしやすい派』は72.5%、『子育てがしにくい派』は27.6%となっている。

子育てのしやすさについて、『子育てがしやすい派』（「子育てがしやすい」と「どちらかといえば子育てがしやすい」の合計）は72.5%となっている。一方、『子育てがしにくい派』（「子育てがしにくい」と「どちらかといえば子育てがしにくい」の合計）は27.6%で、『子育てがしやすい派』の方が『子育てがしにくい派』よりも44.9ポイント高くなっている。

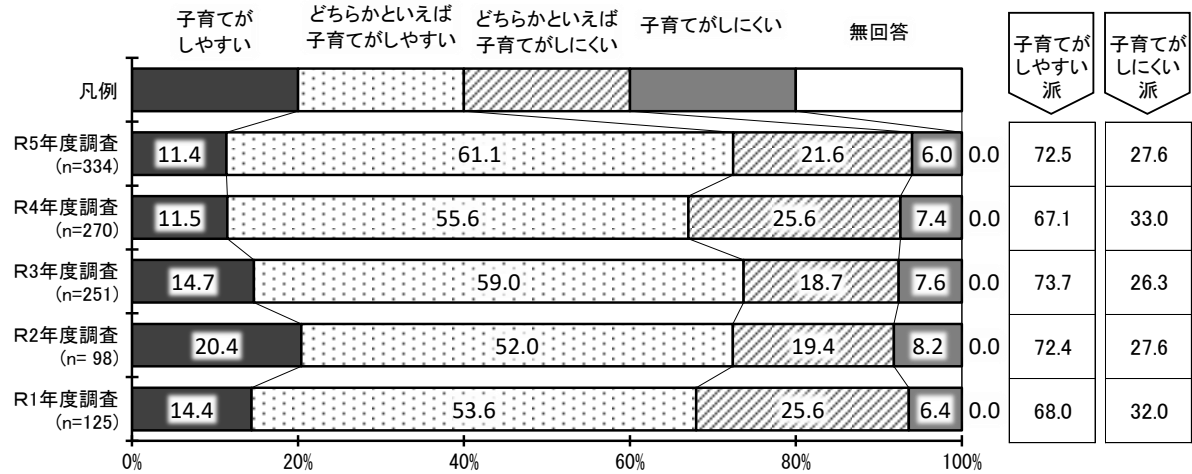
過去の調査結果と比べると、令和4年度調査から『子育てがしやすい派』は5.4ポイント増加している。

性別にみると、『子育てがしやすい派』は女性（73.4%）の方が男性（72.4%）より高くなっている。

小学校区別にみると、『子育てがしやすい派』が最も高いのは水城小学校区（83.4%）となっている。

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 17. あなたは本市では子育てがしやすいと思いますか。（○は1つ）



		標本数	子育てがしやすい	どちらかといえば子育てがしやすい	どちらかといえば子育てがしにくい	子育てがしにくい	無回答	子育てがしやすい派 (%)	子育てがしにくい派 (%)
全 体		334	38	204	72	20	-	72.5	27.6
性別	男 性	152	13.8	58.6	21.1	6.6	-	72.4	27.7
	女 性	173	9.2	64.2	20.8	5.8	-	73.4	26.6
	無回答	9	11.1	44.4	44.4	-	-	55.5	44.4
年 代 別	20歳代	25	4.0	64.0	28.0	4.0	-	68.0	32.0
	30歳代	64	6.3	64.1	18.8	10.9	-	70.4	29.7
	40歳代	110	12.7	60.0	21.8	5.5	-	72.7	27.3
	50歳代	64	14.1	56.3	23.4	6.3	-	70.4	29.7
	60歳代	26	11.5	61.5	23.1	3.8	-	73.0	26.9
	70歳代以上	41	17.1	68.3	12.2	2.4	-	85.4	14.6
	無回答	4	-	25.0	75.0	-	-	25.0	75.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	48	6.3	54.2	33.3	6.3	-	60.5	39.6
	太宰府東小学校区	41	14.6	58.5	19.5	7.3	-	73.1	26.8
	太宰府南小学校区	26	7.7	69.2	19.2	3.8	-	76.9	23.0
	水城小学校区	48	14.6	68.8	12.5	4.2	-	83.4	16.7
	水城西小学校区	51	23.5	54.9	17.6	3.9	-	78.4	21.5
	太宰府西小学校区	54	11.1	68.5	13.0	7.4	-	79.6	20.4
	国分小学校区	51	3.9	62.7	29.4	3.9	-	66.6	33.3
	わからない	9	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	66.6
	無回答	6	-	50.0	50.0	-	-	50.0	50.0

2. 生きがいの実感(問 18)

● 生きがいを感じている『充実派』は77.1%となっている。

生きがいの実感について、生きがいを感じている『充実派』（「感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）は77.1%で、7割以上が『充実』と感じている。一方、『不満派』（「感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計）は19.8%となっている。

過去の調査結果と比べると、『充実派』は令和4年度調査から2.4ポイント増加している。

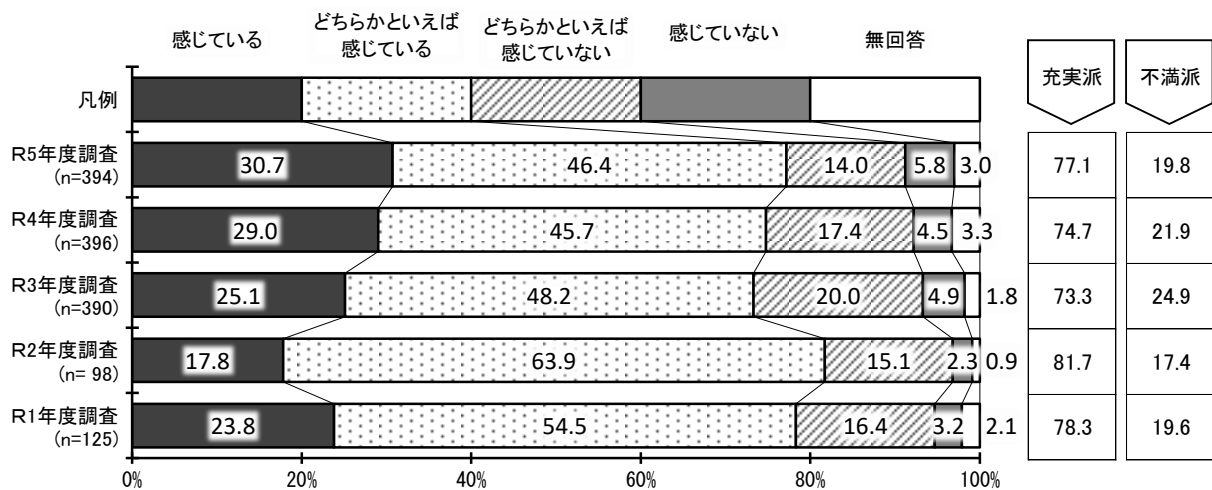
性別にみると、『充実派』は男性（80.4%）の方が女性（74.8%）より高くなっている。

年代別にみると、『充実派』は、70歳代以上（76.4%）より60歳代（79.1%）の方が高くなっている。

小学校区別にみると、『充実派』は水城小学校区（84.0%）が最も高くなっている。

【65歳以上の方だけにおたずねします】

問 18. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。（○は1つ）



		標本数	感じている	どちらかといえば感じている	どちらかといえば感じていない	感じていない	無回答	充実派 (%)	不満派 (%)
全 体		394	121	183	55	23	12	304	78
		100.0	30.7	46.4	14.0	5.8	3.0	77.1	19.8
性 別	男 性	183	36.1	44.3	10.9	5.5	3.3	80.4	16.4
	女 性	194	25.3	49.5	17.0	5.2	3.1	74.8	22.2
	無回答	17	35.3	35.3	11.8	17.6	-	70.6	29.4
年 代 別	60歳代	110	28.2	50.9	15.5	1.8	3.6	79.1	17.3
	70歳以上	284	31.7	44.7	13.4	7.4	2.8	76.4	20.8
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	41	17.1	63.4	14.6	4.9	-	80.5	19.5
	太宰府東小学校区	44	31.8	47.7	9.1	4.5	6.8	79.5	13.6
	太宰府南小学校区	50	32.0	50.0	10.0	8.0	-	82.0	18.0
	水城小学校区	50	34.0	50.0	14.0	-	2.0	84.0	14.0
	水城西小学校区	32	21.9	46.9	18.8	9.4	3.1	68.8	28.2
	太宰府西小学校区	86	32.6	44.2	10.5	8.1	4.7	76.8	18.6
	国分小学校区	62	38.7	37.1	16.1	4.8	3.2	75.8	20.9
	わからない	20	20.0	45.0	25.0	10.0	-	65.0	35.0
	無回答	9	44.4	11.1	33.3	-	11.1	55.5	33.3

3. 高齢者福祉サービスの充実度(問 19)

● 高齢者福祉サービスについて、『充実派』は24.6%、『不足派』は29.5%となっている。

高齢者福祉サービスの充実度について、『充実派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は24.6%となっている。一方、『不足派』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は29.5%で、『不足派』の方が『充実派』より4.9ポイント高くなっている。また、「高齢者福祉のサービスの内容を知らない」が43.4%で最も高くなっている。

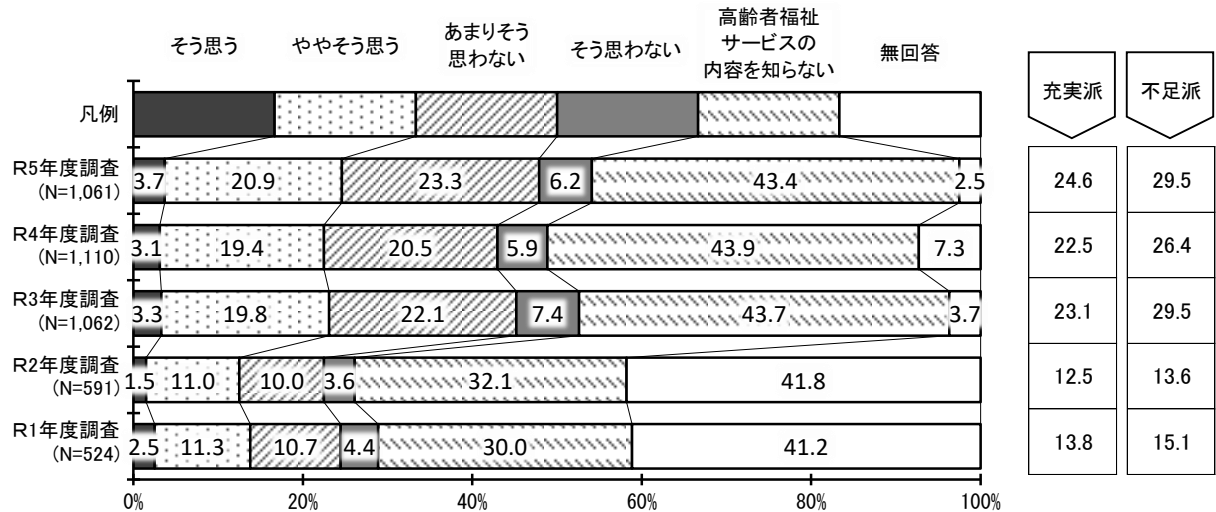
過去の調査結果と比べると、『充実派』は令和4年度調査から2.1ポイント増加している。

性別にみると、『充実派』は男性（25.6%）の方が女性（23.4%）より高くなっている。

年代別にみると、40歳代以上のすべての年代では『不足派』の方が『充実派』よりも高く、60歳代以上は3割以上となっている。

小学校区別にみると、『充実派』は太宰府東小学校区（31.8%）が最も高くなっている。一方、『不足派』は国分小学校区（40.6%）が最も高くなっている。

問 19. あなたは本市の高齢者福祉サービスは充実していますか。（○は1つ）



								(%)		
		標 本 数	そ う 思 う	や や そ う 思 う	あ ま り そ う 思 わ ない	そ う 思 わ ない	高 齢 者 福 祉 サ ー ビ ス の 内 容 を 知 ら ない	無 回 答	充 実 派	不 足 派
全 体		1,061 100.0	39 3.7	222 20.9	247 23.3	66 6.2	460 43.4	27 2.5	261 24.6	313 29.5
性 別	男 性	461	5.4	20.2	24.3	6.3	41.2	2.6	25.6	30.6
	女 性	568	2.1	21.3	22.2	6.3	45.4	2.6	23.4	28.5
	無回答	32	6.3	25.0	28.1	3.1	37.5	-	31.3	31.2
年 代 別	20歳代	92	7.6	18.5	16.3	6.5	45.7	5.4	26.1	22.8
	30歳代	123	3.3	20.3	15.4	1.6	57.7	1.6	23.6	17.0
	40歳代	173	1.7	23.1	24.9	2.3	45.7	2.3	24.8	27.2
	50歳代	191	4.2	17.8	19.9	8.9	45.0	4.2	22.0	28.8
	60歳代	191	0.5	18.8	30.4	7.3	41.4	1.6	19.3	37.7
	70歳代以上	284	5.6	23.9	24.6	8.1	35.9	1.8	29.5	32.7
	無回答	7	-	28.6	57.1	-	14.3	-	28.6	57.1
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	3.0	24.2	25.0	5.3	40.2	2.3	27.2	30.3
	太宰府東小学校区	113	3.5	28.3	21.2	1.8	43.4	1.8	31.8	23.0
	太宰府南小学校区	104	5.8	24.0	25.0	4.8	39.4	1.0	29.8	29.8
	水城小学校区	144	4.2	16.7	19.4	5.6	50.0	4.2	20.9	25.0
	水城西小学校区	126	3.2	22.2	21.4	7.1	43.7	2.4	25.4	28.5
	太宰府西小学校区	201	2.5	20.4	23.9	8.5	40.8	4.0	22.9	32.4
	国分小学校区	150	2.7	14.0	31.3	9.3	40.7	2.0	16.7	40.6
	わからない	73	6.8	16.4	12.3	5.5	57.5	1.4	23.2	17.8
	無回答	18	5.6	38.9	27.8	-	27.8	-	44.5	27.8

4. 障がい福祉サービスの充実度(問 20)

- 障がい福祉サービスについて『不足派』は25.6%で、『充実派』(19.0%)よりも高い。

障がい福祉サービスの充実度について、『充実派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は19.0%、『不足派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は25.6%で、『不足派』の方が『充実派』より6.6ポイント高くなっている。

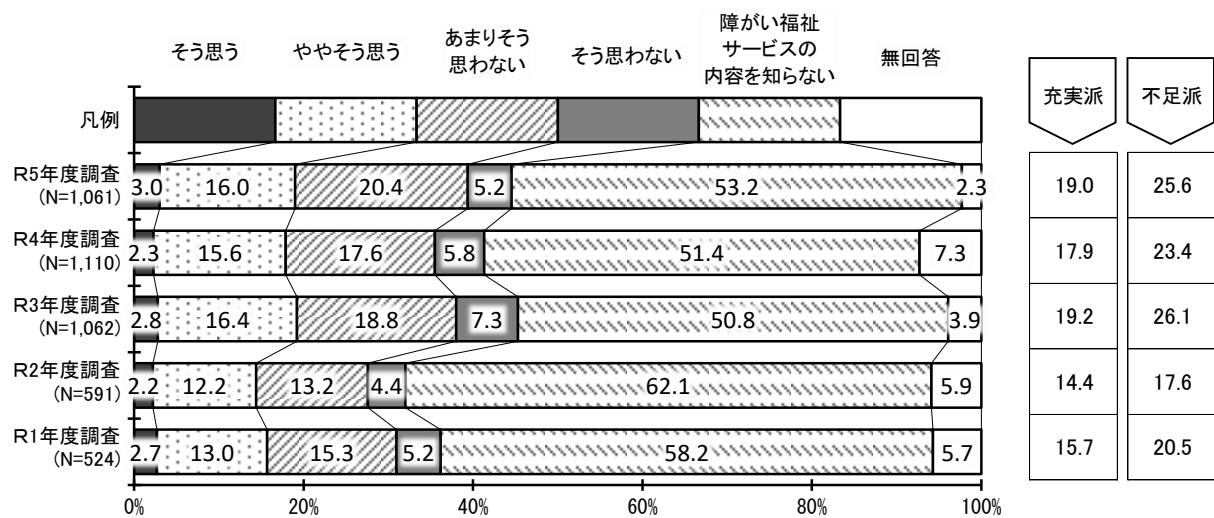
過去の調査結果と比べると、令和4年度調査から『充実派』は1.1ポイント増加している。

性別にみると、『充実派』は男性(21.9%)の方が女性(16.6%)より高くなっている。

年代別にみると、『不足派』は40歳代以上のすべての年代で2割以上となっている。なお、最も高いのは60歳代(36.1%)となっている。

小学校区別にみると、『充実派』が最も高いのは太宰府小学校区(22.7%)となっている。一方、『不足派』が最も高いのは国分小学校区(36.6%)となっている。

問 20. あなたは本市の障がい福祉サービスは充実していると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	障がい福祉サービスの内容を知らない	無回答	充実派	不足派
全 体		1,061	32	170	216	55	564	24	202	271
			3.0	16.0	20.4	5.2	53.2	2.3	19.0	25.6
性別	男 性	461	3.5	18.4	22.1	5.4	48.4	2.2	21.9	27.5
	女 性	568	2.3	14.3	18.8	5.1	57.0	2.5	16.6	23.9
	無回答	32	9.4	12.5	21.9	3.1	53.1	-	21.9	25.0
年代別	20歳代	92	6.5	13.0	15.2	4.3	56.5	4.3	19.5	19.5
	30歳代	123	3.3	15.4	14.6	0.8	64.2	1.6	18.7	15.4
	40歳代	173	2.3	15.6	19.1	4.0	56.6	2.3	17.9	23.1
	50歳代	191	2.1	16.8	18.3	8.4	50.8	3.7	18.9	26.7
	60歳代	191	0.5	13.6	29.8	6.3	48.7	1.0	14.1	36.1
	70歳代以上	284	4.2	18.7	20.1	4.9	50.4	1.8	22.9	25.0
	無回答	7	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	-	28.6	42.9
小学校区別	太宰府小学校区	132	3.8	18.9	20.5	5.3	49.2	2.3	22.7	25.8
	太宰府東小学校区	113	5.3	15.9	19.5	1.8	55.8	1.8	21.2	21.3
	太宰府南小学校区	104	1.9	17.3	19.2	2.9	57.7	1.0	19.2	22.1
	水城小学校区	144	2.1	14.6	19.4	6.3	54.2	3.5	16.7	25.7
	水城西小学校区	126	2.4	15.1	18.3	7.1	54.8	2.4	17.5	25.4
	太宰府西小学校区	201	2.0	20.4	19.9	4.5	49.8	3.5	22.4	24.4
	国分小学校区	150	3.3	9.3	29.3	7.3	48.7	2.0	12.6	36.6
	わからない	73	2.7	11.0	12.3	5.5	68.5	-	13.7	17.8
	無回答	18	11.1	33.3	16.7	5.6	33.3	-	44.4	22.3

5. 公共施設の弱者への配慮(問 21)

- 公共施設の配慮について『肯定派』は36.7%で、『否定派』(33.6%)よりも高い。

公共施設の弱者への配慮について、配慮されているという『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は36.7%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は33.6%となっており、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

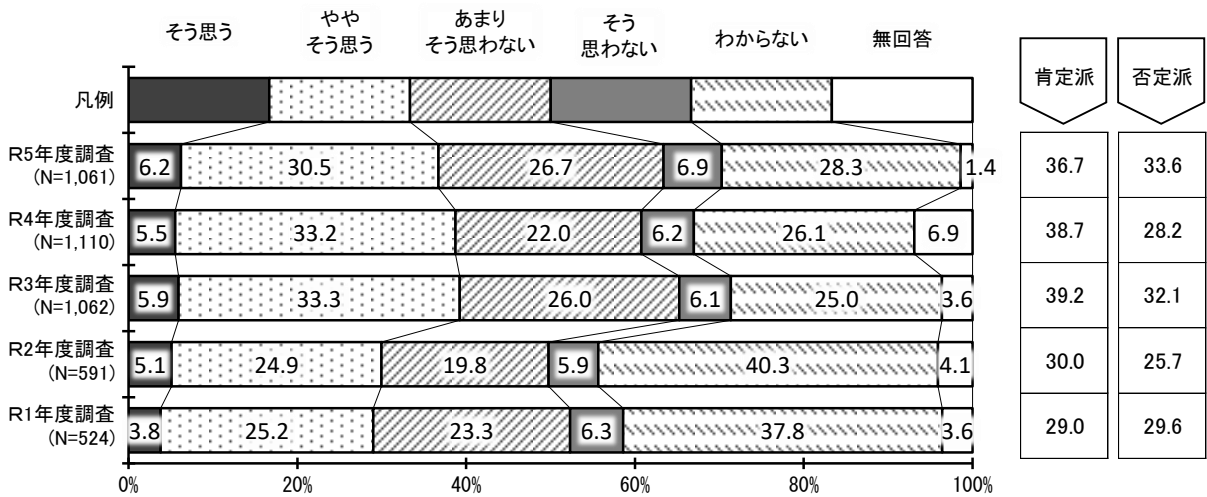
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和4年度調査より2.0ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は男性(41.3%)の方が女性(33.5%)よりも高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は20歳代(52.2%)が最も高くなっており、一方、『否定派』は60歳代(40.8%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、国分小学校区を除くすべての小学校区で『肯定派』が『否定派』より高くなっている。

問 21. あなたは市内の公共施設(市役所など)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(〇は1つ)



									(%)	
		標 本 数	そ う 思 う	思 や う や そ う	い う あ ま り な そ	な い そ う 思 わ	い わ か ら な	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		1,061 100.0	66 6.2	324 30.5	283 26.7	73 6.9	300 28.3	15 1.4	390 36.7	356 33.6
性別	男 性	461	7.2	34.1	23.4	6.3	27.5	1.5	41.3	29.7
	女 性	568	5.5	28.0	29.4	7.2	28.5	1.4	33.5	36.6
	無回答	32	6.3	25.0	25.0	9.4	34.4	-	31.3	34.4
年代別	20歳代	92	17.4	34.8	15.2	7.6	23.9	1.1	52.2	22.8
	30歳代	123	6.5	30.1	21.1	8.1	32.5	1.6	36.6	29.2
	40歳代	173	4.6	35.3	26.6	2.9	29.5	1.2	39.9	29.5
	50歳代	191	6.3	26.7	29.8	9.9	26.2	1.0	33.0	39.7
	60歳代	191	3.1	27.2	34.0	6.8	27.7	1.0	30.3	40.8
	70歳代以上	284	5.6	31.3	25.4	6.3	29.2	2.1	36.9	31.7
	無回答	7	-	28.6	42.9	14.3	14.3	-	28.6	57.2
小学校区別	太宰府小学校区	132	5.3	29.5	28.8	3.8	31.1	1.5	34.8	32.6
	太宰府東小学校区	113	8.8	31.9	22.1	6.2	29.2	1.8	40.7	28.3
	太宰府南小学校区	104	5.8	34.6	30.8	5.8	22.1	1.0	40.4	36.6
	水城小学校区	144	7.6	27.1	23.6	8.3	30.6	2.8	34.7	31.9
	水城西小学校区	126	7.9	34.1	23.0	7.9	25.4	1.6	42.0	30.9
	太宰府西小学校区	201	6.5	31.3	26.4	7.0	27.9	1.0	37.8	33.4
	国分小学校区	150	3.3	27.3	34.0	7.3	27.3	0.7	30.6	41.3
	わからない	73	5.5	27.4	20.5	9.6	37.0	-	32.9	30.1
	無回答	18	-	38.9	33.3	5.6	16.7	5.6	38.9	38.9

6. 民間施設の弱者への配慮(問 22)

- 民間施設の配慮について『否定派』は38.4%で、『肯定派』(27.7%)よりも高い。

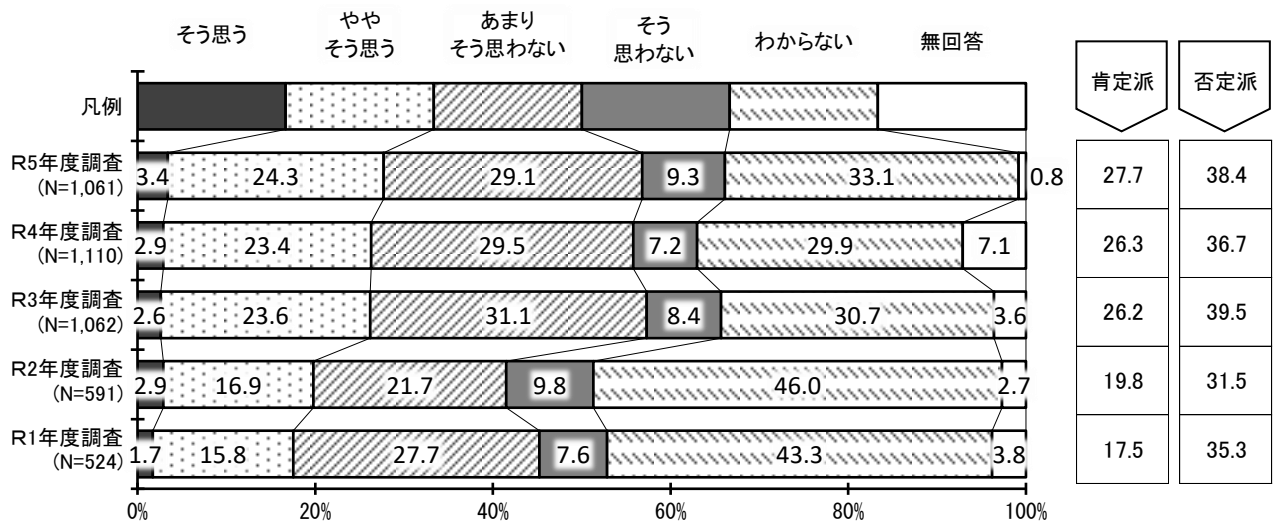
民間施設の弱者への配慮について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は27.7%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は38.4%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は男性(29.9%)の方が女性(25.9%)より高くなっている。

年代別にみると、20歳代と30歳代を除くすべての年代で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

問 22. あなたは市内の民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。
(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全 体		1,061	36	258	309	99	351	8	294	408
		100.0	3.4	24.3	29.1	9.3	33.1	0.8	27.7	38.4
性 別	男 性	461	4.1	25.8	26.7	9.1	33.6	0.7	29.9	35.8
	女 性	568	2.8	23.1	30.6	9.5	33.1	0.9	25.9	40.1
	無回答	32	3.1	25.0	37.5	9.4	25.0	-	28.1	46.9
年 代 別	20歳代	92	10.9	33.7	18.5	9.8	27.2	-	44.6	28.3
	30歳代	123	5.7	29.3	19.5	7.3	38.2	-	35.0	26.8
	40歳代	173	2.3	24.3	32.9	6.9	32.9	0.6	26.6	39.8
	50歳代	191	3.1	23.0	30.9	12.6	29.3	1.0	26.1	43.5
	60歳代	191	0.5	19.4	34.6	8.9	35.1	1.6	19.9	43.5
	70歳代以上	284	2.5	23.2	28.9	9.9	34.9	0.7	25.7	38.8
	無回答	7	14.3	28.6	57.1	-	-	-	42.9	57.1
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	4.5	31.1	31.1	8.3	24.2	0.8	35.6	39.4
	太宰府東小学校区	113	3.5	19.5	33.6	6.2	37.2	-	23.0	39.8
	太宰府南小学校区	104	1.9	28.8	31.7	6.7	29.8	1.0	30.7	38.4
	水城小学校区	144	2.8	22.2	22.2	15.3	36.1	1.4	25.0	37.5
	水城西小学校区	126	3.2	25.4	27.8	7.9	34.1	1.6	28.6	35.7
	太宰府西小学校区	201	3.5	25.4	25.9	10.9	34.3	-	28.9	36.8
	国分小学校区	150	2.7	19.3	36.7	8.0	32.0	1.3	22.0	44.7
	わからない	73	5.5	20.5	23.3	11.0	39.7	-	26.0	34.3
	無回答	18	5.6	33.3	33.3	-	27.8	-	38.9	33.3

7. 交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況(問 23)

- 移動手段の確保について『否定派』は57.0%で、『肯定派』(22.7%) よりも高い。

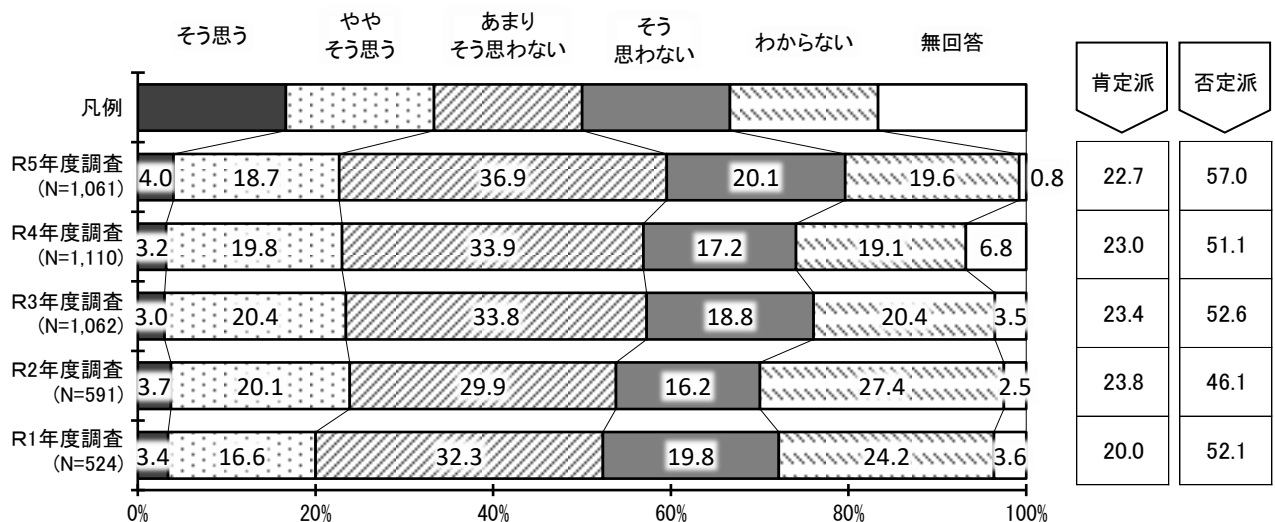
交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は22.7%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は57.0%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は男性(24.6%)の方が女性(21.1%)より高くなっている。

年代別にみると、30歳代を除くすべての年代で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっており、40歳代以上で『否定派』が5割以上となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

問 23. あなたは本市では高齢者や障がい者などの交通弱者にとって必要な移動手段が確保されていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	(%)	
全 体		1,061	42	198	391	213	208	9	240	604
		100.0	4.0	18.7	36.9	20.1	19.6	0.8	22.7	57.0
性別	男性	461	4.6	20.0	34.7	19.3	20.6	0.9	24.6	54.0
	女性	568	3.7	17.4	38.6	20.6	18.8	0.9	21.1	59.2
	無回答	32	-	21.9	37.5	21.9	18.8	-	21.9	59.4
年代別	20歳代	92	17.4	21.7	20.7	19.6	20.7	-	39.1	40.3
	30歳代	123	4.1	33.3	22.8	13.8	26.0	-	37.4	36.6
	40歳代	173	5.2	15.0	44.5	17.9	16.8	0.6	20.2	62.4
	50歳代	191	2.1	13.1	38.7	26.2	18.8	1.0	15.2	64.9
	60歳代	191	1.0	15.2	48.7	18.3	15.2	1.6	16.2	67.0
	70歳代以上	284	2.1	18.7	34.9	21.1	22.2	1.1	20.8	56.0
	無回答	7	-	57.1	14.3	28.6	-	-	57.1	42.9
小学校区別	太宰府小学校区	132	4.5	22.0	41.7	15.2	15.9	0.8	26.5	56.9
	太宰府東小学校区	113	2.7	12.4	40.7	21.2	22.1	0.9	15.1	61.9
	太宰府南小学校区	104	2.9	15.4	39.4	28.8	12.5	1.0	18.3	68.2
	水城小学校区	144	4.9	19.4	27.8	18.8	27.8	1.4	24.3	46.6
	水城西小学校区	126	4.0	23.0	35.7	15.1	20.6	1.6	27.0	50.8
	太宰府西小学校区	201	4.5	19.9	38.8	18.9	17.9	-	24.4	57.7
	国分小学校区	150	2.7	14.7	42.0	24.7	14.7	1.3	17.4	66.7
	わからない	73	5.5	17.8	26.0	20.5	30.1	-	23.3	46.5
	無回答	18	5.6	38.9	22.2	16.7	16.7	-	44.5	38.9

8. 地域福祉の推進状況(問 24)

- 地域での福祉活動が活発に行われているかについて『否定派』が 62.6%で、『肯定派』(35.2%) よりも高い。

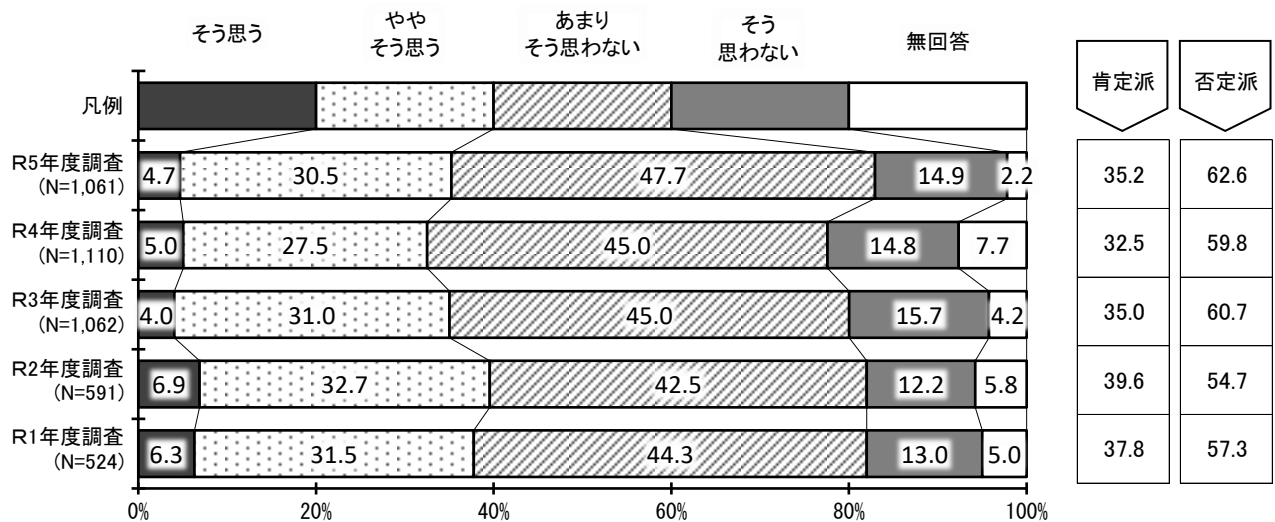
地域福祉の推進状況について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計) は 35.2% となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計) は 62.6% で、『否定派』の方が『肯定派』よりも 27.4 ポイント高くなっている。

性別にみると、男女とも、『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で、『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。なお、『否定派』は 30 歳代 (67.5%) で最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』が『肯定派』よりも高くなっている。

問 24. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全 体		1,061	50	324	506	158	23	37.4	66.4
		100.0	4.7	30.5	47.7	14.9	2.2	35.2	62.6
性別	男 性	461	3.9	31.2	46.0	16.9	2.0	35.1	62.9
	女 性	568	5.3	30.1	49.3	13.0	2.3	35.4	62.3
	無回答	32	6.3	28.1	43.8	18.8	3.1	34.4	62.6
年代別	20歳代	92	15.2	31.5	41.3	12.0	-	46.7	53.3
	30歳代	123	3.3	29.3	42.3	25.2	-	32.6	67.5
	40歳代	173	2.3	30.6	53.2	11.6	2.3	32.9	64.8
	50歳代	191	2.6	30.9	49.7	14.1	2.6	33.5	63.8
	60歳代	191	3.1	28.8	49.7	15.7	2.6	31.9	65.4
	70歳代以上	284	6.0	31.3	45.8	13.7	3.2	37.3	59.5
	無回答	7	-	42.9	57.1	-	-	42.9	57.1
小学校区別	太宰府小学校区	132	5.3	32.6	47.0	12.9	2.3	37.9	59.9
	太宰府東小学校区	113	5.3	27.4	51.3	15.0	0.9	32.7	66.3
	太宰府南小学校区	104	7.7	29.8	40.4	18.3	3.8	37.5	58.7
	水城小学校区	144	2.1	26.4	54.9	12.5	4.2	28.5	67.4
	水城西小学校区	126	1.6	30.2	48.4	17.5	2.4	31.8	65.9
	太宰府西小学校区	201	8.0	37.8	43.8	10.0	0.5	45.8	53.8
	国分小学校区	150	4.0	32.7	48.0	12.7	2.7	36.7	60.7
	わからない	73	1.4	13.7	50.7	34.2	-	15.1	84.9
	無回答	18	5.6	44.4	38.9	5.6	5.6	50.0	44.5

9. 健康状態(問 25)

- ここ数週間の健康状態は『健康』は 83.9%、『不調』は 15.2%となっている。

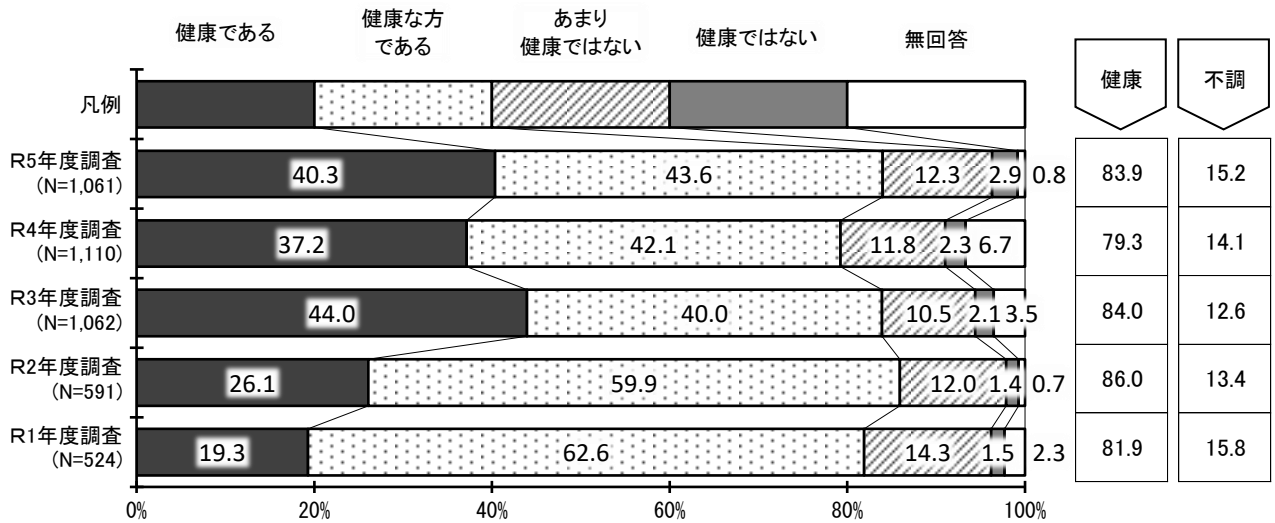
ここ数週間の健康状態について、『健康』（「とても健康である」と「健康な方である」の合計）は 83.9%で、8 割以上が『健康』と感じている。一方、『不調』（「健康ではない」と「あまり健康ではない」の合計）は 15.2%となっている。

性別にみると、『健康』は男性が 84.4%、女性が 84.3%で男女に大きな差はみられない。

年代別にみると、『不調』は 70 歳代以上（18.3%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『健康』はすべての小学校区で 8 割を超えている。

問 25. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は 1 つ)



		標本数	健康である	健康な方である	あまり健康ではない	健康ではない	無回答	健康	不調
全 体		1,061	428	463	130	31	9	891	161
		100.0	40.3	43.6	12.3	2.9	0.8	83.9	15.2
性別	男 性	461	41.0	43.4	11.1	3.9	0.7	84.4	15.0
	女 性	568	39.8	44.5	12.7	1.9	1.1	84.3	14.6
	無回答	32	40.6	31.3	21.9	6.3	-	71.9	28.2
年代別	20歳代	92	51.1	40.2	7.6	1.1	-	91.3	8.7
	30歳代	123	45.5	39.0	10.6	4.9	-	84.5	15.5
	40歳代	173	42.8	43.4	11.6	1.7	0.6	86.2	13.3
	50歳代	191	46.1	40.8	9.9	2.1	1.0	86.9	12.0
	60歳代	191	36.1	45.0	13.6	3.7	1.6	81.1	17.3
	70歳代以上	284	32.4	48.2	14.8	3.5	1.1	80.6	18.3
	無回答	7	28.6	28.6	42.9	-	-	57.2	42.9
小学校区別	太宰府小学校区	132	38.6	50.8	7.6	2.3	0.8	89.4	9.9
	太宰府東小学校区	113	39.8	46.9	9.7	2.7	0.9	86.7	12.4
	太宰府南小学校区	104	42.3	42.3	11.5	2.9	1.0	84.6	14.4
	水城小学校区	144	41.0	43.8	12.5	2.1	0.7	84.8	14.6
	水城西小学校区	126	44.4	38.9	11.1	3.2	2.4	83.3	14.3
	太宰府西小学校区	201	42.8	44.3	10.9	2.0	-	87.1	12.9
	国分小学校区	150	36.7	44.0	16.0	2.0	1.3	80.7	18.0
	わからない	73	35.6	34.2	20.5	9.6	-	69.8	30.1
	無回答	18	33.3	38.9	22.2	5.6	-	72.2	27.8

10. 健康増進の取り組み状況(問 26)

- 健康増進のために取り組んでいるものが「ある」と答えた人は6割以上となっている。

健康増進の取り組み状況について、取り組んでいるものが「ある」と答えた割合は 64.3%、「ない」と答えた割合は 34.7%となっている。

過去の調査結果と比べると、『取り組んでいる派』は令和4年度調査より 4.8 ポイント増加し、過去5年間で最も高くなっている。

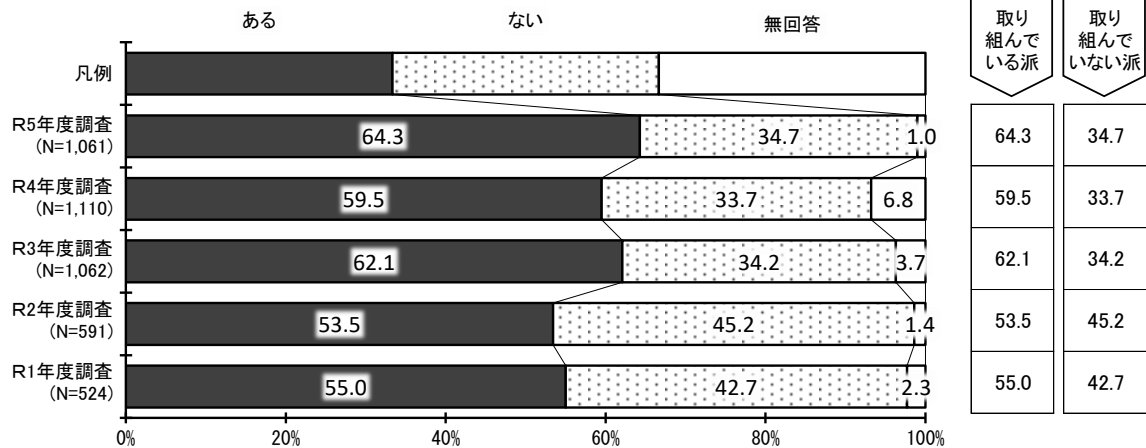
性別にみると、『取り組んでいる派』は女性(65.3%)の方が男性(63.1%)より高くなっている。

年代別にみると、30歳代以上の年代で、『取り組んでいる派』の方が『取り組んでいない派』の割合より高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『取り組んでいる派』の方が『取り組んでいない派』より高くなっている。

健康状態別にみると、健康状態に関わらず『取り組んでいる派』は5割を超えており、健康を増進させたいという意欲がみられる。

問 26. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいることがありますか。(〇は1つ)



		標本数	ある (%)	ない (%)	無回答 (%)
全 体		1,061	64.3	34.7	1.0
性 別	男 性	461	63.1	35.8	1.1
	女 性	568	65.3	33.6	1.1
	無回答	32	62.5	37.5	-
年 代 別	20歳代	92	40.2	59.8	-
	30歳代	123	54.5	45.5	-
	40歳代	173	62.4	37.0	0.6
	50歳代	191	61.8	36.6	1.6
	60歳代	191	71.7	27.2	1.0
	70歳代以上	284	74.3	23.9	1.8
	無回答	7	57.1	42.9	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	58.3	40.9	0.8
	太宰府東小学校区	113	69.0	29.2	1.8
	太宰府南小学校区	104	69.2	29.8	1.0
	水城小学校区	144	65.3	33.3	1.4
	水城西小学校区	126	59.5	38.9	1.6
	太宰府西小学校区	201	68.2	31.3	0.5
	国分小学校区	150	67.3	31.3	1.3
	わからない	73	47.9	52.1	-
	無回答	18	72.2	27.8	-
健 康 状 態 別	とても健康である	428	69.4	30.6	-
	健康な方である	463	63.5	36.3	0.2
	あまり健康でない	130	53.8	45.4	0.8
	健康ではない	31	64.5	32.3	3.2
	無回答	9	11.1	-	88.9

11. 健康診査の受診状況(問 27)

- この一年間の健康診査の受診率は 69.8%となっている。

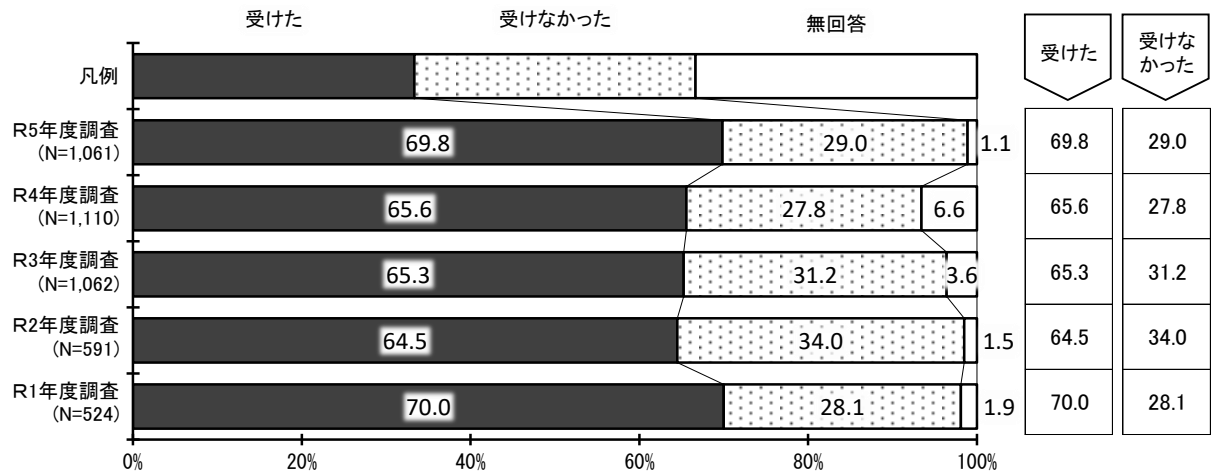
健康診査の受診状況について、一年間の健康診査の受診状況をみると、「受けた」が 69.8%、「受けなかった」は 29.0%となっている。

過去の調査結果をみると、「受けた」が令和 4 年度調査より 4.2 ポイント増加している。

性別・年代別にみると、すべての性別・年代別で「受けた」の方が「受けなかった」より高くなっている。また、女性（68.1%）に比べて男性（72.2%）の受診率が高くなっている。

健康状態別に受診率をみると、健康な人ほど「受けた」の割合が高く、健康状態と受診率の関連性がみられる。

問 27. あなたはこの一年間に、「健康診査」（がん検診、人間ドックを含む）を受けましたか。
（○は1つ）



		標本数	受けた (%)	か受けたな (%)	無回答 (%)
全 体		1,061	741	308	12
		100.0	69.8	29.0	1.1
性別	男 性	461	72.2	27.1	0.7
	女 性	568	68.1	30.5	1.4
	無回答	32	65.6	31.3	3.1
性別・年代別	男性:20歳代	36	55.6	44.4	-
	男性:30歳代	53	71.7	28.3	-
	男性:40歳代	69	69.6	30.4	-
	男性:50歳代	79	81.0	19.0	-
	男性:60歳代	91	78.0	19.8	2.2
	男性:70歳代以上	133	69.2	30.1	0.8
	女性:20歳代	56	58.9	41.1	-
	女性:30歳代	69	58.0	42.0	-
	女性:40歳代	102	74.5	24.5	1.0
	女性:50歳代	109	75.2	22.9	1.8
	女性:60歳代	95	72.6	25.3	2.1
	女性:70歳代以上	137	63.5	34.3	2.2
小学校区別	無回答	32	65.6	31.3	3.1
	太宰府小学校区	132	64.4	34.8	0.8
	太宰府東小学校区	113	69.9	29.2	0.9
	太宰府南小学校区	104	71.2	27.9	1.0
	水城小学校区	144	66.7	32.6	0.7
	水城西小学校区	126	75.4	22.2	2.4
	太宰府西小学校区	201	70.1	29.4	0.5
	国分小学校区	150	71.3	26.0	2.7
	わからない	73	69.9	30.1	-
健康状態別	無回答	18	72.2	27.8	-
	とても健康である	428	73.8	26.2	-
	健康な方である	463	71.3	28.7	-
	あまり健康でない	130	61.5	37.7	0.8
	健康ではない	31	48.4	45.2	6.5
	無回答	9	-	-	100.0

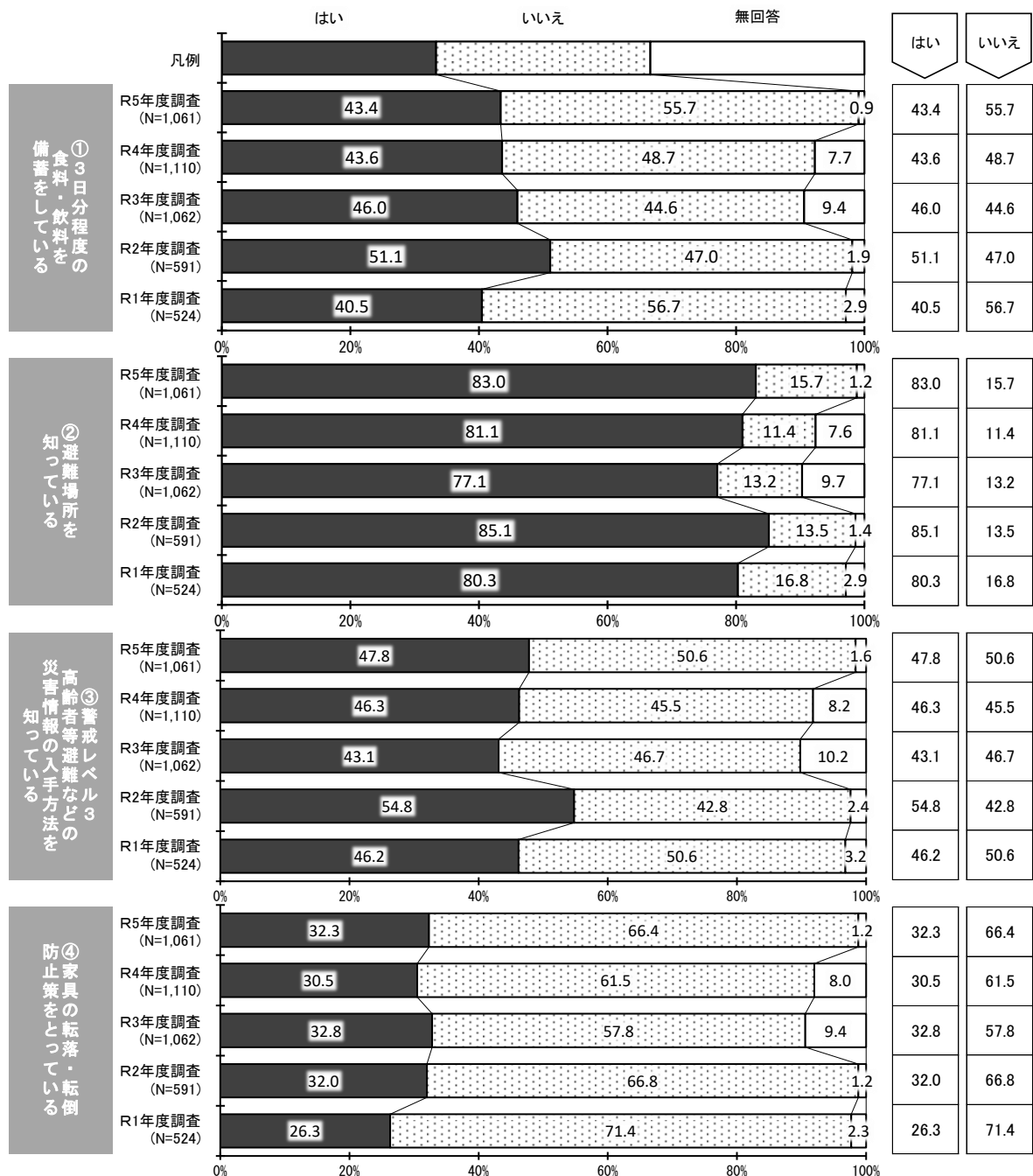
12. 災害に対する日頃の備え(問 28)

- 日頃の災害に対する備えができていないのは「②避難場所を知っている」、「③災害情報源の認知」、「①食料の備蓄」、「④家具の転倒防止策」の順となっている。

防災・消防体制の整備充実について、実施率（「はい」の割合）をみると「②避難場所を知っている」（83.0%）が最も高く、次いで「③災害情報源の認知」（47.8%）、「①食料の備蓄」（43.4%）、「④家具の転倒防止策」（32.3%）の順となっている。なお、備えができていない人（「いいえ」と回答した人）ができていない人（「はい」と回答した人）より高いのは、「①食料の備蓄」（55.7%）と「③災害情報源の認知」（50.6%）、「④家具の転倒防止策」（66.4%）の3項目である。

過去の調査結果と比べると、実施率は「②避難場所を知っている」（1.9ポイント増）、「④家具の転倒防止策」（1.8ポイント増）、「③災害情報源の認知」（1.5ポイント増）の3項目で令和4年度調査から増加している。

問 28. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。（〇はそれぞれ1つずつ）



性別にみると、実施率は、すべての項目で女性の方が男性より高くなっている。

年代別にみると、実施率は、すべての年代で「②避難場所を知っている」が最も高くなっており、40歳代以上で8割を超えている。

小学校区別にみると、「②避難場所を知っている」の実施率が最も低いのは水城小学校区(79.9%)となっている。

(%)

		標 本 数	①3日分程度の食料・ 飲料を備蓄をしている			②避難場所を 知っている			③警戒レベル3 高齢者等 避難などの災害情報の入手 方法を知っている			④家具の転落・転倒防 止策をとっている		
			は い	い い え	無 回 答	は い	い い え	無 回 答	は い	い い え	無 回 答	は い	い い え	無 回 答
全 体		1,061 100.0	460 43.4	591 55.7	10 0.9	881 83.0	167 15.7	13 1.2	507 47.8	537 50.6	17 1.6	343 32.3	705 66.4	13 1.2
性 別	男 性	461	41.4	57.5	1.1	80.9	17.8	1.3	46.6	52.1	1.3	32.3	66.6	1.1
	女 性	568	45.4	53.7	0.9	84.9	13.9	1.2	49.5	48.6	1.9	32.4	66.2	1.4
	無回答	32	34.4	65.6	-	81.3	18.8	-	34.4	65.6	-	31.3	68.8	-
年 代 別	20歳代	92	26.1	73.9	-	76.1	23.9	-	43.5	56.5	-	29.3	70.7	-
	30歳代	123	33.3	66.7	-	74.0	25.2	0.8	54.5	45.5	-	30.9	68.3	0.8
	40歳代	173	43.9	54.9	1.2	86.1	12.7	1.2	50.9	48.6	0.6	32.9	65.9	1.2
	50歳代	191	47.6	50.8	1.6	86.4	12.6	1.0	49.7	48.7	1.6	32.5	66.0	1.6
	60歳代	191	43.5	55.0	1.6	82.2	15.2	2.6	45.5	51.8	2.6	31.4	67.0	1.6
	70歳代以上	284	50.7	48.6	0.7	85.6	13.4	1.1	45.1	52.1	2.8	34.5	64.1	1.4
	無回答	7	14.3	85.7	-	85.7	14.3	-	28.6	71.4	-	14.3	85.7	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	46.2	52.3	1.5	87.1	12.1	0.8	52.3	46.2	1.5	35.6	63.6	0.8
	太宰府東小学校区	113	47.8	52.2	-	83.2	15.9	0.9	50.4	46.9	2.7	29.2	70.8	-
	太宰府南小学校区	104	42.3	56.7	1.0	85.6	12.5	1.9	56.7	42.3	1.0	36.5	62.5	1.0
	水城小学校区	144	44.4	54.9	0.7	79.9	19.4	0.7	45.8	52.8	1.4	25.7	73.6	0.7
	水城西小学校区	126	34.9	62.7	2.4	81.7	15.1	3.2	45.2	50.8	4.0	29.4	68.3	2.4
	太宰府西小学校区	201	43.8	55.7	0.5	89.1	10.4	0.5	45.3	53.7	1.0	42.3	56.7	1.0
	国分小学校区	150	47.3	52.0	0.7	87.3	11.3	1.3	54.7	44.0	1.3	31.3	67.3	1.3
	わからない	73	34.2	65.8	-	57.5	42.5	-	24.7	75.3	-	20.5	76.7	2.7
	無回答	18	50.0	44.4	5.6	72.2	22.2	5.6	44.4	55.6	-	22.2	72.2	5.6

13. 消防団の認知度(問 29)

- 消防団の認知度は85.2%となっている。

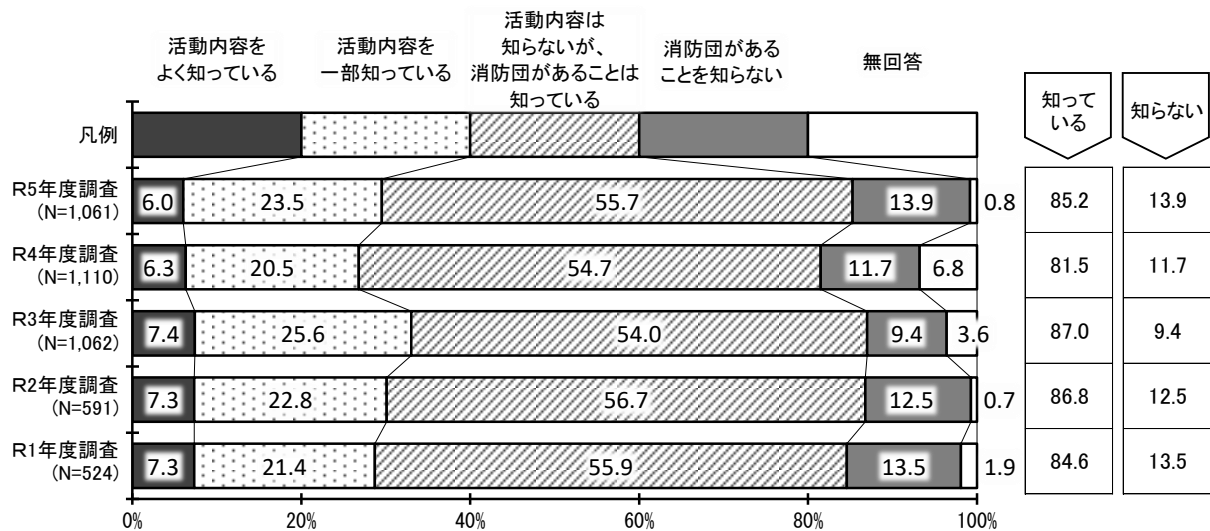
消防団の認知度について、『知っている』（「活動内容をよく知っている」と「活動内容を一部知っている」と「活動内容は知らないが、消防団があることは知っている」の合計）と答えた割合は85.2%、『知らない』と答えた割合は13.9%となっている。『知っている』と答えた人の中で、『活動内容を知っている』（「活動内容をよく知っている」と「活動内容を一部知っている」の合計）は29.5%となっている。

性別にみると、女性（86.8%）の方が男性（83.5%）よりも『知っている』の割合が高くなっている。

年代別にみると、『知らない』が最も高いのは30歳代（16.3%）となっている。

小学校区別にみると、『知っている』の割合が最も高くなっているのは太宰府小学校区（90.1%）となっている。一方、『知っている』の割合が最も低くなっているのは太宰府南小学校区（81.7%）となっている。

問 29. あなたは消防団という団体の活動内容を知っていますか。（○は1つ）



		標本数	活動内容をよく知っている	活動内容を一部知っている	活動内容は知らないが、消防団があることは知っている	消防団があることを知らない	無回答	知っている (%)	知らない (%)
全体		1,061	64	249	591	148	9	904	148
		100.0	6.0	23.5	55.7	13.9	0.8	85.2	13.9
性別	男性	461	9.1	23.9	50.5	15.6	0.9	83.5	15.6
	女性	568	3.3	23.1	60.4	12.3	0.9	86.8	12.3
	無回答	32	9.4	25.0	46.9	18.8	-	81.3	18.8
年代別	20歳代	92	8.7	21.7	55.4	14.1	-	85.8	14.1
	30歳代	123	4.9	17.9	61.0	16.3	-	83.8	16.3
	40歳代	173	2.9	24.3	60.1	12.1	0.6	87.3	12.1
	50歳代	191	3.7	21.5	58.1	15.7	1.0	83.3	15.7
	60歳代	191	7.9	23.0	51.8	15.7	1.6	82.7	15.7
	70歳代以上	284	7.7	27.5	52.1	11.6	1.1	87.3	11.6
	無回答	7	14.3	28.6	42.9	14.3	-	85.8	14.3
小学校区別	太宰府小学校区	132	9.1	26.5	54.5	9.1	0.8	90.1	9.1
	太宰府東小学校区	113	2.7	23.0	60.2	14.2	-	85.9	14.2
	太宰府南小学校区	104	6.7	25.0	50.0	17.3	1.0	81.7	17.3
	水城小学校区	144	4.2	29.2	52.8	13.2	0.7	86.2	13.2
	水城西小学校区	126	8.7	21.4	54.8	13.5	1.6	84.9	13.5
	太宰府西小学校区	201	7.0	26.4	51.7	14.4	0.5	85.1	14.4
	国分小学校区	150	3.3	18.0	64.7	12.0	2.0	86.0	12.0
	わからない	73	4.1	12.3	60.3	23.3	-	76.7	23.3
	無回答	18	16.7	22.2	50.0	11.1	-	88.9	11.1

14. 防犯面の安心度(問 30)

- 防犯面について『安心派』は66.6%、『不安派』は32.4%となっている。

防犯面の安心度について、『安心派』（「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計）は66.6%となっている。一方、『不安派』（「不安である」と「どちらかといえば不安である」の合計）は32.4%で、『安心派』の方が『不安派』よりも高くなっている。

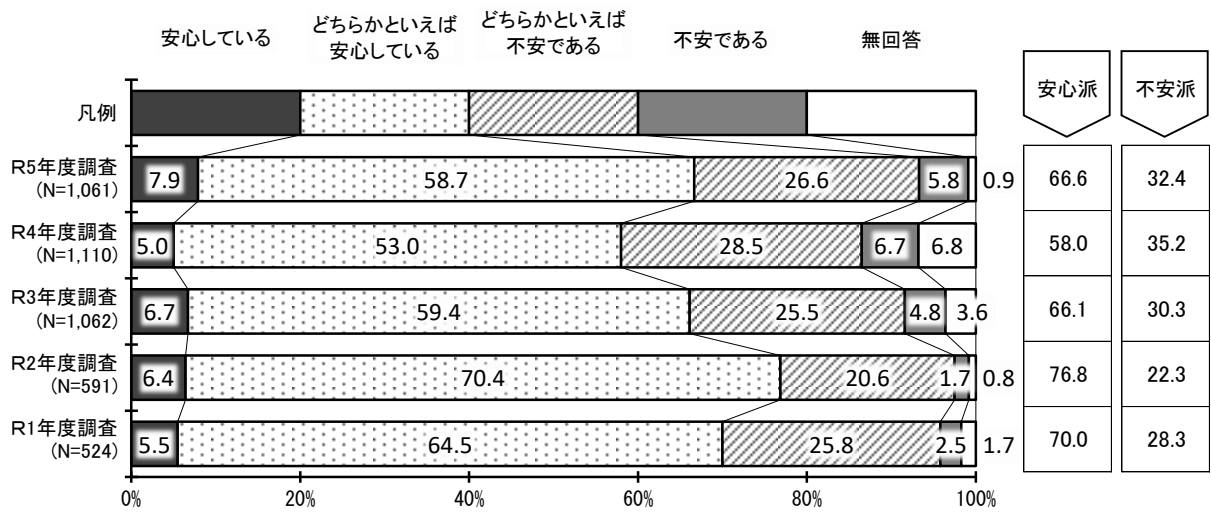
過去の調査結果と比べると、『安心派』は令和4年度調査から8.6ポイント増加している。

性別にみると、男性（72.0%）の方が女性（62.5%）よりも『安心派』の割合が高くなっている。

年代別にみると、『安心派』はすべての年代で『不安派』よりも高く、70歳代以上が71.2%で最も高くなっている。

小学校区別にみると、『安心派』が最も高いのは太宰府西小学校区（70.2%）となっている。

問 30. あなたは市内に住むうえで防犯の面で安心していますか。（○は1つ）



									(%)	
		標 本 数	る 安 心 して い	しいえ ばら ん 安 か 心 と	でい えら ば 安 か 心 と	不 安 だ る	無 回 答	安 心 派	不 安 派	
全 体		1,061 100.0	84 7.9	623 58.7	282 26.6	62 5.8	10 0.9	707 66.6	344 32.4	
性別	男 性	461	10.2	61.8	22.8	4.3	0.9	72.0	27.1	
	女 性	568	5.8	56.7	29.6	6.9	1.1	62.5	36.5	
	無回答	32	12.5	50.0	28.1	9.4	-	62.5	37.5	
年代別	20歳代	92	20.7	45.7	23.9	9.8	-	66.4	33.7	
	30歳代	123	9.8	43.9	36.6	9.8	-	53.7	46.4	
	40歳代	173	7.5	59.5	24.9	7.5	0.6	67.0	32.4	
	50歳代	191	2.6	63.9	26.7	5.8	1.0	66.5	32.5	
	60歳代	191	5.8	61.8	27.7	2.6	2.1	67.6	30.3	
	70歳代以上	284	8.5	62.7	23.6	4.2	1.1	71.2	27.8	
	無回答	7	-	85.7	14.3	-	-	85.7	14.3	
小学校区別	太宰府小学校区	132	11.4	55.3	23.5	9.1	0.8	66.7	32.6	
	太宰府東小学校区	113	6.2	53.1	34.5	5.3	0.9	59.3	39.8	
	太宰府南小学校区	104	9.6	59.6	24.0	4.8	1.9	69.2	28.8	
	水城小学校区	144	7.6	59.7	24.3	7.6	0.7	67.3	31.9	
	水城西小学校区	126	6.3	59.5	25.4	6.3	2.4	65.8	31.7	
	太宰府西小学校区	201	7.0	63.2	24.4	5.5	-	70.2	29.9	
	国分小学校区	150	8.0	58.7	30.7	1.3	1.3	66.7	32.0	
	わからない	73	6.8	54.8	28.8	9.6	-	61.6	38.4	
無回答	18	11.1	66.7	22.2	-	-	77.8	22.2		

15. 人権侵害の経験の有無(問 31)

- 人権を侵害されたことが「ある」は4.4%となっている。

人権侵害の経験の有無について、この1年間に人権を侵害されたことについては、「ない」と答えた人が94.6%と大半を占めている。なお、「ある」と答えた人は4.4%となっている。

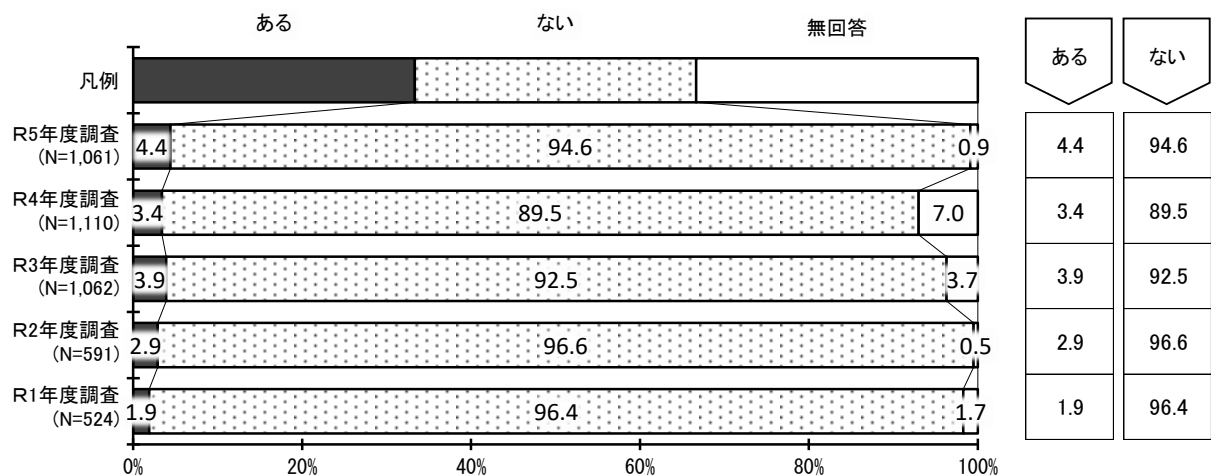
過去の調査結果と比べると、「ある」と答えた人は令和4年度調査から1.0ポイント増加しており、過去5年間の調査で最も高くなっている。

性別にみると、女性(5.1%)の方が男性(3.5%)よりも「ある」が高くなっている。

年代別にみると、40歳代(8.1%)において「ある」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、「ある」が最も高いのは水城西小学校区(6.3%)となっている。

問 31. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。(〇は1つ)



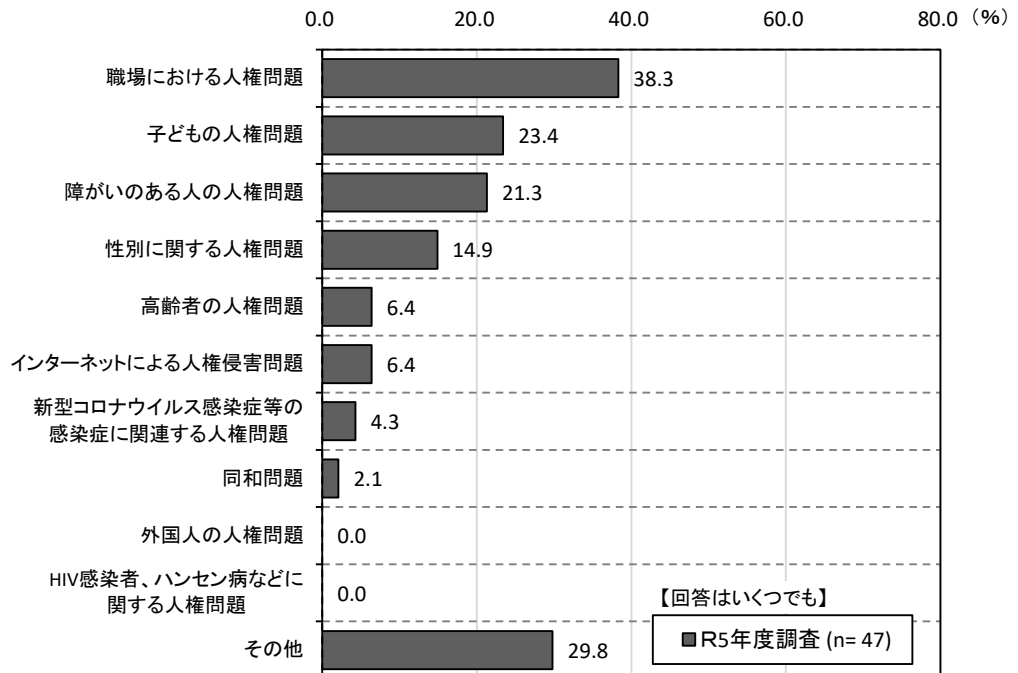
		(%)			
		標本数	ある	ない	無回答
全 体		1,061	4.4	94.6	0.9
性別	男 性	461	3.5	95.2	1.3
	女 性	568	5.1	94.2	0.7
	無回答	32	6.3	93.8	-
年代別	20歳代	92	4.3	95.7	-
	30歳代	123	3.3	96.7	-
	40歳代	173	8.1	90.2	1.7
	50歳代	191	3.7	95.3	1.0
	60歳代	191	5.2	93.7	1.0
	70歳代以上	284	2.1	96.8	1.1
	無回答	7	28.6	71.4	-
小学校区別	太宰府小学校区	132	3.8	95.5	0.8
	太宰府東小学校区	113	2.7	95.6	1.8
	太宰府南小学校区	104	5.8	92.3	1.9
	水城西小学校区	144	4.2	94.4	1.4
	水城西小学校区	126	6.3	92.1	1.6
	太宰府西小学校区	201	3.0	97.0	-
	国分小学校区	150	4.0	95.3	0.7
	わからない	73	6.8	93.2	-
無回答		18	11.1	88.9	-

16. 人権侵害の経験の内容(問 32)

- 人権侵害の経験の内容は「職場における人権問題」(38.3%)が最も高い。

人権侵害の経験の内容について、「職場における人権問題」(38.3%)が最も高く、次いで「子どもの人権問題」(23.4%)、「障がいのある人の人権問題」(21.3%)、「性別に関する人権問題」(14.9%)の順となっている。

問 32. 【人権を侵害されたことがあると答えた方】におたずねします。それはどのような人権侵害ですか。(〇はいくつでも)



性別にみると、男女ともに「職場における人権問題」（男性 56.3%、女性 31.0%）が最も高くなっている。続いて、男性は「子どもの人権問題」と「障がいのある人の人権問題」（同率 18.8%）となっている。一方、女性は「子どもの人権問題」（27.6%）、「性別に関する人権問題」（24.1%）、「障がいのある人の人権問題」（20.7%）の順になっている。

年代別にみると、20歳代において「職場における人権問題」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、水城小学校区において「障がいのある人の人権問題」（66.7%）が特に高くなっている。

		標 本 数	職 場 に お け る 人 権 問 題	子 ど も の 人 権 問 題	障 が い の あ る 人 の 人 権 問 題	性 別 に 関 す る 人 権 問 題	高 齢 者 の 人 権 問 題	イ ン タ ー ネ ッ ト に よ る 人 権 侵 害 問 題	関 連 す る 人 権 問 題	新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス の 感 染 症	同 和 問 題	外 国 人 の 人 権 問 題	セ ン シ ー ブ な ど に 関 す る 人 権 問 題	そ の 他
全 体		47 -	18 38.3	11 23.4	10 21.3	7 14.9	3 6.4	3 6.4	2 4.3	1 2.1	- -	- -	- -	14 29.8
性 別	男 性	16	56.3	18.8	18.8	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
	女 性	29	31.0	27.6	20.7	24.1	10.3	10.3	6.9	3.4	-	-	-	31.0
	無回答	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
年 代 別	20歳代	4	75.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0
	30歳代	4	25.0	50.0	-	25.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	40歳代	14	42.9	42.9	42.9	21.4	7.1	21.4	7.1	7.1	-	-	-	14.3
	50歳代	7	42.9	14.3	-	-	14.3	-	14.3	-	-	-	-	28.6
	60歳代	10	40.0	20.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	30.0
	70歳代以上	6	16.7	-	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	50.0
	無回答	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	5	60.0	40.0	20.0	40.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-	40.0
	太宰府東小学校区	3	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
	太宰府南小学校区	6	16.7	16.7	-	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	33.3
	水城小学校区	6	33.3	50.0	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7
	水城西小学校区	8	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5	-	-	-	-	37.5
	太宰府西小学校区	6	33.3	33.3	33.3	16.7	-	16.7	-	16.7	-	-	-	-
	国分小学校区	6	50.0	16.7	16.7	33.3	-	-	-	-	-	-	-	16.7
	わからない	5	80.0	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	60.0
	無回答	2	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0

17. 市内での人権の尊重(問 33)

● 人権が『尊重されている派』は 78.5%、『尊重されていない派』は 15.5%となっている。

市内での人権の尊重について、『尊重されている派』（「尊重されている」と「どちらかといえば尊重されている」の合計）は 78.5%となっている。一方、『尊重されていない派』（「尊重されていない」と「どちらかといえば尊重されていない」の合計）は 15.5%で、『尊重されている派』が 7 割以上と高くなっている。

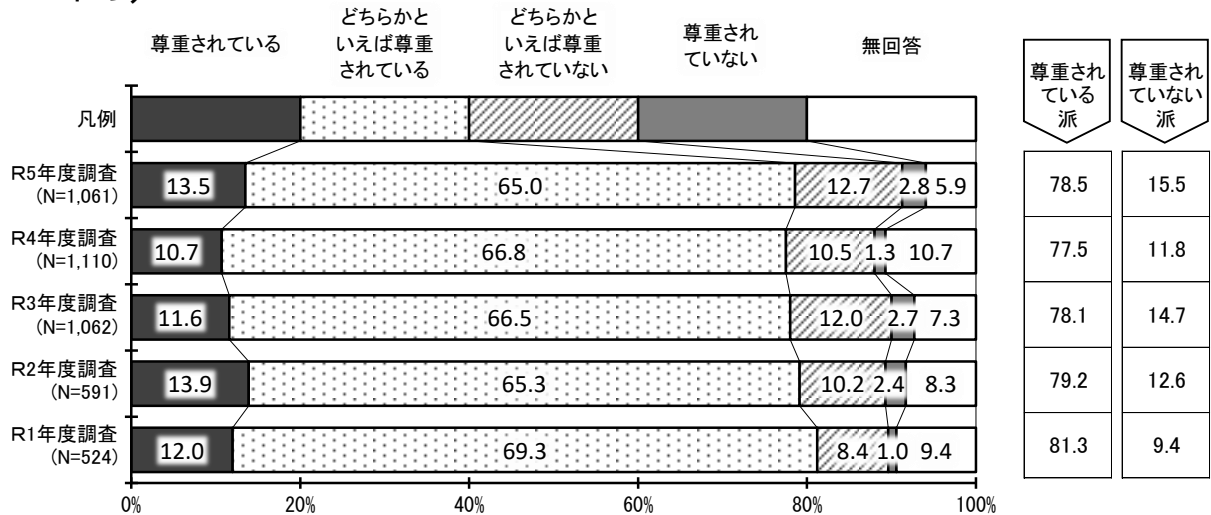
過去の調査結果と比べると、『尊重されている派』は令和 4 年度調査より 1.0 ポイント増加している。

性別にみると、『尊重されている派』は男性が 79.2%、女性が 78.9%で男女に大きな差はみられない。

年代別にみると、すべての年代で『尊重されている派』は 7 割を超えており、20 歳代（88.0%）は、他の年代に比べて最も高くなっている。

小学校区別にみると、『尊重されている派』が最も高いのは、太宰府南小学校区（84.6%）となっている。一方、最も低いのは水城小学校区（75.7%）となっている。

問 33. あなたは市内で同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。（○は 1 つ）



		標本数	尊重されている	どちらかといえば尊重されている	どちらかといえば尊重されていない	尊重されていない	無回答	尊重されている派 (%)	尊重されていない派 (%)
全 体		1,061	143	690	135	30	63	833	165
		100.0	13.5	65.0	12.7	2.8	5.9	78.5	15.5
性別	男 性	461	13.7	65.5	12.8	2.8	5.2	79.2	15.6
	女 性	568	13.4	65.5	12.1	3.0	6.0	78.9	15.1
	無回答	32	12.5	50.0	21.9	-	15.6	62.5	21.9
年代別	20歳代	92	31.5	56.5	6.5	3.3	2.2	88.0	9.8
	30歳代	123	14.6	69.1	10.6	4.9	0.8	83.7	15.5
	40歳代	173	11.0	71.7	12.1	2.9	2.3	82.7	15.0
	50歳代	191	12.6	64.4	15.2	4.7	3.1	77.0	19.9
	60歳代	191	6.8	69.6	16.2	1.6	5.8	76.4	17.8
	70歳代以上	284	14.1	59.9	11.3	1.4	13.4	74.0	12.7
	無回答	7	-	42.9	42.9	-	14.3	42.9	42.9
小学校区別	太宰府小学校区	132	15.9	61.4	15.2	3.0	4.5	77.3	18.2
	太宰府東小学校区	113	15.0	64.6	12.4	1.8	6.2	79.6	14.2
	太宰府南小学校区	104	11.5	73.1	6.7	3.8	4.8	84.6	10.5
	水城小学校区	144	16.0	59.7	14.6	0.7	9.0	75.7	15.3
	水城西小学校区	126	10.3	69.0	16.7	1.6	2.4	79.3	18.3
	太宰府西小学校区	201	16.4	66.2	9.0	3.0	5.5	82.6	12.0
	国分小学校区	150	8.0	69.3	13.3	3.3	6.0	77.3	16.6
	わからない	73	15.1	56.2	13.7	8.2	6.8	71.3	21.9
	無回答	18	5.6	50.0	22.2	-	22.2	55.6	22.2

18. 固定的な役割分担に対する考え方(問 34)

- 固定的な役割分担に『非同感派』(76.6%)の方が、『同感派』(22.1%)よりも高い。

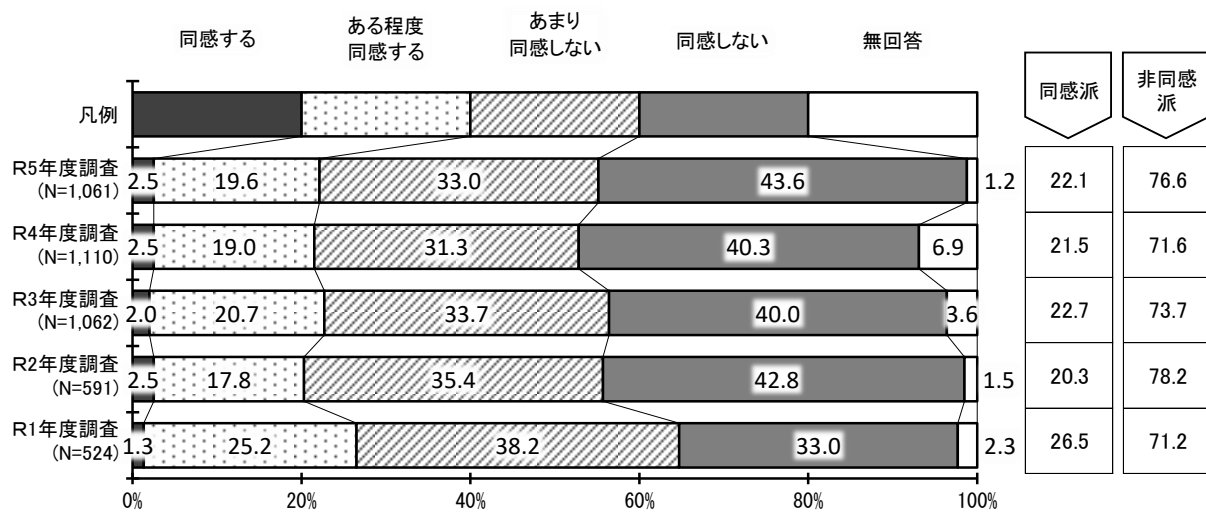
固定的な役割分担に対する考え方について、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識に、『同感派』(「同感する」と「ある程度同感する」の合計)は 22.1%となっている。一方、『非同感派』(「同感しない」と「あまり同感しない」の合計)は 76.6%で、『非同感派』の方が『同感派』より高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『非同感派』は令和4年度調査より 5.0 ポイント増加している。

性別・年代別にみると、『非同感派』はすべての年代で女性の方が男性より高くなっている。

小学校区別にみると、『非同感派』が最も高いのは、太宰府小学校区(81.8%)となっている。

問 34. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(〇は1つ)



		標本数	同感する	ある程度同感する	あまり同感しない	同感しない	無回答	同感派 (%)	非同感派 (%)
全 体		1,061	27	208	350	463	13	235	813
		100.0	2.5	19.6	33.0	43.6	1.2	22.1	76.6
性別	男 性	461	3.7	24.1	33.8	36.9	1.5	27.8	70.7
	女 性	568	1.6	15.1	32.0	50.2	1.1	16.7	82.2
	無回答	32	3.1	34.4	37.5	25.0	-	37.5	62.5
性別・年代別	男性：20歳代	36	8.3	16.7	41.7	33.3	-	25.0	75.0
	男性：30歳代	53	5.7	9.4	35.8	49.1	-	15.1	84.9
	男性：40歳代	69	2.9	26.1	29.0	40.6	1.4	29.0	69.6
	男性：50歳代	79	1.3	24.1	41.8	32.9	-	25.4	74.7
	男性：60歳代	91	-	26.4	31.9	39.6	2.2	26.4	71.5
	男性：70歳以上	133	6.0	29.3	30.1	31.6	3.0	35.3	61.7
	女性：20歳代	56	5.4	14.3	14.3	66.1	-	19.7	80.4
	女性：30歳代	69	1.4	13.0	27.5	58.0	-	14.4	85.5
	女性：40歳代	102	2.0	15.7	35.3	46.1	1.0	17.7	81.4
	女性：50歳代	109	0.9	14.7	33.9	50.5	-	15.6	84.4
	女性：60歳代	95	-	15.8	31.6	52.6	-	15.8	84.2
	女性：70歳以上	137	1.5	16.1	38.0	40.9	3.6	17.6	78.9
	無回答	32	3.1	34.4	37.5	25.0	-	37.5	62.5
小学校区別	太宰府小学校区	132	-	17.4	39.4	42.4	0.8	17.4	81.8
	太宰府東小学校区	113	0.9	21.2	29.2	45.1	3.5	22.1	74.3
	太宰府南小学校区	104	3.8	21.2	26.9	46.2	1.9	25.0	73.1
	水城小学校区	144	3.5	19.4	31.3	44.4	1.4	22.9	75.7
	水城西小学校区	126	3.2	16.7	35.7	43.7	0.8	19.9	79.4
	太宰府西小学校区	201	2.5	22.4	32.8	41.8	0.5	24.9	74.6
	国分小学校区	150	1.3	16.7	36.7	44.7	0.7	18.0	81.4
	わからない	73	5.5	19.2	28.8	45.2	1.4	24.7	74.0
無回答		18	11.1	33.3	27.8	27.8	-	44.4	55.6

19. DVを受けた経験がある場合の相談経験(問 35)

● DVを『受けた』は7.9%、『受けたことはない』は87.6%となっている。

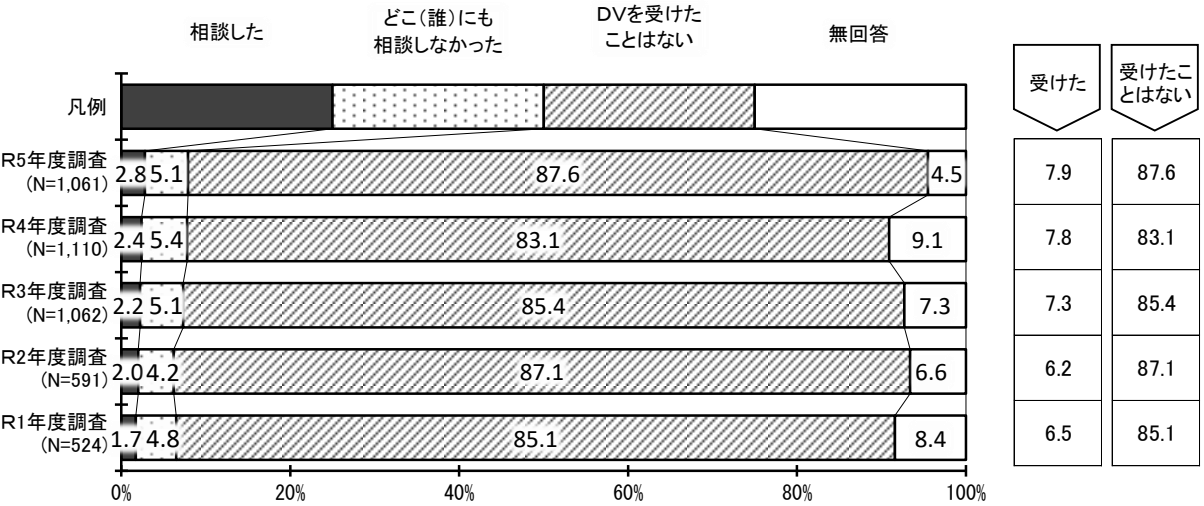
DVを受けた経験がある場合の相談経験について、「DVを受けたことはない」と答えた人が87.6%と8割以上を占めている。なお、DVを「相談した」と答えた人(2.8%)と「どこ(誰)にも相談しなかった」(5.1%)を合わせたDVを『受けた』経験がある人は7.9%となっている。

過去の調査結果と比べると、令和4年度調査より「相談した」は0.4ポイント増加、「どこ(誰)にも相談しなかった」は0.3ポイント減少している。

性別・年代別にみると、すべての年代でDVを『受けた』経験があると回答している。

小学校区別にみると、すべての小学校区でDVを『受けた』経験があると回答している。

問 35. 配偶者(元配偶者も含む)や交際相手からDVを受けた経験がある場合、どこ(誰)かに相談をしましたか。[※DVには身体的・精神的・性的・経済的な暴力を含む](○は1つ)



							(%)	
		標 本 数	相 談 し た	な に ど こ （ 誰 ） に も つ た 談 し	い た こ と は 受 け な け	無 回 答	受 け た	は 受 け な い た こ と
全 体		1,061 100.0	30 2.8	54 5.1	929 87.6	48 4.5	84 7.9	929 87.6
性別・年代別	男性：20歳代	36	5.6	-	94.4	-	5.6	94.4
	男性：30歳代	53	1.9	1.9	96.2	-	3.8	96.2
	男性：40歳代	69	-	2.9	91.3	5.8	2.9	91.3
	男性：50歳代	79	-	2.5	94.9	2.5	2.5	94.9
	男性：60歳代	91	1.1	3.3	87.9	7.7	4.4	87.9
	男性：70歳以上	133	-	2.3	90.2	7.5	2.3	90.2
	女性：20歳代	56	-	5.4	92.9	1.8	5.4	92.9
	女性：30歳代	69	1.4	2.9	92.8	2.9	4.3	92.8
	女性：40歳代	102	7.8	7.8	79.4	4.9	15.6	79.4
	女性：50歳代	109	7.3	5.5	85.3	1.8	12.8	85.3
	女性：60歳代	95	4.2	6.3	87.4	2.1	10.5	87.4
	女性：70歳以上	137	3.6	11.7	77.4	7.3	15.3	77.4
	無回答	32	-	6.3	84.4	9.4	6.3	84.4
小学校区別	太宰府小学校区	132	0.8	6.8	87.1	5.3	7.6	87.1
	太宰府東小学校区	113	1.8	7.1	83.2	8.0	8.9	83.2
	太宰府南小学校区	104	2.9	4.8	86.5	5.8	7.7	86.5
	水城小学校区	144	2.8	2.8	90.3	4.2	5.6	90.3
	水城西小学校区	126	4.0	4.8	90.5	0.8	8.8	90.5
	太宰府西小学校区	201	2.5	5.0	90.0	2.5	7.5	90.0
	国分小学校区	150	3.3	4.0	86.7	6.0	7.3	86.7
		わからない	73	6.8	6.8	83.6	2.7	13.6
	無回答	18	-	5.6	77.8	16.7	5.6	77.8

20. 生涯学習活動の取り組み状況(問 36)

- 生涯学習の『週1回以上の実施率』は31.3%となっている。

生涯学習活動の取り組み状況について、『週1回以上の実施率』（「ほぼ毎日取り組んでいる」と「週に1回程度取り組んでいる」の合計）は31.3%となっている。一方、「ほとんど取り組んでいない」は39.1%となっている。

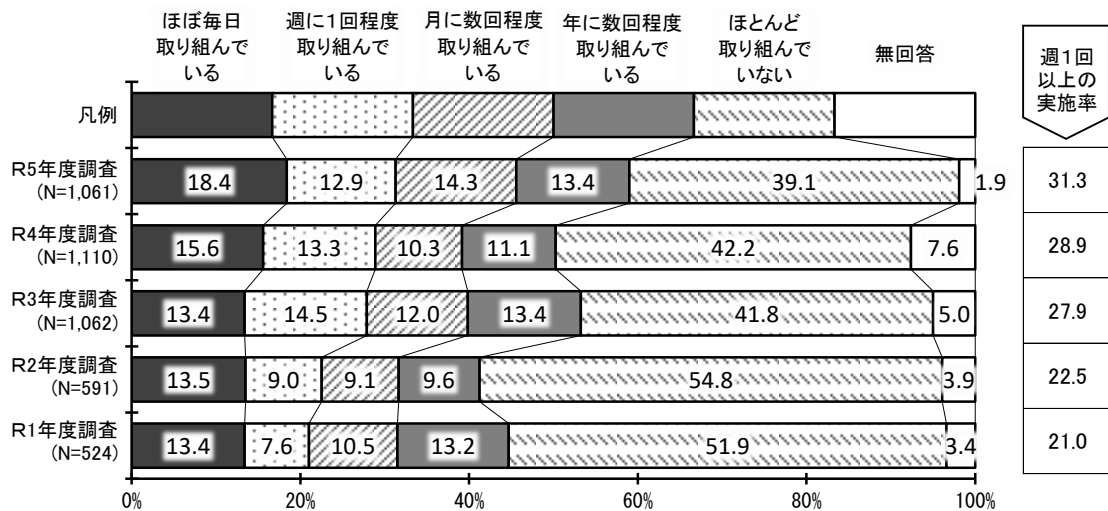
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は過去5年間の調査で最も高くなっている。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は、男性（34.7%）の方が女性（28.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは、20歳代（47.8%）、次いで、60歳代（33.5%）の順となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（34.5%）となっている。

問 36. あなたは日頃から自発的に学習に取り組んでいますか。（○は1つ）



		標 本 数	組 ほ ん ぼ で 毎 日 る 取 り	る 取 週 に 組 1 回 で 程 い 度	る 取 月 に 組 数 回 で 程 い 度	る 取 年 に 組 数 回 で 程 い 度	組 ほ ん と で ん い ど な 取 い り	無 回 答	(%) 実 週 施 1 率 回 以 上 の
全 体		1,061	195	137	152	142	415	20	332
		100.0	18.4	12.9	14.3	13.4	39.1	1.9	31.3
性 別	男 性	461	20.4	14.3	11.7	14.3	38.0	1.3	34.7
	女 性	568	16.5	12.1	16.9	12.7	39.6	2.1	28.6
	無回答	32	21.9	6.3	6.3	12.5	46.9	6.3	28.2
年 代 別	20歳代	92	30.4	17.4	10.9	13.0	27.2	1.1	47.8
	30歳代	123	17.9	13.0	19.5	16.3	33.3	-	30.9
	40歳代	173	17.9	8.1	19.7	20.2	33.5	0.6	26.0
	50歳代	191	10.5	13.6	17.8	11.0	47.1	-	24.1
	60歳代	191	17.8	15.7	9.9	8.4	46.1	2.1	33.5
	70歳代以上	284	20.4	12.0	10.6	13.4	38.7	4.9	32.4
	無回答	7	28.6	14.3	14.3	-	42.9	-	42.9
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	18.2	12.9	10.6	13.6	43.2	1.5	31.1
	太宰府東小学校区	113	15.0	19.5	16.8	14.2	32.7	1.8	34.5
	太宰府南小学校区	104	20.2	11.5	14.4	12.5	38.5	2.9	31.7
	水城小学校区	144	23.6	9.7	13.9	15.3	35.4	2.1	33.3
	水城西小学校区	126	19.8	11.9	16.7	7.1	42.9	1.6	31.7
	太宰府西小学校区	201	19.4	11.9	15.9	15.9	34.8	2.0	31.3
	国分小学校区	150	13.3	11.3	12.7	18.0	42.7	2.0	24.6
	わからない	73	12.3	19.2	15.1	6.8	46.6	-	31.5
	無回答	18	33.3	11.1	5.6	-	44.4	5.6	44.4

21. 運動・スポーツの取り組み頻度(問 37)

● 運動・スポーツの『週1回以上の実施率』は47.6%となっている。

運動・スポーツの取り組み頻度について、『週に1回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」と「週に3回程度行っている」、「週に1回程度行っている」の合計）は47.6%となっている。

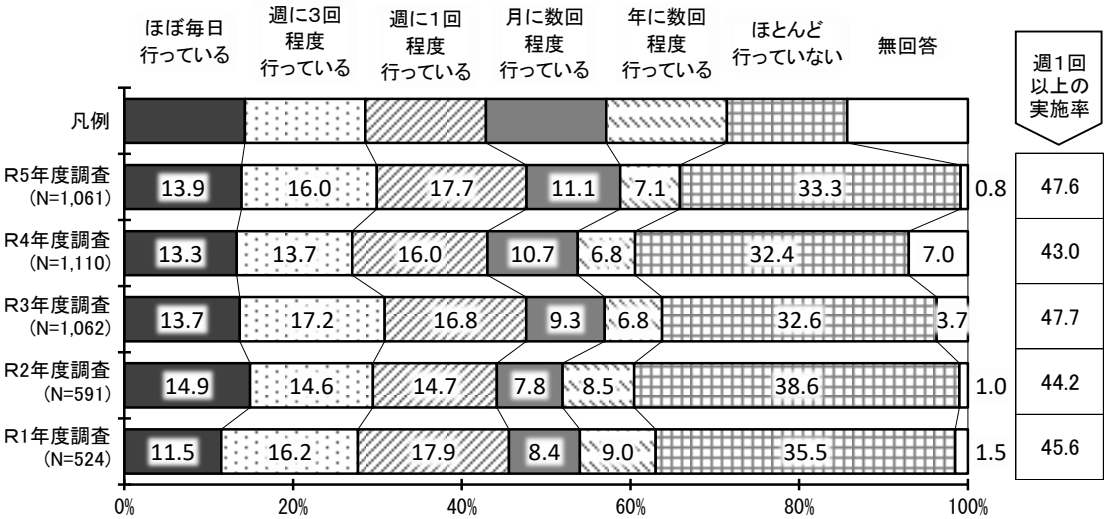
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は令和4年度の調査から4.6ポイント増加している。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は男性（51.6%）の方が女性（43.9%）より高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』は70歳代以上（59.1%）が最も高く、次いで60歳代（56.0%）の順となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは太宰府東小学校区（57.5%）となっている。一方、最も低いのは水城小学校区（41.0%）となっている。

問 37. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。（○は1つ）



		(%)								
		標 本 数	行 ほ つ ぼ て 毎 い 日 る	る 度 週 行 に つ 3 て 回 い 程	る 度 週 行 に つ 1 て 回 い 程	る 度 月 行 に つ 数 て 回 い 程	る 度 年 行 に つ 数 て 回 い 程	い 行 ほ つ と ん ど な	無 回 答	の 週 実 1 施 回 率 以 上
全 体		1,061 100.0	148 13.9	170 16.0	188 17.7	118 11.1	75 7.1	353 33.3	9 0.8	506 47.6
性別	男 性	461	16.9	16.9	17.8	11.7	6.7	28.9	1.1	51.6
	女 性	568	11.3	15.3	17.3	10.7	7.7	37.0	0.7	43.9
	無回答	32	18.8	15.6	25.0	9.4	-	31.3	-	59.4
年代別	20歳代	92	9.8	9.8	20.7	14.1	10.9	34.8	-	40.3
	30歳代	123	9.8	7.3	14.6	18.7	8.1	41.5	-	31.7
	40歳代	173	9.2	13.9	18.5	13.9	11.6	32.4	0.6	41.6
	50歳代	191	12.0	14.1	14.7	11.0	8.9	39.3	-	40.8
	60歳代	191	20.4	16.8	18.8	6.3	5.8	30.9	1.0	56.0
	70歳代以上	284	16.9	23.9	18.3	8.5	2.5	27.8	2.1	59.1
	無回答	7	14.3	14.3	42.9	14.3	-	14.3	-	71.5
小学校区別	太宰府小学校区	132	14.4	14.4	18.2	11.4	5.3	35.6	0.8	47.0
	太宰府東小学校区	113	15.0	19.5	23.0	3.5	8.0	30.1	0.9	57.5
	太宰府南小学校区	104	14.4	15.4	18.3	12.5	2.9	34.6	1.9	48.1
	水城小学校区	144	12.5	14.6	13.9	10.4	9.0	38.9	0.7	41.0
	水城西小学校区	126	11.1	19.8	16.7	9.5	8.7	33.3	0.8	47.6
	太宰府西小学校区	201	17.4	16.4	20.9	11.9	6.5	26.4	0.5	54.7
	国分小学校区	150	11.3	14.0	16.7	16.0	9.3	31.3	1.3	42.0
	わからない	73	13.7	11.0	9.6	13.7	6.8	45.2	-	34.3
	無回答	18	16.7	27.8	22.2	5.6	-	27.8	-	66.7

22. 文化芸術活動の取り組み状況(問 38)

- 文化芸術活動について「ほとんど行っていない」が51.7%となっている。

文化芸術の取り組み状況について、日頃から文化芸術活動をしているかどうかをたずねたところ、『月数回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」と「週に1回程度行っている」、「月に数回程度行っている」の合計）は16.2%となっている。なお、「年に数回程度行っている」は31.0%、「ほとんど行っていない」は51.7%となっている。

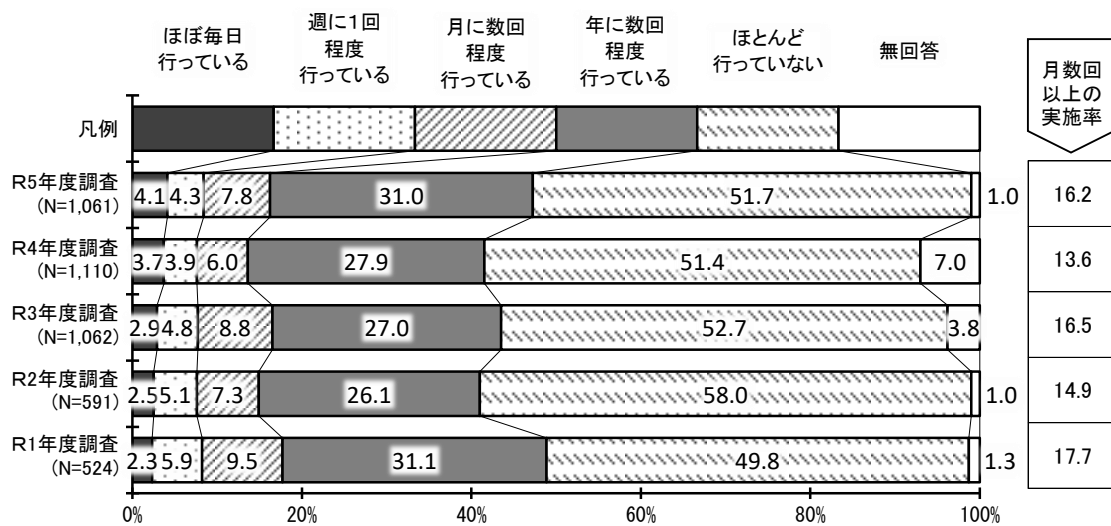
過去の調査結果と比べると、令和4年度の調査から『月数回以上の実施率』は2.6ポイント増加している。

性別にみると、『月数回以上の実施率』は女性（18.3%）の方が男性（12.8%）より高くなっている。

年代別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは、20歳代（23.9%）となっている。

小学校区別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは、太宰府西小学校区（20.5%）となっている。

問 38. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	月数回以上の実施率
全 体		1,061	4.1	14.3	7.8	31.0	51.7	1.0	16.2
性別	男 性	461	3.9	13.9	5.0	27.5	58.6	1.1	12.8
	女 性	568	4.0	14.6	9.7	34.7	46.0	1.1	18.3
	無回答	32	6.3	6.3	15.6	15.6	56.3	-	28.2
年代別	20歳代	92	9.8	5.4	8.7	30.4	45.7	-	23.9
	30歳代	123	7.3	1.6	6.5	19.5	64.2	0.8	15.4
	40歳代	173	3.5	4.0	7.5	31.8	52.6	0.6	15.0
	50歳代	191	2.1	5.2	6.3	37.7	48.7	-	13.6
	60歳代	191	3.7	3.1	8.4	30.9	52.9	1.0	15.2
	70歳代以上	284	2.5	5.3	8.5	32.0	49.3	2.5	16.3
	無回答	7	14.3	14.3	28.6	-	42.9	-	57.2
小学校区別	太宰府小学校区	132	5.3	1.5	9.8	31.8	50.8	0.8	16.6
	太宰府東小学校区	113	4.4	3.5	4.4	36.3	49.6	1.8	12.3
	太宰府南小学校区	104	2.9	3.8	9.6	34.6	47.1	1.9	16.3
	水城小学校区	144	4.9	6.9	7.6	34.0	45.8	0.7	19.4
	水城西小学校区	126	3.2	4.0	6.3	23.0	63.5	-	13.5
	太宰府西小学校区	201	5.5	7.0	8.0	31.3	46.8	1.5	20.5
	国分小学校区	150	1.3	1.3	7.3	34.7	54.7	0.7	9.9
	わからない	73	4.1	2.7	9.6	21.9	61.6	-	16.4
	無回答	18	5.6	16.7	11.1	5.6	55.6	5.6	33.4

23. 地域の環境マナーの順守状況(問 39)

- 地域の環境マナーについて『守られている』は 74.4%、『守られていない』は 24.6%となっている。

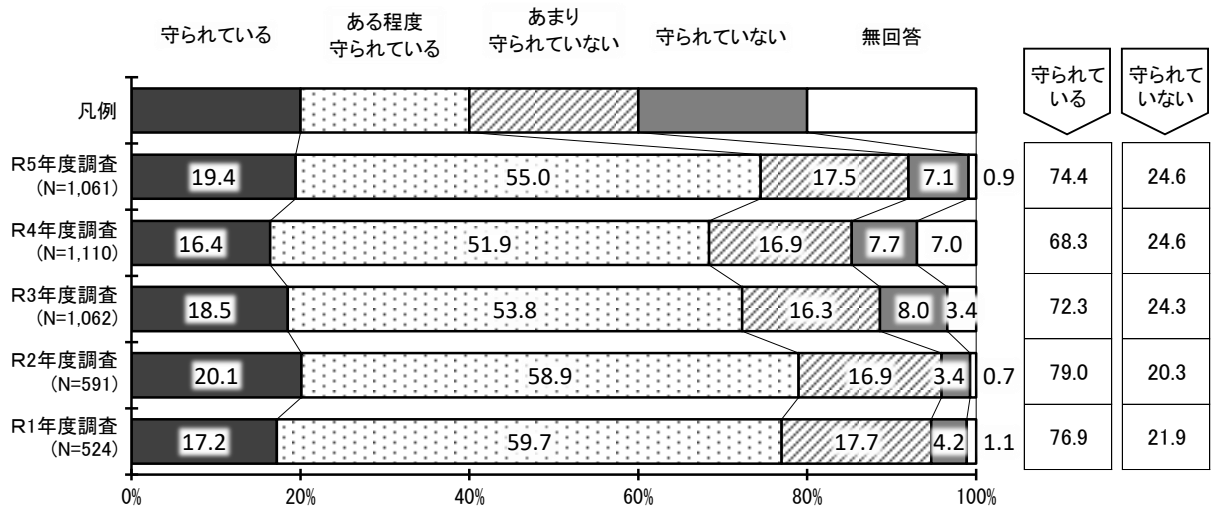
地域の環境マナーの順守状況について、『守られている』（「守られている」と「ある程度守られている」の合計）は 74.4%となっている。一方、『守られていない』（「守られていない」と「あまり守られていない」の合計）は 24.6%で、『守られている』が『守られていない』を 49.8 ポイント上回っている。

過去の調査結果と比べると、『守られている』は令和 4 年度調査から 6.1 ポイント増加している。

性別にみると、『守られている』は女性（75.7%）の方が男性（72.4%）より高くなっている。年代別にみると、『守られている』は 70 歳代以上（78.5%）の割合が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『守られている』は、国分小学校区（83.4%）が最も高く、次いで水城小学校区（75.7%）の順になっている。

問 39. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草などあき地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	い守るられて	い守あるるれ程度	ならあなれまてりい守	い守ならいれて	無回答	い守るられて	い守ならいれて
全 体		1,061	206	584	186	75	10	790	261
		100.0	19.4	55.0	17.5	7.1	0.9	74.4	24.6
性別	男 性	461	20.6	51.8	18.0	8.2	1.3	72.4	26.2
	女 性	568	18.1	57.6	17.4	6.2	0.7	75.7	23.6
	無回答	32	25.0	56.3	12.5	6.3	-	81.3	18.8
年代別	20歳代	92	18.5	59.8	10.9	9.8	1.1	78.3	20.7
	30歳代	123	16.3	53.7	20.3	9.8	-	70.0	30.1
	40歳代	173	15.0	58.4	19.1	6.4	1.2	73.4	25.5
	50歳代	191	16.2	54.5	19.9	9.4	-	70.7	29.3
	60歳代	191	22.0	51.8	20.9	4.7	0.5	73.8	25.6
	70歳代以上	284	23.6	54.9	13.7	5.6	2.1	78.5	19.3
	無回答	7	42.9	42.9	14.3	-	-	85.8	14.3
小学校区別	太宰府小学校区	132	17.4	50.0	20.5	11.4	0.8	67.4	31.9
	太宰府東小学校区	113	22.1	47.8	19.5	8.0	2.7	69.9	27.5
	太宰府南小学校区	104	19.2	55.8	15.4	7.7	1.9	75.0	23.1
	水城小学校区	144	18.1	57.6	16.7	6.9	0.7	75.7	23.6
	水城西小学校区	126	11.1	64.3	18.3	5.6	0.8	75.4	23.9
	太宰府西小学校区	201	21.9	53.2	18.9	5.5	0.5	75.1	24.4
	国分小学校区	150	24.7	58.7	11.3	4.7	0.7	83.4	16.0
	わからない	73	13.7	52.1	23.3	11.0	-	65.8	34.3
無回答		18	38.9	50.0	11.1	-	-	88.9	11.1

24. 地域の美化運動への参加状況(問 40)

- 地域の清掃活動に『参加している派』は69.3%で、年齢が上がるほど参加率が高い。

地域の美化運動への参加状況について、『参加している派』（「いつも参加している」と「たまに参加している」の合計）は69.3%となっている。一方、「参加していない」は29.8%で、『参加している派』が『参加していない派』を39.5ポイント上回っている。

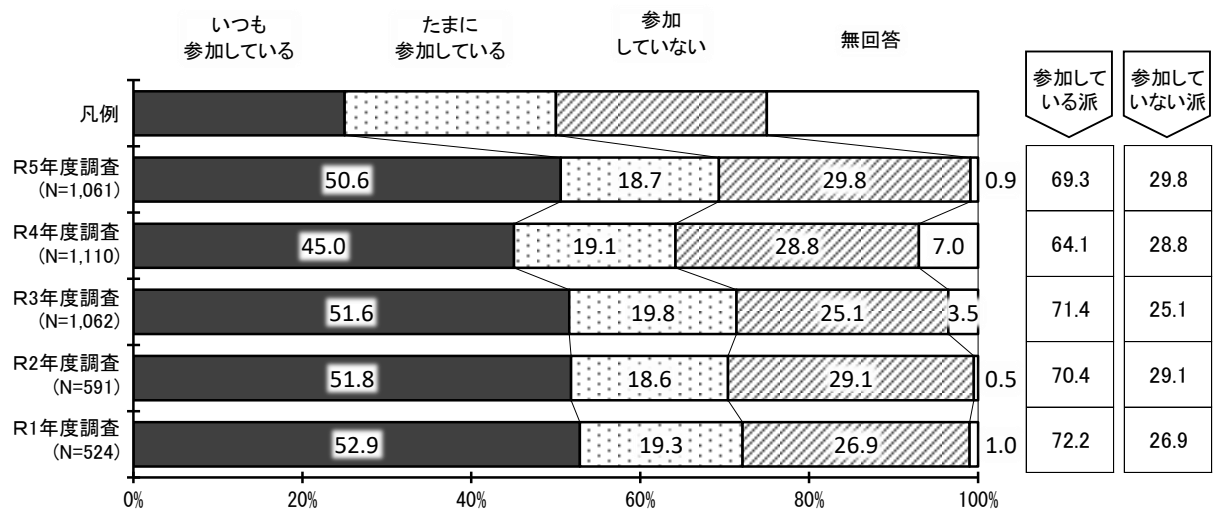
過去の調査結果と比べると、『参加している派』は、令和4年度調査から5.2ポイント増加している。

性別にみると、『参加している派』は女性（71.0%）の方が男性（67.5%）より高くなっている。

年代別にみると、年代が高くなるにつれ『参加している派』の割合が高くなる傾向となっている。20歳代と30歳代では『参加していない派』が5割を超えている。

小学校区別にみると、『参加している派』が最も高いのは、太宰府東小学校区（80.5%）となっている。一方、『参加していない派』が最も高いのは水城小学校区（36.1%）となっている。

問 40. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。（○は1つ）



		標本数	いつも参加している	たまに参加している	参加していない	無回答	参加している派 (%)	参加していない派 (%)
全 体		1,061	537	198	316	10	735	316
		100.0	50.6	18.7	29.8	0.9	69.3	29.8
性別	男 性	461	46.0	21.5	31.5	1.1	67.5	31.5
	女 性	568	53.7	17.3	28.2	0.9	71.0	28.2
	無回答	32	62.5	3.1	34.4	-	65.6	34.4
年代別	20歳代	92	12.0	28.3	58.7	1.1	40.3	58.7
	30歳代	123	27.6	19.5	52.8	-	47.1	52.8
	40歳代	173	36.4	28.3	34.7	0.6	64.7	34.7
	50歳代	191	53.4	21.5	25.1	-	74.9	25.1
	60歳代	191	62.3	14.7	22.0	1.0	77.0	22.0
	70歳代以上	284	71.8	10.2	15.8	2.1	82.0	15.8
	無回答	7	57.1	14.3	28.6	-	71.4	28.6
小学校区別	太宰府小学校区	132	44.7	27.3	26.5	1.5	72.0	26.5
	太宰府東小学校区	113	57.5	23.0	18.6	0.9	80.5	18.6
	太宰府南小学校区	104	59.6	15.4	23.1	1.9	75.0	23.1
	水城小学校区	144	47.2	16.0	36.1	0.7	63.2	36.1
	水城西小学校区	126	46.0	16.7	35.7	1.6	62.7	35.7
	太宰府西小学校区	201	59.2	20.4	19.9	0.5	79.6	19.9
	国分小学校区	150	60.0	16.0	23.3	0.7	76.0	23.3
	わからない	73	12.3	8.2	79.5	-	20.5	79.5
	無回答	18	38.9	27.8	33.3	-	66.7	33.3

25. 市内の自然の豊かさ(問 41)

● 自然の豊かさについて『肯定派』は90.6%、『否定派』は8.3%となっている。

市内の自然の豊かさについて、『肯定派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は90.6%、一方、『否定派』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は8.3%で、『肯定派』の方が『否定派』を大きく上回っている。

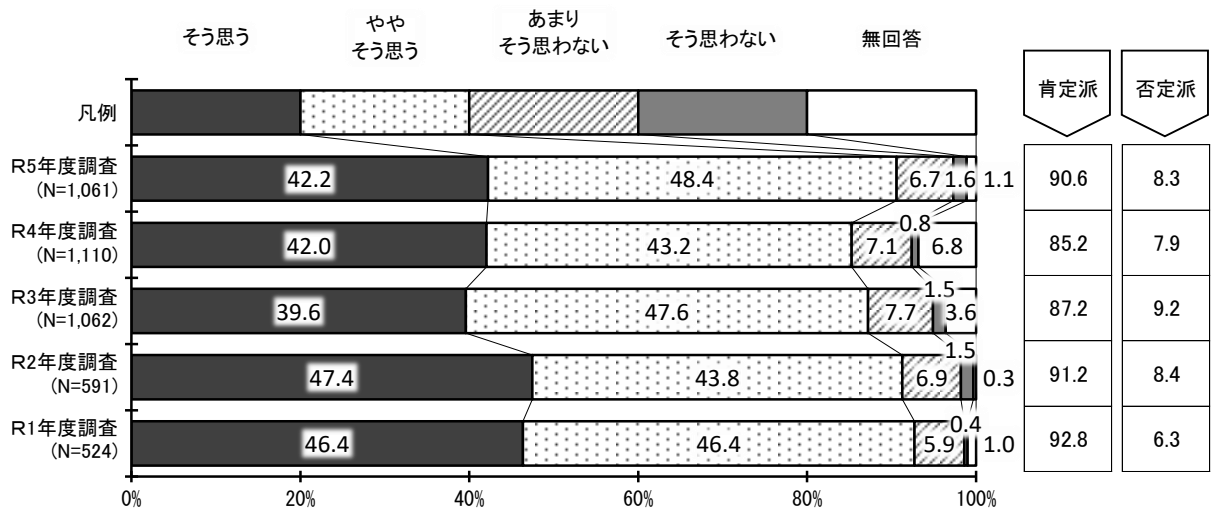
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和4年度調査から5.4ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性（91.8%）の方が、男性（89.9%）より高くなっている。

年代別にみると、いずれも『肯定派』は8割を超えており、40歳代（92.5%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』が8割を超えており、太宰府南小学校区（95.2%）が最も高くなっている。

問 41. あなたは市内の自然は豊かであると感じますか。（○は1つ）



								(%)	
		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全 体		1,061	448	513	71	17	12	961	88
		100.0	42.2	48.4	6.7	1.6	1.1	90.6	8.3
性別	男 性	461	43.0	46.9	6.9	2.2	1.1	89.9	9.1
	女 性	568	42.3	49.5	6.0	1.2	1.1	91.8	7.2
	無回答	32	31.3	50.0	15.6	-	3.1	81.3	15.6
年代別	20歳代	92	40.2	51.1	7.6	-	1.1	91.3	7.6
	30歳代	123	40.7	49.6	4.9	4.1	0.8	90.3	9.0
	40歳代	173	48.0	44.5	5.2	1.7	0.6	92.5	6.9
	50歳代	191	39.8	51.3	7.3	1.6	-	91.1	8.9
	60歳代	191	41.9	49.7	5.2	2.1	1.0	91.6	7.3
	70歳代以上	284	42.6	46.1	8.1	0.7	2.5	88.7	8.8
	無回答	7	14.3	57.1	28.6	-	-	71.4	28.6
小学校区別	太宰府小学校区	132	52.3	40.9	4.5	1.5	0.8	93.2	6.0
	太宰府東小学校区	113	37.2	54.9	5.3	1.8	0.9	92.1	7.1
	太宰府南小学校区	104	44.2	51.0	2.9	-	1.9	95.2	2.9
	水城小学校区	144	43.8	48.6	6.9	-	0.7	92.4	6.9
	水城西小学校区	126	31.7	52.4	11.1	2.4	2.4	84.1	13.5
	太宰府西小学校区	201	41.8	48.8	8.0	1.0	0.5	90.6	9.0
	国分小学校区	150	47.3	46.0	4.7	0.7	1.3	93.3	5.4
	わからない	73	35.6	46.6	9.6	8.2	-	82.2	17.8
	無回答	18	38.9	38.9	11.1	5.6	5.6	77.8	16.7

26. 野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所(問 42)

- 市内で野鳥や昆虫などを「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」は 46.4%となっている。

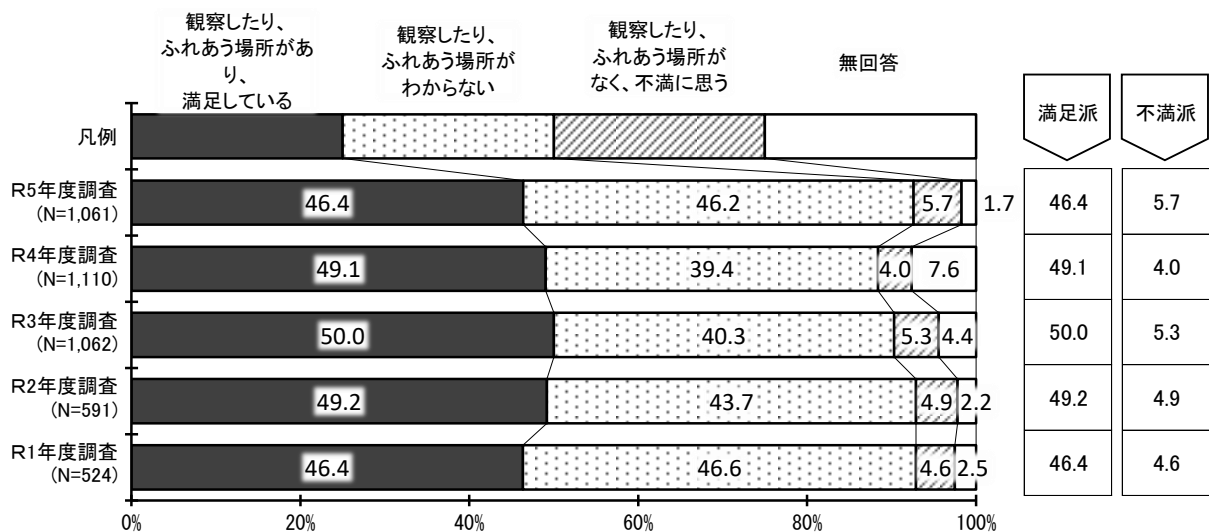
野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所について、『満足派』（「観察したり、ふれあう場所があり、満足している」）は 46.4%となっている。なお、『不満派』（「観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う」）は 5.7%となっている。

性別にみると、『満足派』は女性（48.1%）の方が男性（44.9%）より高くなっている。

年代別にみると、『満足派』は 50 歳代（50.8%）が最も高く、次いで 40 歳代（49.1%）の順となっている。

小学校区別にみると、『満足派』が最も高いのは水城小学校区（53.5%）となっている。

問 42. あなたは市内で、野鳥や昆虫、水辺の生き物等を観察したり、ふれあう場所がありますか。(○は1つ)



		標本数	しがふ観 てあれ察 いり、あし うた、満 場り、足 所	がふ観 われ察 かあし らうた な場り、 い所	にがふ観 思なく、あ うく、あし うた、満 場り、足 所	無 回 答	満 足 派	不 満 派
全 体		1,061	492	490	61	18	492	61
		100.0	46.4	46.2	5.7	1.7	46.4	5.7
性 別	男 性	461	44.9	46.9	6.1	2.2	44.9	6.1
	女 性	568	48.1	45.1	5.5	1.4	48.1	5.5
	無回答	32	37.5	56.3	6.3	-	37.5	6.3
年 代 別	20歳代	92	42.4	53.3	4.3	-	42.4	4.3
	30歳代	123	43.9	48.8	7.3	-	43.9	7.3
	40歳代	173	49.1	45.1	4.0	1.7	49.1	4.0
	50歳代	191	50.8	44.0	5.2	-	50.8	5.2
	60歳代	191	45.0	47.6	5.8	1.6	45.0	5.8
	70歳代以上	284	45.4	43.3	7.0	4.2	45.4	7.0
	無回答	7	28.6	71.4	-	-	28.6	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	52.3	43.9	3.0	0.8	52.3	3.0
	太宰府東小学校区	113	41.6	50.4	6.2	1.8	41.6	6.2
	太宰府南小学校区	104	44.2	47.1	5.8	2.9	44.2	5.8
	水城小学校区	144	53.5	40.3	4.2	2.1	53.5	4.2
	水城西小学校区	126	39.7	47.6	11.1	1.6	39.7	11.1
	太宰府西小学校区	201	48.8	46.8	3.5	1.0	48.8	3.5
	国分小学校区	150	47.3	46.0	4.7	2.0	47.3	4.7
	わからない	73	37.0	50.7	12.3	-	37.0	12.3
	無回答	18	38.9	44.4	5.6	11.1	38.9	5.6

27. 生ごみ堆肥化の取り組み状況(問 43)

- 生ごみ堆肥化の取り組みについて『実践派』は 18.9%で、『非実践派』(79.9%)の方が多い。

生ごみ堆肥化の取り組み状況について、『実践派』(「取り組んでいる」と「ときどき取り組んでいる」の合計)は 18.9%となっている。一方、『非実践派』(「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」の合計)は 79.9%で、『非実践派』が約8割を占め、高くなっている。

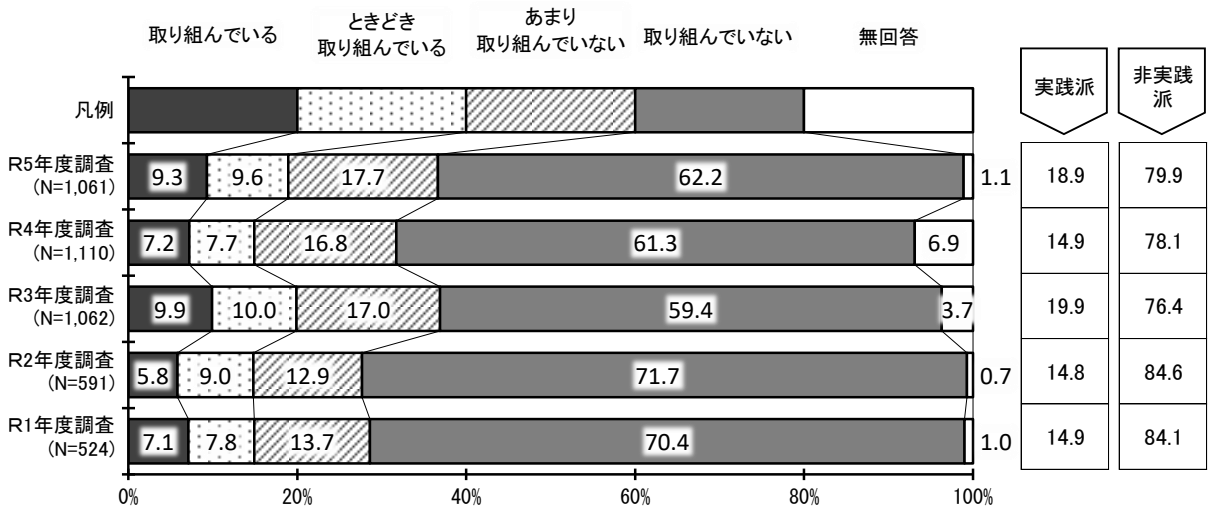
過去の調査結果と比べると、『実践派』は令和4年度調査から4.0ポイント増加している。

性別にみると、『実践派』は女性(19.5%)の方が男性(17.1%)より高くなっている。

年代別にみると、いずれも『非実践派』が7割を超えており、30歳代(87.8%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『実践派』が最も高いのは太宰府南小学校区(23.1%)となっている。一方、『非実践派』が最も高いのは太宰府小学校区(82.6%)となっている。

問 43. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。(○は1つ)



		標本数	で取り組む	で取り組むとき	いりあ組な組いり	で取り組む	無回答	実践派 (%)	非実践派 (%)
全 体		1,061	99	102	188	660	12	201	848
		100.0	9.3	9.6	17.7	62.2	1.1	18.9	79.9
性別	男 性	461	9.3	7.8	17.8	64.0	1.1	17.1	81.8
	女 性	568	8.8	10.7	18.0	61.4	1.1	19.5	79.4
	無回答	32	18.8	15.6	12.5	50.0	3.1	34.4	62.5
年代別	20歳代	92	8.7	15.2	19.6	56.5	-	23.9	76.1
	30歳代	123	7.3	4.9	12.2	75.6	-	12.2	87.8
	40歳代	173	7.5	9.2	20.2	62.4	0.6	16.7	82.6
	50歳代	191	6.8	9.4	16.8	67.0	-	16.2	83.8
	60歳代	191	11.0	5.8	17.8	64.4	1.0	16.8	82.2
	70歳代以上	284	11.6	13.0	18.7	53.5	3.2	24.6	72.2
小学校区別	無回答	7	28.6	-	14.3	57.1	-	28.6	71.4
	太宰府小学校区	132	8.3	8.3	20.5	62.1	0.8	16.6	82.6
	太宰府東小学校区	113	10.6	11.5	17.7	58.4	1.8	22.1	76.1
	太宰府南小学校区	104	7.7	15.4	16.3	58.7	1.9	23.1	75.0
	水城小学校区	144	7.6	12.5	13.9	65.3	0.7	20.1	79.2
	水城西小学校区	126	8.7	7.9	21.4	61.1	0.8	16.6	82.5
	太宰府西小学校区	201	11.9	6.5	19.4	60.7	1.5	18.4	80.1
	国分小学校区	150	10.7	9.3	17.3	62.0	0.7	20.0	79.3
	わからない	73	2.7	9.6	13.7	74.0	-	12.3	87.7
無回答		18	22.2	-	11.1	61.1	5.6	22.2	72.2

28. 不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況(問 44)

- 不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況について『利用している派』は 89.9%、『利用していない派』は 9.7%となっている。

不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況について、『利用している派』（「いつも利用している」と「たまに利用している」の合計）は 89.9%となっている。一方、『利用していない派』は 9.7%で『利用している派』が約 9 割を占め、高くなっている。

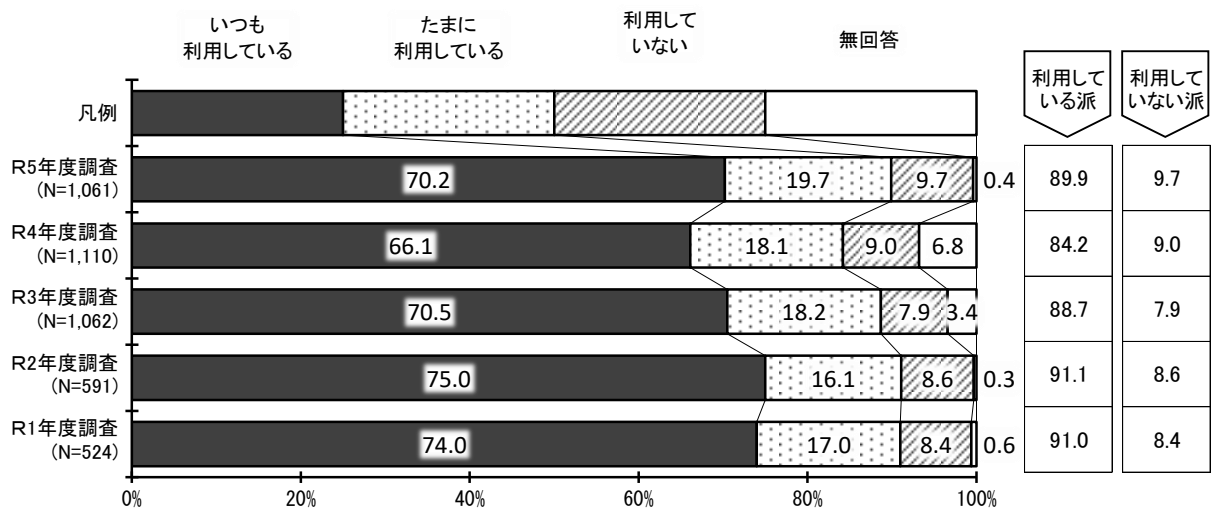
過去調査結果と比較すると、『利用派』は令和 4 年度調査から 5.7 ポイント増加している。

性別にみると、『利用している派』は、女性（91.7%）の方が男性（87.8%）より高くなっている。

年代別にみると、『利用している派』が最も高いのは、70 歳代以上（93.7%）となっている。

小学校区別にみると、『利用している派』が最も高いのは、太宰府西小学校区（97.0%）となっている。

問 44. あなたは、不要な紙類（新聞紙・雑誌及び雑紙・ダンボール）及び古布の資源回収を利用していますか。（○は1つ）



		標本数	いつも利用している (%)	たまに利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)	利用している派 (%)	利用していない派 (%)
全 体		1,061	74.5	20.9	10.3	4	95.4	10.3
		100.0	70.2	19.7	9.7	0.4	89.9	9.7
性別	男 性	461	67.0	20.8	11.7	0.4	87.8	11.7
	女 性	568	72.9	18.8	7.9	0.4	91.7	7.9
	無回答	32	68.8	18.8	12.5	-	87.6	12.5
年代別	20歳代	92	53.3	31.5	15.2	-	84.8	15.2
	30歳代	123	53.7	26.8	19.5	-	80.5	19.5
	40歳代	173	67.6	24.3	7.5	0.6	91.9	7.5
	50歳代	191	70.2	22.5	7.3	-	92.7	7.3
	60歳代	191	72.3	16.2	10.5	1.0	88.5	10.5
	70歳代以上	284	83.1	10.6	6.0	0.4	93.7	6.0
	無回答	7	71.4	14.3	14.3	-	85.7	14.3
小学校区別	太宰府小学校区	132	65.2	24.2	9.8	0.8	89.4	9.8
	太宰府東小学校区	113	76.1	16.8	7.1	-	92.9	7.1
	太宰府南小学校区	104	74.0	20.2	5.8	-	94.2	5.8
	水城小学校区	144	65.3	20.8	13.2	0.7	86.1	13.2
	水城西小学校区	126	69.8	20.6	7.9	1.6	90.4	7.9
	太宰府西小学校区	201	79.6	17.4	3.0	-	97.0	3.0
	国分小学校区	150	71.3	15.3	13.3	-	86.6	13.3
	わからない	73	46.6	26.0	27.4	-	72.6	27.4
無回答		18	72.2	22.2	5.6	-	94.4	5.6

29. 省エネルギー・省資源の活動状況(問 45)

● 省エネルギー・省資源の活動について『実践派』は 91.5%、『非実践派』は 8.1%となっている。

省エネルギー・省資源の活動状況（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）について、『実践派』（「行っている」と「ある程度行っている」）の合計は 91.5%となっている。一方、『非実践派』（「ほとんど行っていない」と「あまり行っていない」の合計）は 8.1%で、『実践派』が 9 割以上を占め、高くなっている。

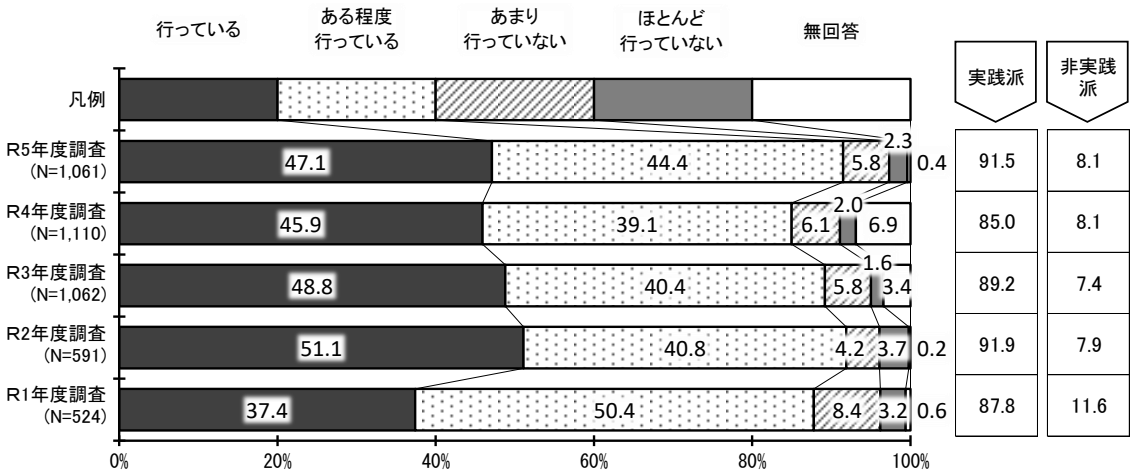
過去の調査結果と比べると、『実践派』は令和 4 年度調査から 6.5 ポイント増加している。

性別にみると、『実践派』は女性（94.7%）の方が男性（87.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『実践派』が 40 歳代以上で 9 割以上となっている。

小学校区別にみると、『実践派』が最も高いのは、太宰府南小学校区（94.3%）となっている。

問 45. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。（○は1つ）



								(%)	
		標本数	行っている	ある程度行っている	行っていない	ほとんど行っていない	無回答	実践派	非実践派
全 体		1,061	500	471	62	24	4	971	86
		100.0	47.1	44.4	5.8	2.3	0.4	91.5	8.1
性別	男 性	461	42.3	45.3	8.5	3.5	0.4	87.6	12.0
	女 性	568	51.2	43.5	3.7	1.2	0.4	94.7	4.9
	無回答	32	43.8	46.9	6.3	3.1	-	90.7	9.4
年代別	20歳代	92	41.3	46.7	8.7	3.3	-	88.0	12.0
	30歳代	123	34.1	46.3	12.2	7.3	-	80.4	19.5
	40歳代	173	43.9	49.1	4.0	2.3	0.6	93.0	6.3
	50歳代	191	42.9	49.2	5.2	2.1	0.5	92.1	7.3
	60歳代	191	51.3	42.4	4.7	1.0	0.5	93.7	5.7
	70歳代以上	284	56.3	38.4	4.2	0.7	0.4	94.7	4.9
	無回答	7	57.1	28.6	14.3	-	-	85.7	14.3
小学校区別	太宰府小学校区	132	43.2	47.0	5.3	3.8	0.8	90.2	9.1
	太宰府東小学校区	113	46.0	45.1	7.1	1.8	-	91.1	8.9
	太宰府南小学校区	104	51.0	43.3	4.8	1.0	-	94.3	5.8
	水城小学校区	144	46.5	44.4	5.6	2.1	1.4	90.9	7.7
	水城西小学校区	126	42.9	49.2	5.6	1.6	0.8	92.1	7.2
	太宰府西小学校区	201	50.7	43.3	5.5	0.5	-	94.0	6.0
	国分小学校区	150	48.7	42.0	6.7	2.7	-	90.7	9.4
	わからない	73	41.1	43.8	6.8	8.2	-	84.9	15.0
	無回答	18	66.7	27.8	5.6	-	-	94.5	5.6

30. 環境に関する学習会等の参加状況(問 46)

- 環境に関する学習会や講習会に参加したことがある人は 11.9%となっている。

環境に関する学習会等の参加状況について、『参加率』（「年に2回以上参加した」と「年に1回程度は参加した」の合計）は 11.9%となっている。一方、「参加したことはない」は 87.5%で、8割以上を占め、高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『参加率』は令和4年度調査より 2.1ポイント増加している。

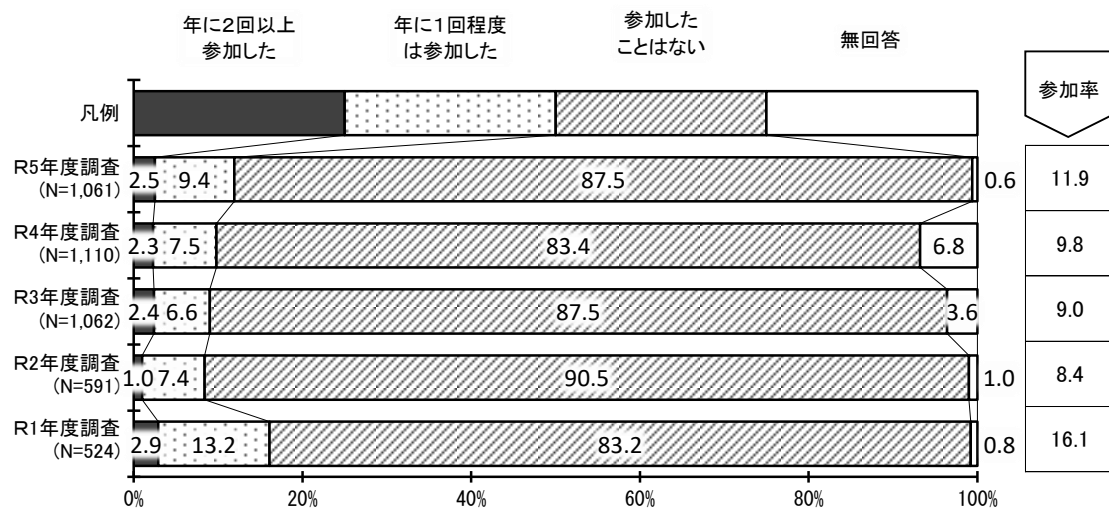
性別にみると、『参加率』は、女性（12.9%）の方が男性（11.2%）よりも高くなっている。

年代別にみると、『参加率』が最も高いのは、70歳代以上（14.8%）となっている。

小学校区別にみると、『参加率』が最も高いのは、太宰府小学校区（18.9%）となっている。

一方、『参加率』が最も低いのは、太宰府東小学校区と太宰府南小学校区（同率 9.7%）となっている。

問 46. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会、イベントに参加したことがありますか。（○は1つ）



		標本数	上年に 参加した 回数	今年に 参加した 回数	と参加 したこ と	無回答	参加率 (%)
全 体		1,061	27	100	928	6	127
		100.0	2.5	9.4	87.5	0.6	11.9
性別	男 性	461	3.0	8.2	88.1	0.7	11.2
	女 性	568	2.3	10.6	86.6	0.5	12.9
	無回答	32	-	6.3	93.8	-	6.3
年代別	20歳代	92	3.3	6.5	90.2	-	9.8
	30歳代	123	0.8	9.8	89.4	-	10.6
	40歳代	173	2.9	8.7	87.3	1.2	11.6
	50歳代	191	2.1	8.9	89.0	-	11.0
	60歳代	191	2.1	9.4	87.4	1.0	11.5
	70歳代以上	284	3.5	11.3	84.5	0.7	14.8
	無回答	7	-	-	100.0	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	132	4.5	14.4	80.3	0.8	18.9
	太宰府東小学校区	113	0.9	8.8	90.3	-	9.7
	太宰府南小学校区	104	1.0	8.7	90.4	-	9.7
	水城小学校区	144	2.8	11.1	84.0	2.1	13.9
	水城西小学校区	126	2.4	7.9	88.9	0.8	10.3
	太宰府西小学校区	201	3.0	10.9	86.1	-	13.9
	国分小学校区	150	2.7	7.3	90.0	-	10.0
	わからない	73	1.4	2.7	95.9	-	4.1
	無回答	18	5.6	5.6	83.3	5.6	11.2

31. 市内の歴史的景観の美しさに対する評価(問 47)

● 歴史的な景観が美しいと感じている人は91.1%となっている。

市内の歴史的な景観の美しさに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は91.1%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は7.9%で、『肯定派』が9割以上を占め、高くなっている。

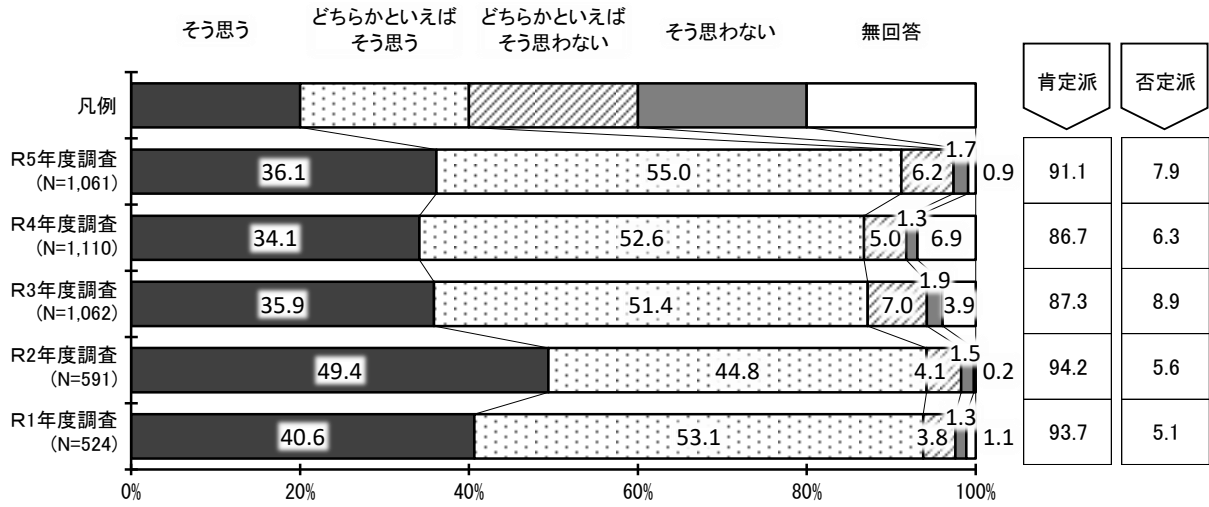
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和4年度調査より4.4ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性（92.2%）の方が男性（90.1%）より高くなっている。

年代別にみると、60歳代を除くすべての世代で『肯定派』が9割を超えている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは、国分小学校区（94.0%）となっている。

問 47. あなたは市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。（○は1つ）



		標 本 数	そ う 思 う	思 い ど う え ち ら か と い え ば そ う 思 う	思 い ど う え ち ら か と い え ば そ う 思 わ な い	い そ う 思 わ な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		1,061 100.0	383 36.1	584 55.0	66 6.2	18 1.7	10 0.9	967 91.1	84 7.9
性 別	男 性	461	32.8	57.3	6.7	2.6	0.7	90.1	9.3
	女 性	568	39.6	52.6	5.5	1.1	1.2	92.2	6.6
	無回答	32	21.9	65.6	12.5	-	-	87.5	12.5
年 代 別	20歳代	92	48.9	41.3	6.5	3.3	-	90.2	9.8
	30歳代	123	30.1	60.2	8.1	1.6	-	90.3	9.7
	40歳代	173	42.8	50.9	4.6	1.2	0.6	93.7	5.8
	50歳代	191	35.6	57.1	4.2	3.1	-	92.7	7.3
	60歳代	191	34.0	55.5	7.9	1.6	1.0	89.5	9.5
	70歳代以上	284	32.4	58.8	5.6	0.7	2.5	91.2	6.3
	無回答	7	28.6	28.6	42.9	-	-	57.2	42.9
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	40.2	49.2	7.6	2.3	0.8	89.4	9.9
	太宰府東小学校区	113	31.0	58.4	8.0	1.8	0.9	89.4	9.8
	太宰府南小学校区	104	40.4	52.9	6.7	-	-	93.3	6.7
	水城小学校区	144	36.8	55.6	6.3	0.7	0.7	92.4	7.0
	水城西小学校区	126	34.9	55.6	4.0	3.2	2.4	90.5	7.2
	太宰府西小学校区	201	36.3	55.2	6.5	0.5	1.5	91.5	7.0
	国分小学校区	150	36.7	57.3	3.3	2.7	-	94.0	6.0
	わからない	73	31.5	57.5	6.8	4.1	-	89.0	10.9
無回答		18	27.8	50.0	16.7	-	5.6	77.8	16.7

32. 居住地区のまちなみに対する評価(問 48)

- 住んでいる地区のまちなみが良好だと思う人は 86.6%となっている。

居住地区のまちなみに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 86.6%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 12.7%で、『肯定派』が 8 割以上を占め、高くなっている。

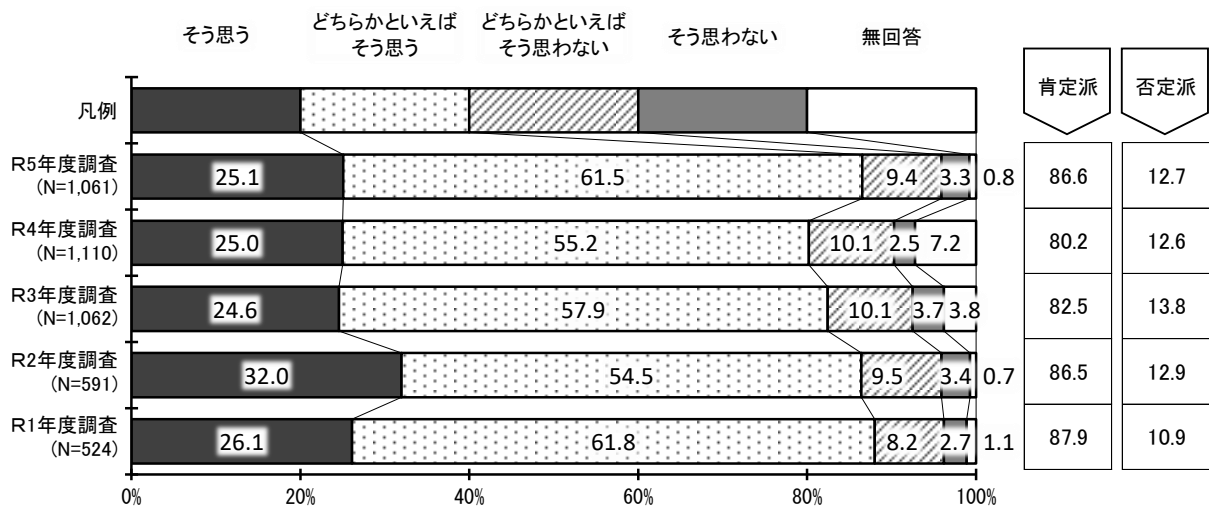
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和 4 年度調査から 6.4 ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は女性が 86.6%、男性が 86.3%と、男女に大きな差はない。

年代別にみると、『肯定派』は 20 歳代（88.1%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で 8 割を超えた割合となっている。また、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区（91.0%）となっている。

問 48. あなたがお住まいの地域は、良好なまちなみだと思いますか。（○は 1 つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全 体		1,061	266	652	100	35	8	918	135
		100.0	25.1	61.5	9.4	3.3	0.8	86.6	12.7
性別	男 性	461	24.5	61.8	9.5	3.7	0.4	86.3	13.2
	女 性	568	25.9	60.7	9.3	3.0	1.1	86.6	12.3
	無回答	32	18.8	68.8	9.4	3.1	-	87.6	12.5
年代別	20歳代	92	37.0	51.1	9.8	2.2	-	88.1	12.0
	30歳代	123	21.1	64.2	6.5	8.1	-	85.3	14.6
	40歳代	173	31.2	53.8	11.6	2.9	0.6	85.0	14.5
	50歳代	191	24.1	60.7	11.0	4.2	-	84.8	15.2
	60歳代	191	18.8	68.6	8.4	3.1	1.0	87.4	11.5
	70歳代以上	284	23.9	64.1	9.2	1.1	1.8	88.0	10.3
	無回答	7	28.6	57.1	-	14.3	-	85.7	14.3
小学校区別	太宰府小学校区	132	25.0	56.1	9.1	9.1	0.8	81.1	18.2
	太宰府東小学校区	113	21.2	65.5	10.6	1.8	0.9	86.7	12.4
	太宰府南小学校区	104	24.0	66.3	4.8	3.8	1.0	90.3	8.6
	水城小学校区	144	20.8	67.4	9.7	1.4	0.7	88.2	11.1
	水城西小学校区	126	31.7	53.2	10.3	3.2	1.6	84.9	13.5
	太宰府西小学校区	201	31.3	59.7	7.5	1.0	0.5	91.0	8.5
	国分小学校区	150	19.3	68.0	10.7	2.0	-	87.3	12.7
	わからない	73	19.2	56.2	17.8	6.8	-	75.4	24.6
	無回答	18	44.4	44.4	-	5.6	5.6	88.8	5.6

33. 住環境の快適さに対する評価(問 49)

● 都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人は 74.8%となっている。

住環境の快適さに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 74.8%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 24.2%で、『肯定派』が 7 割以上を占め、高くなっている。

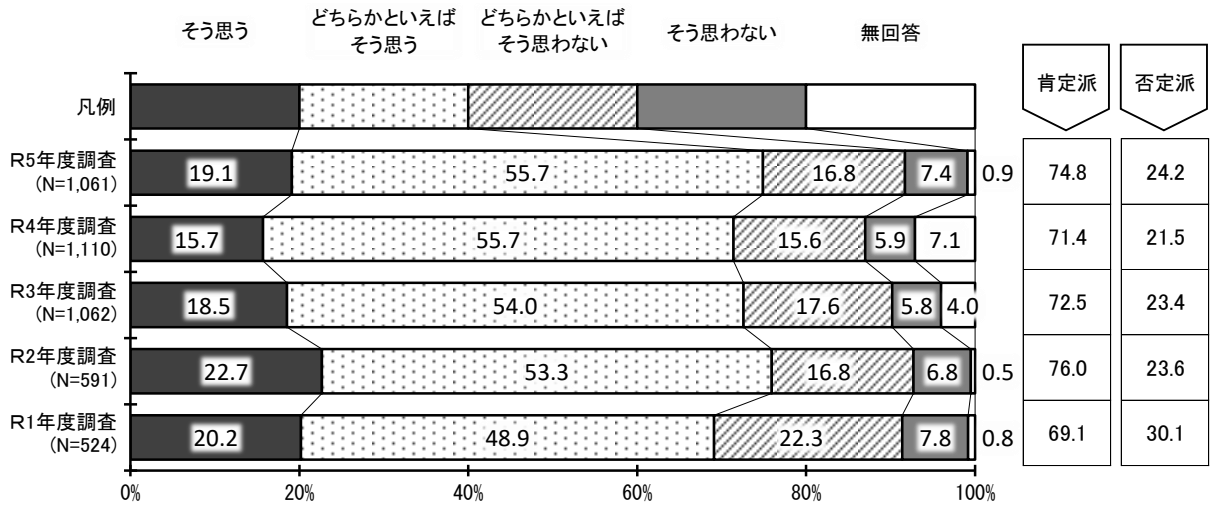
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和 4 年度調査から 3.4 ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は、男性が 74.6%、女性が 74.8%と、男女に大きな差はない。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは 70 歳代以上（80.6%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは 30 歳代（30.1%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区（86.1%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府小学校区（35.6%）となっている。

問 49. あなたのお住まいの地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。（○は 1 つ）



		標本数	そう思う	思いど うえち ばら そうと	思いど わえち なばら いそと	いそ 思わ な	無 回 答	肯定 派	否定 派
全 体		1,061	203	591	178	79	10	794	257
		100.0	19.1	55.7	16.8	7.4	0.9	74.8	24.2
性 別	男 性	461	18.0	56.6	14.8	9.3	1.3	74.6	24.1
	女 性	568	20.2	54.6	18.7	5.8	0.7	74.8	24.5
	無回答	32	15.6	62.5	12.5	9.4	-	78.1	21.9
年 代 別	20歳代	92	28.3	44.6	22.8	4.3	-	72.9	27.1
	30歳代	123	19.5	49.6	19.5	10.6	0.8	69.1	30.1
	40歳代	173	16.8	60.1	13.3	8.7	1.2	76.9	22.0
	50歳代	191	17.8	54.5	17.3	10.5	-	72.3	27.8
	60歳代	191	13.1	58.6	21.5	6.3	0.5	71.7	27.8
	70歳代以上	284	22.5	58.1	12.3	4.9	2.1	80.6	17.2
	無回答	7	14.3	57.1	14.3	14.3	-	71.4	28.6
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	14.4	48.5	25.8	9.8	1.5	62.9	35.6
	太宰府東小学校区	113	15.0	58.4	18.6	7.1	0.9	73.4	25.7
	太宰府南小学校区	104	18.3	55.8	20.2	4.8	1.0	74.1	25.0
	水城小学校区	144	16.0	58.3	14.6	9.7	1.4	74.3	24.3
	水城西小学校区	126	22.2	54.0	13.5	8.7	1.6	76.2	22.2
	太宰府西小学校区	201	29.9	56.2	8.5	5.5	-	86.1	14.0
	国分小学校区	150	16.0	57.3	19.3	6.7	0.7	73.3	26.0
	わからない	73	11.0	57.5	21.9	8.2	1.4	68.5	30.1
	無回答	18	27.8	55.6	11.1	5.6	-	83.4	16.7

34. 商業施設等の利便性に対する評価(問 50)

- 商業施設等が周辺にあり、生活をするうえで便利と感じている人は72.6%となっている。

商業施設等の利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は72.6%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は26.8%で、『肯定派』の方が『否定派』を大きく上回っている。

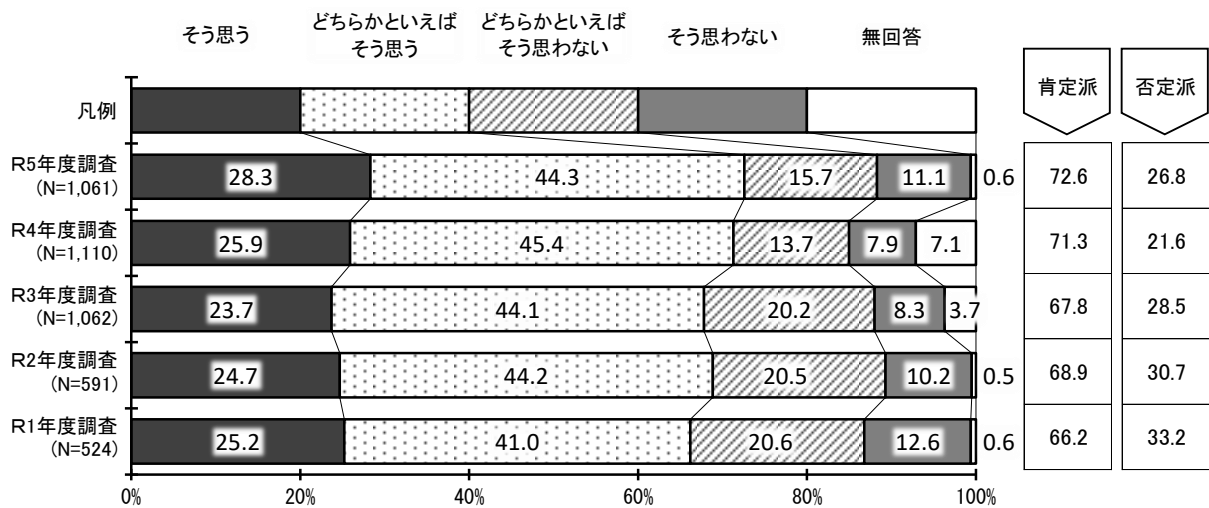
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和4年度調査から1.3ポイント増加し、過去5年間で最も高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は男性（73.1%）の方が女性（72.2%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は20歳代（76.1%）が最も高く、次いで70歳代以上（74.3%）の順となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、水城西小学校区（86.5%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が高いのは国分小学校区（38.6%）、太宰府小学校区（37.1%）となっている。

問 50. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	思いど うえち ばら そうと	思いど わえち なばら いそうと	いそ う 思 わ な	無 回 答	肯定 派	否定 派
全 体		1,061	300	470	167	118	6	770	285
		100.0	28.3	44.3	15.7	11.1	0.6	72.6	26.8
性 別	男 性	461	29.1	44.0	16.5	10.0	0.4	73.1	26.5
	女 性	568	28.0	44.2	15.3	11.8	0.7	72.2	27.1
	無回答	32	21.9	50.0	12.5	15.6	-	71.9	28.1
年 代 別	20歳代	92	39.1	37.0	14.1	9.8	-	76.1	23.9
	30歳代	123	26.8	44.7	15.4	13.0	-	71.5	28.4
	40歳代	173	30.1	41.6	15.6	11.6	1.2	71.7	27.2
	50歳代	191	26.7	46.1	13.1	14.1	-	72.8	27.2
	60歳代	191	23.6	46.1	19.9	9.9	0.5	69.7	29.8
	70歳代以上	284	28.5	45.8	15.5	9.2	1.1	74.3	24.7
	無回答	7	28.6	42.9	14.3	14.3	-	71.5	28.6
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	27.3	34.8	18.9	18.2	0.8	62.1	37.1
	太宰府東小学校区	113	17.7	48.7	16.8	15.9	0.9	66.4	32.7
	太宰府南小学校区	104	18.3	46.2	19.2	16.3	-	64.5	35.5
	水城小学校区	144	27.8	50.0	16.0	5.6	0.7	77.8	21.6
	水城西小学校区	126	41.3	45.2	5.6	7.1	0.8	86.5	12.7
	太宰府西小学校区	201	43.8	40.3	11.4	3.5	1.0	84.1	14.9
	国分小学校区	150	14.7	46.7	23.3	15.3	-	61.4	38.6
	わからない	73	20.5	46.6	17.8	15.1	-	67.1	32.9
無回答		18	44.4	38.9	11.1	5.6	-	83.3	16.7

35. 市内のバスの利便性に対する評価(問 51)

- バスの利便性について『肯定派』は40.9%、『否定派』は30.0%となっている。

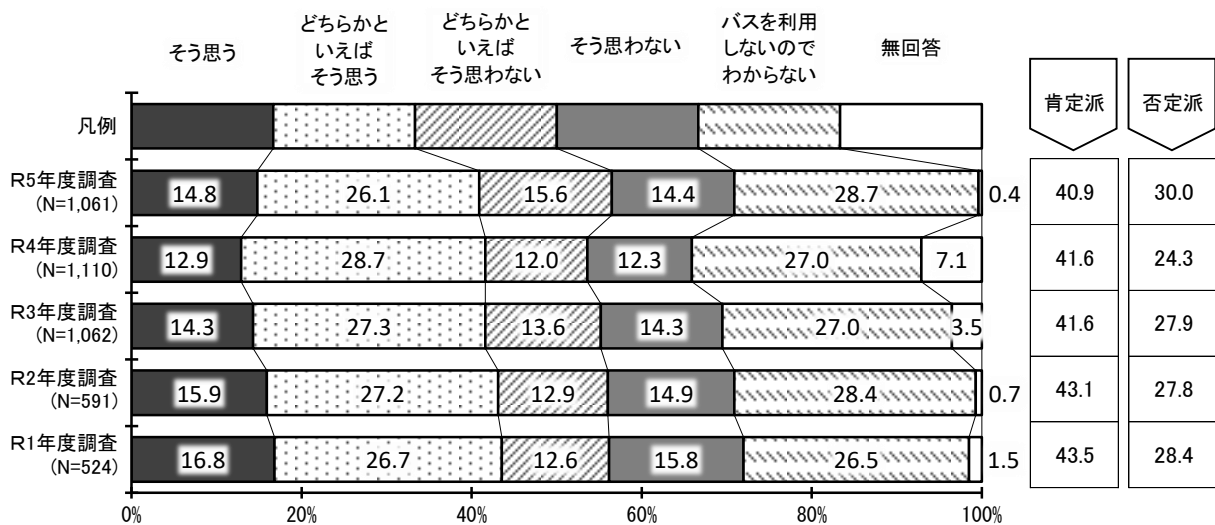
市内のバスの利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は40.9%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は30.0%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。なお、「バスを利用しないのでわからない」は28.7%となっている。

性別にみると、『肯定派』は男性（41.4%）の方が女性（39.9%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは、20歳代（50.0%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、太宰府西小学校区（49.8%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府南小学校区（49.1%）となっている。

問 51. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。（○は1つ）



									(%)	
		標 本 数	そ う 思 う	え ど ち ら か と う い	な え ど ち ら か と わ い	そ う 思 わ な い	ら な い の を 利 用 か し	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		1,061 100.0	157 14.8	277 26.1	165 15.6	153 14.4	305 28.7	4 0.4	434 40.9	318 30.0
性 別	男 性	461	15.6	25.8	13.9	15.4	28.6	0.7	41.4	29.3
	女 性	568	13.7	26.2	16.7	13.7	29.4	0.2	39.9	30.4
	無回答	32	21.9	28.1	18.8	12.5	18.8	-	50.0	31.3
年 代 別	20歳代	92	31.5	18.5	14.1	9.8	26.1	-	50.0	23.9
	30歳代	123	13.0	24.4	11.4	13.8	37.4	-	37.4	25.2
	40歳代	173	11.0	28.9	17.3	16.8	25.4	0.6	39.9	34.1
	50歳代	191	11.5	24.6	19.9	17.3	26.7	-	36.1	37.2
	60歳代	191	14.7	23.6	17.8	10.5	33.0	0.5	38.3	28.3
	70歳代以上	284	15.1	29.9	12.3	15.1	26.8	0.7	45.0	27.4
	無回答	7	-	42.9	14.3	28.6	14.3	-	42.9	42.9
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	17.4	25.0	15.2	10.6	31.1	0.8	42.4	25.8
	太宰府東小学校区	113	8.8	29.2	18.6	15.9	27.4	-	38.0	34.5
	太宰府南小学校区	104	11.5	20.2	23.1	26.0	19.2	-	31.7	49.1
	水城小学校区	144	16.0	25.7	9.7	6.9	40.3	1.4	41.7	16.6
	水城西小学校区	126	11.1	30.2	10.3	18.3	29.4	0.8	41.3	28.6
	太宰府西小学校区	201	20.4	29.4	16.9	10.4	22.9	-	49.8	27.3
	国分小学校区	150	12.7	23.3	20.7	16.0	27.3	-	36.0	36.7
	わからない	73	13.7	21.9	8.2	17.8	38.4	-	35.6	26.0
無回答	18	27.8	27.8	11.1	16.7	16.7	-	55.6	27.8	

36. コミュニティバスの利用頻度(問 52)

● コミュニティバスの『週1回以上の利用率』は4.1%となっている。

コミュニティバスの利用頻度について、『週1回以上の利用率』（「週5日以上」と「週3～4日」、「週1～2日」の合計）は4.1%となっている。

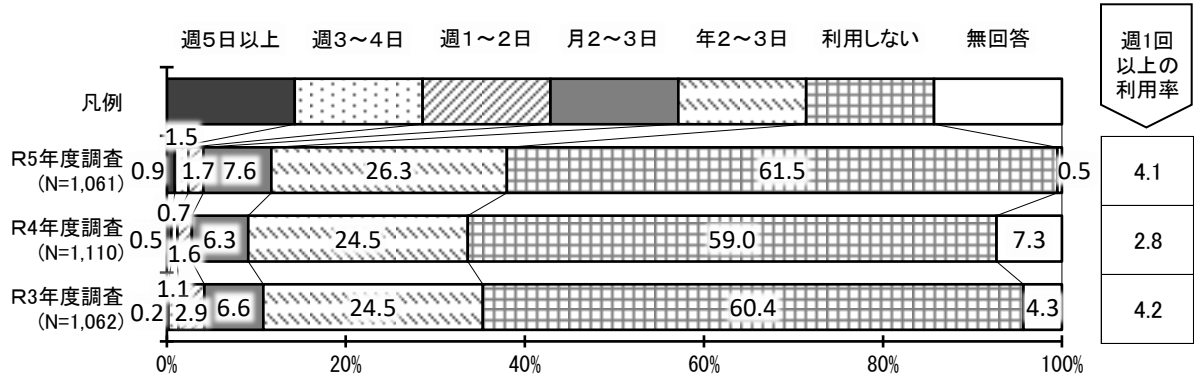
性別にみると、『週1回以上の利用率』は女性（4.5%）の方が男性（3.1%）より高くなっている。

過去調査結果と比較すると、『週1回以上の利用率』は令和4年度調査から1.3ポイント増加している。

年代別にみると、『週1回以上の利用率』は70歳代以上（5.3%）が最も高く、次いで20歳代（4.4%）、40歳代（4.0%）の順となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の利用率』が最も高いのは太宰府小学校区（7.6%）となっている。

問 52. 市内のバスの中でコミュニティバス「まほろば号」についておたずねします。あなたはまほろば号をどの程度の頻度で利用しますか。（〇は1つ）



		(%)							
		標本数	週5日以上	週3～4日	週1～2日	月2～3日	年2～3日	利用しない	無回答
全 体		1,061	10	16	18	81	279	652	5
		100.0	0.9	1.5	1.7	7.6	26.3	61.5	0.5
性別	男 性	461	1.1	0.9	1.1	5.6	26.7	64.0	0.7
	女 性	568	0.7	1.9	1.9	9.3	26.6	59.2	0.4
	無回答	32	3.1	3.1	6.3	6.3	15.6	65.6	-
年代別	20歳代	92	1.1	3.3	-	5.4	28.3	62.0	-
	30歳代	123	0.8	0.8	1.6	1.6	17.9	77.2	-
	40歳代	173	2.3	-	1.7	2.3	27.2	65.9	0.6
	50歳代	191	1.0	1.6	0.5	7.3	30.9	58.6	-
	60歳代	191	0.5	-	2.6	7.9	26.2	61.8	1.0
	70歳代以上	284	-	3.2	2.1	14.4	26.1	53.5	0.7
	無回答	7	14.3	-	14.3	-	14.3	57.1	-
小学校区別	太宰府小学校区	132	1.5	3.8	2.3	6.1	29.5	56.1	0.8
	太宰府東小学校区	113	0.9	1.8	-	8.0	15.0	74.3	-
	太宰府南小学校区	104	-	1.0	1.9	1.9	18.3	76.9	-
	水城小学校区	144	0.7	1.4	2.1	4.2	25.7	64.6	1.4
	水城西小学校区	126	-	0.8	0.8	10.3	17.5	69.8	0.8
	太宰府西小学校区	201	1.5	1.5	2.0	12.4	37.8	44.8	-
	国分小学校区	150	1.3	0.7	1.3	8.7	28.7	58.7	0.7
	わからない	73	-	-	1.4	5.5	30.1	63.0	-
	無回答	18	5.6	5.6	11.1	5.6	22.2	50.0	-

37. コミュニティバスの運賃や利便性に対する評価(問 53)

- コミュニティバスの運賃や利便性について現行のままで良いと思っている人は 35.9%となっている。

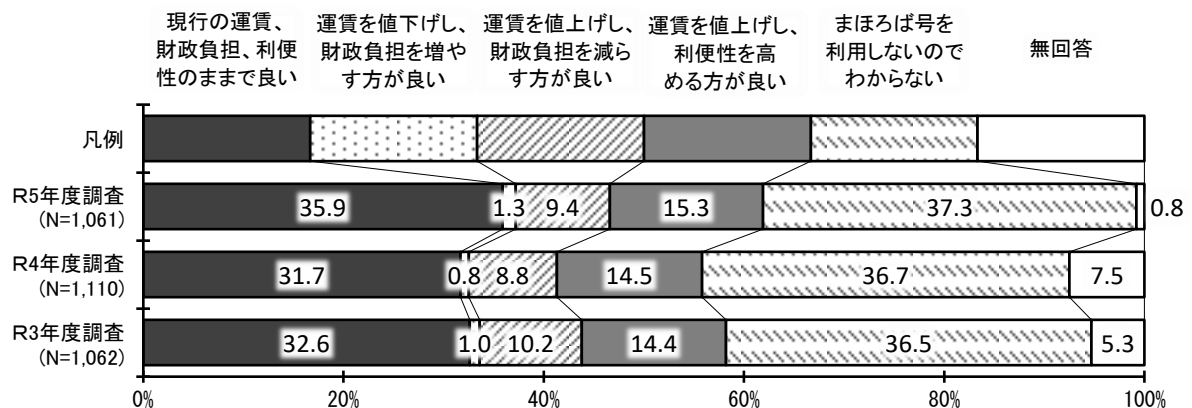
コミュニティバスの運賃や利便性について、「まほろば号を利用しないのでわからない」(37.3%)が最も高く、次いで「現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い」(35.9%)、「運賃を値上げし、利便性を高める方が良い」(15.3%)の順となっている。

性別にみると、「現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い」は、男性が 36.0%、女性が 35.7%と、男女に大きな差はない。

年代別にみると、「現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い」は 20 歳代 (40.2%) が最も高く、次いで 30 歳代 (38.2%) の順となっている。

小学校区別にみると、「現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い」は太宰府東小学校区 (20.4%) が他の小学校区と比べて低くなっている。

問 53. まほろば号は運行費用を運賃収入（年間約5千万円）と本市の財政負担（年間約1億5千万円）で運行しており、一律運賃 100 円でご利用いただいています。あなたは運賃や利便性についてどのように思いますか。（〇は1つ）



		標本数	まほろば号の利便性、財政負担	運賃を下げ、財政負担を増やす	運賃を上げ、財政負担を減らす	運賃を上げ、利便性を高める	まほろば号を利用しないのでわからない	無回答
全 体		1,061	381	14	100	162	396	8
		100.0	35.9	1.3	9.4	15.3	37.3	0.8
性別	男 性	461	36.0	1.3	9.8	13.4	38.6	0.9
	女 性	568	35.7	1.2	8.8	17.1	36.4	0.7
	無回答	32	37.5	3.1	15.6	9.4	34.4	-
年代別	20歳代	92	40.2	2.2	13.0	13.0	31.5	-
	30歳代	123	38.2	1.6	14.6	6.5	39.0	-
	40歳代	173	33.5	1.2	12.7	19.1	32.9	0.6
	50歳代	191	37.2	1.6	7.3	18.3	35.1	0.5
	60歳代	191	33.0	0.5	7.9	13.1	44.5	1.0
	70歳代以上	284	36.3	1.4	6.7	16.5	37.7	1.4
	無回答	7	28.6	-	-	28.6	42.9	-
小学校区別	太宰府小学校区	132	43.9	1.5	9.8	13.6	30.3	0.8
	太宰府東小学校区	113	20.4	1.8	13.3	15.9	48.7	-
	太宰府南小学校区	104	29.8	-	4.8	23.1	42.3	-
	水城小学校区	144	34.0	0.7	12.5	9.7	41.7	1.4
	水城西小学校区	126	37.3	3.2	10.3	13.5	33.3	2.4
	太宰府西小学校区	201	43.3	1.0	10.0	16.4	28.9	0.5
	国分小学校区	150	38.7	1.3	5.3	16.7	37.3	0.7
	わからない	73	32.9	1.4	9.6	11.0	45.2	-
	無回答	18	22.2	-	5.6	27.8	44.4	-

38. 市内の鉄道の利便性に対する評価(問 54)

- 鉄道の利便性について『肯定派』は68.5%、『否定派』は19.3%となっている。

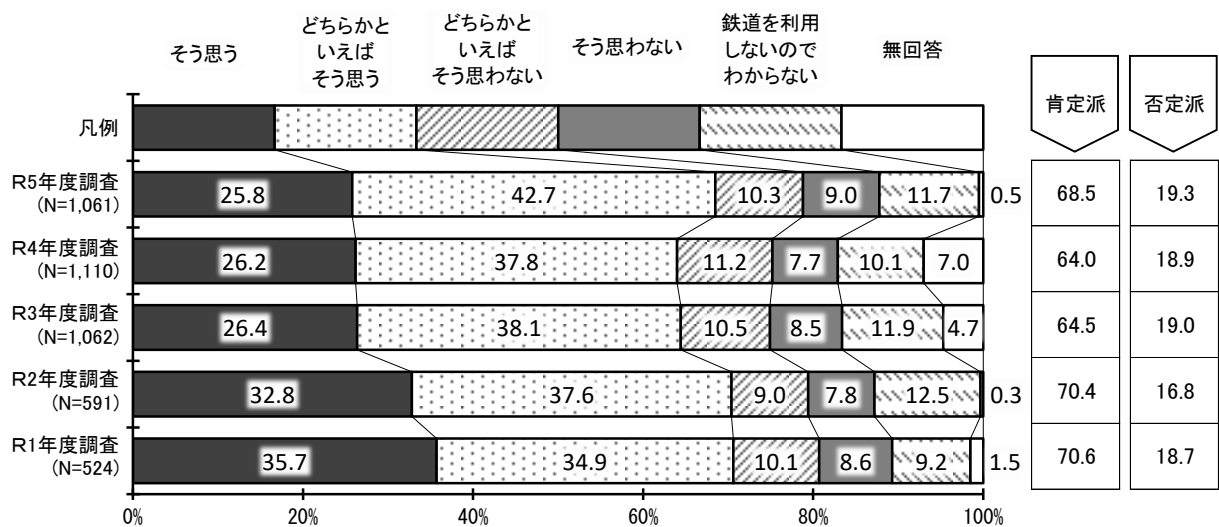
市内の鉄道に対する利便性について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は68.5%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は19.3%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は女性（69.5%）の方が男性（66.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは40歳代（75.1%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは水城西小学校区（86.5%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府西小学校区（33.3%）となっており、次いで、太宰府南小学校区（25.0%）の順になっている。

問 54. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	鉄道を利用しないのでわからない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全 体		1,061	274	453	109	96	124	5	727	205
			100.0	25.8	42.7	10.3	9.0	0.5	68.5	19.3
性別	男 性	461	24.1	42.5	10.8	10.8	10.8	0.9	66.6	21.6
	女 性	568	27.1	42.4	10.4	7.7	12.1	0.2	69.5	18.1
	無回答	32	28.1	50.0	-	6.3	15.6	-	78.1	6.3
年代別	20歳代	92	40.2	34.8	12.0	7.6	5.4	-	75.0	19.6
	30歳代	123	30.9	43.1	7.3	6.5	12.2	-	74.0	13.8
	40歳代	173	28.3	46.8	10.4	6.4	7.5	0.6	75.1	16.8
	50歳代	191	23.6	44.0	16.2	11.5	4.7	-	67.6	27.7
	60歳代	191	22.5	47.6	7.9	8.4	13.1	0.5	70.1	16.3
	70歳代以上	284	21.1	38.0	8.8	10.9	20.1	1.1	59.1	19.7
	無回答	7	28.6	57.1	-	14.3	-	-	85.7	14.3
小学校区別	太宰府小学校区	132	36.4	40.9	4.5	6.8	9.8	1.5	77.3	11.3
	太宰府東小学校区	113	23.0	51.3	8.8	7.1	9.7	-	74.3	15.9
	太宰府南小学校区	104	14.4	37.5	11.5	13.5	23.1	-	51.9	25.0
	水城西小学校区	144	41.0	45.1	4.2	2.1	6.3	1.4	86.1	6.3
	水城西小学校区	126	37.3	49.2	5.6	3.2	4.0	0.8	86.5	8.8
	太宰府西小学校区	201	17.4	36.8	18.4	14.9	12.4	-	54.2	33.3
	国分小学校区	150	12.0	47.3	13.3	9.3	18.0	-	59.3	22.6
	わからない	73	27.4	31.5	13.7	17.8	9.6	-	58.9	31.5
	無回答	18	33.3	38.9	5.6	5.6	16.7	-	72.2	11.2

39. 市内の道路の円滑性に対する評価(問 55)

- 道路の円滑性について『肯定派』が52.4%で、『否定派』(42.5%)より高い。

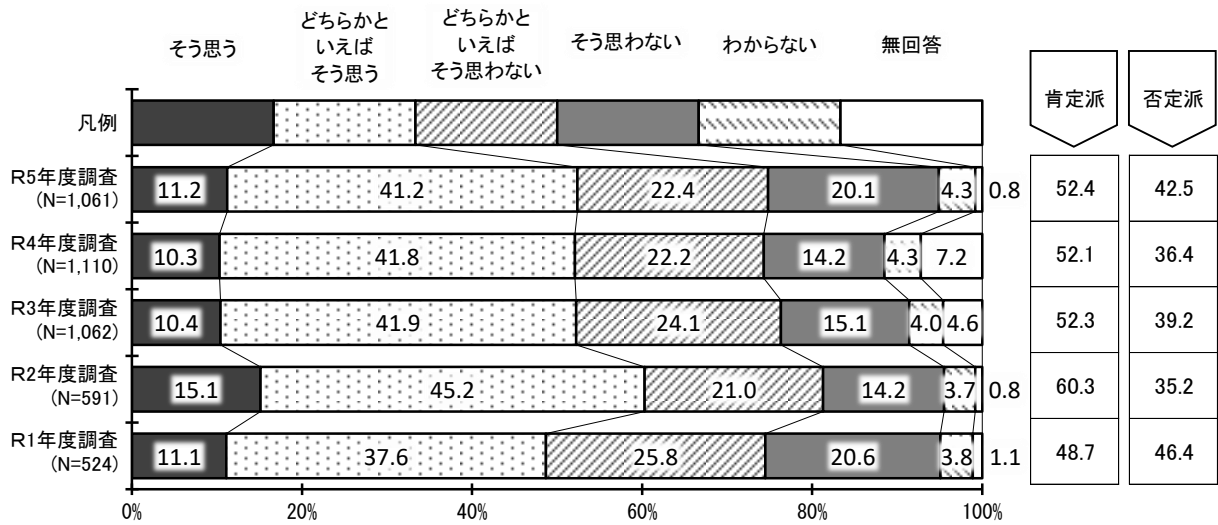
市内の道路の円滑性に対する評価について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は52.4%で、一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は42.5%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は女性(54.9%)の方が男性(49.2%)より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』の方が『否定派』より高くなっており、『肯定派』が最も高いのは20歳代(63.0%)となっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と太宰府東小学校区を除く小学校区で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、太宰府小学校区の『否定派』は57.6%、太宰府東小学校区の『否定派』は49.5%となっている。

問 55. あなたは市内の道路全般について、円滑に移動できると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	え どちらか ば そうか と思 いうい	え どちらか ば そうか と思 といわい	そう 思わ ない	わ かん ない	無 回 答	(%)	
全 体		1,061	119	437	238	213	46	8	556	451
		100.0	11.2	41.2	22.4	20.1	4.3	0.8	52.4	42.5
性 別	男 性	461	11.5	37.7	22.1	24.3	3.9	0.4	49.2	46.4
	女 性	568	10.9	44.0	22.7	16.5	4.8	1.1	54.9	39.2
	無回答	32	12.5	40.6	21.9	21.9	3.1	-	53.1	43.8
年 代 別	20歳代	92	22.8	40.2	16.3	18.5	1.1	1.1	63.0	34.8
	30歳代	123	12.2	39.0	25.2	21.1	2.4	-	51.2	46.3
	40歳代	173	12.1	38.7	22.5	24.3	1.2	1.2	50.8	46.8
	50歳代	191	7.3	48.2	25.7	15.7	2.6	0.5	55.5	41.4
	60歳代	191	6.8	44.0	20.9	23.0	4.7	0.5	50.8	43.9
	70歳代以上	284	12.0	37.7	22.2	18.3	8.8	1.1	49.7	40.5
	無回答	7	14.3	28.6	14.3	28.6	14.3	-	42.9	42.9
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	9.8	29.5	18.2	39.4	1.5	1.5	39.3	57.6
	太宰府東小学校区	113	7.1	35.4	27.4	22.1	7.1	0.9	42.5	49.5
	太宰府南小学校区	104	11.5	44.2	24.0	15.4	4.8	-	55.7	39.4
	水城小学校区	144	11.1	40.3	22.2	18.1	5.6	2.8	51.4	40.3
	水城西小学校区	126	15.9	53.2	16.7	14.3	-	-	69.1	31.0
	太宰府西小学校区	201	12.4	48.3	21.9	13.4	4.0	-	60.7	35.3
	国分小学校区	150	9.3	40.7	26.0	19.3	4.0	0.7	50.0	45.3
	わからない	73	8.2	32.9	27.4	21.9	9.6	-	41.1	49.3
	無回答	18	27.8	27.8	11.1	22.2	11.1	-	55.6	33.3

40. 外出時の移動手段(問 56)

- 日頃の外出時の交通手段は「自家用車」(61.6%)が最も高い。

外出時の移動手段について、日頃の外出時における交通手段は、「自家用車」(61.6%)が最も高くなっている。次いで「徒歩」(6.7%)、「自転車」(6.4%)、「鉄道」(5.9%)、「路線バス」(1.9%)、「コミュニティバス(まほろば号)」(1.4%)の順となっている。

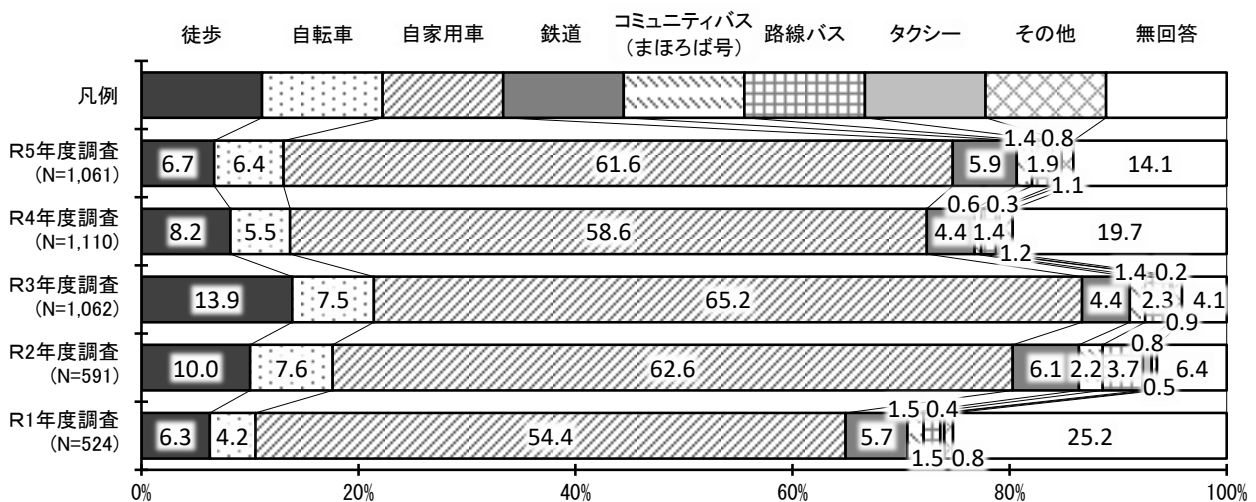
過去調査結果と比較すると、「自家用車」は令和4年度調査より3.0ポイント増加している。

性別にみると、男女とも「自家用車」が最も高くなっているが、男性は66.8%、女性は57.6%と男女に差がみられる。

年代別にみると、すべての年代で「自家用車」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「自家用車」が最も高くなっている。なお、「自家用車」が最も高いのは太宰府南小学校区(71.2%)となっている。

問 56. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(2つ以上あるときは主なもの1つ)



		標本数	徒歩	自転車	自家用車	鉄道	コミュニティバス(まほろば号)	路線バス	タクシー	その他	無回答
全 体		1,061	71	68	654	63	15	20	8	12	150
		100.0	6.7	6.4	61.6	5.9	1.4	1.9	0.8	1.1	14.1
性別	男 性	461	5.9	5.6	66.8	6.1	0.4	2.2	0.4	0.7	11.9
	女 性	568	7.4	6.9	57.6	6.0	1.9	1.8	1.1	1.6	15.8
	無回答	32	6.3	9.4	59.4	3.1	6.3	-	-	-	15.6
年代別	20歳代	92	12.0	17.4	41.3	16.3	-	3.3	-	1.1	8.7
	30歳代	123	7.3	8.1	65.0	9.8	-	0.8	-	-	8.9
	40歳代	173	2.9	5.2	68.2	6.4	1.2	2.3	0.6	1.2	12.1
	50歳代	191	5.8	4.7	70.2	2.6	1.0	2.1	0.5	1.0	12.0
	60歳代	191	3.7	2.1	62.3	4.7	2.6	2.1	0.5	0.5	21.5
	70歳代以上	284	9.9	6.3	57.0	3.9	2.1	1.4	1.8	2.1	15.5
	無回答	7	-	28.6	42.9	-	-	-	-	-	28.6
小学校区別	太宰府小学校区	132	9.8	6.8	59.1	4.5	2.3	0.8	-	0.8	15.9
	太宰府東小学校区	113	12.4	1.8	62.8	4.4	-	3.5	0.9	1.8	12.4
	太宰府南小学校区	104	3.8	3.8	71.2	4.8	1.0	2.9	1.0	1.9	9.6
	水城小学校区	144	7.6	10.4	50.7	11.1	2.8	-	-	-	17.4
	水城西小学校区	126	9.5	8.7	63.5	6.3	-	-	-	-	11.9
	太宰府西小学校区	201	4.0	4.0	65.7	4.0	1.0	4.5	2.0	2.0	12.9
	国分小学校区	150	4.7	5.3	68.7	3.3	2.7	-	0.7	1.3	13.3
	わからない	73	2.7	9.6	47.9	12.3	-	4.1	-	1.4	21.9
	無回答	18	-	22.2	44.4	5.6	5.6	-	5.6	-	16.7

41. 日頃の買い物場所(問 57)

● 日頃買い物する場所は「太宰府市」(58.2%) が最も高い。

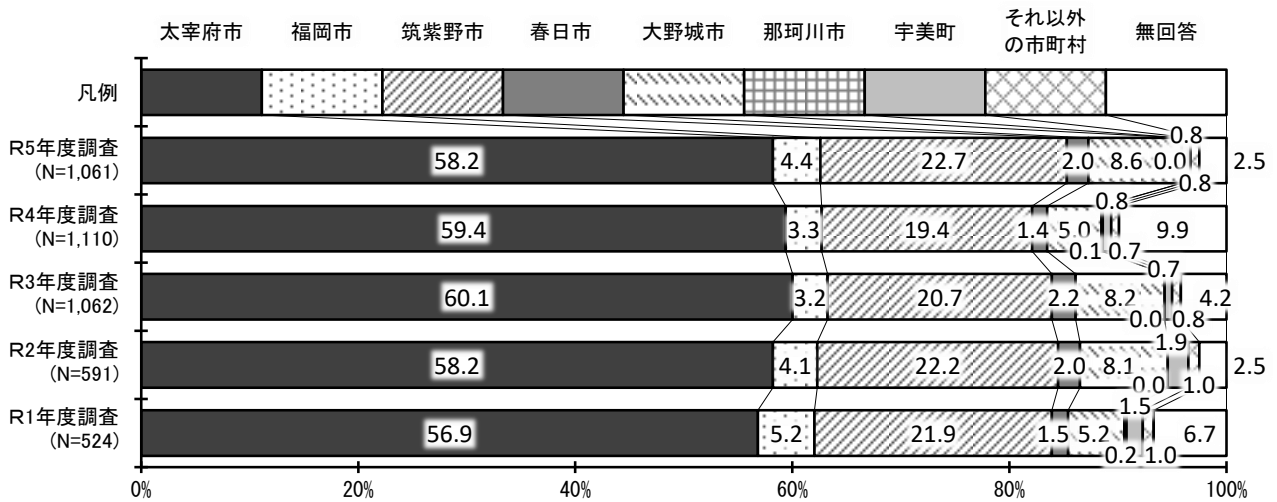
日頃主に買い物する場所について、「太宰府市」(58.2%) が最も高く、全体の約 6 割を占めている。次いで、「筑紫野市」(22.7%)、「大野城市」(8.6%)、「福岡市」(4.4%) の順となっている。

性別にみると、「太宰府市」は、男性(60.1%)の方が女性(56.9%)より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「太宰府市」が最も高くなっており、次いで、「筑紫野市」が高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区を除くすべての小学校区で「太宰府市」が最も高くなっている。なお、太宰府南小学校区は「筑紫野市」(73.1%)が最も高くなっている。

問 57. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(〇は1つ)



		(%)									
		標 本 数	太 宰 府 市	福 岡 市	筑 紫 野 市	春 日 市	大 野 城 市	那 珂 川 市	宇 美 町	の そ れ 以 村 外	無 回 答
全 体		1,061 100.0	618 58.2	47 4.4	241 22.7	21 2.0	91 8.6	- -	9 0.8	8 0.8	26 2.5
性 別	男 性	461	60.1	3.0	22.3	2.2	8.7	-	0.7	1.1	2.0
	女 性	568	56.9	5.5	23.1	1.8	8.6	-	0.9	0.4	3.0
	無回答	32	56.3	6.3	21.9	3.1	6.3	-	3.1	3.1	-
年 代 別	20歳代	92	43.5	16.3	23.9	3.3	4.3	-	1.1	2.2	5.4
	30歳代	123	55.3	4.1	26.8	0.8	8.1	-	0.8	-	4.1
	40歳代	173	63.0	5.8	15.6	2.9	8.1	-	1.7	0.6	2.3
	50歳代	191	58.6	3.7	23.6	2.1	8.9	-	0.5	0.5	2.1
	60歳代	191	51.8	4.2	23.6	3.1	12.0	-	1.6	1.6	2.1
	70歳代以上	284	65.8	0.7	22.9	0.7	8.1	-	-	0.4	1.4
	無回答	7	42.9	-	57.1	-	-	-	-	-	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	58.3	5.3	25.0	0.8	1.5	-	4.5	0.8	3.8
	太宰府東小学校区	113	55.8	4.4	34.5	-	0.9	-	0.9	0.9	2.7
	太宰府南小学校区	104	17.3	4.8	73.1	-	1.0	-	1.0	1.0	1.9
	水城小学校区	144	63.2	4.2	20.1	2.1	5.6	-	-	-	4.9
	水城西小学校区	126	71.4	4.0	11.9	3.2	7.9	-	-	-	1.6
	太宰府西小学校区	201	69.7	4.5	8.5	5.5	10.0	-	-	-	2.0
	国分小学校区	150	55.3	2.7	10.0	1.3	28.0	-	-	2.0	0.7
	わからない	73	58.9	8.2	16.4	-	9.6	-	1.4	2.7	2.7
	無回答	18	72.2	-	27.8	-	-	-	-	-	-

42. 歴史・文化遺産に対する評価(問 58)

- 市の歴史文化遺産を誇りに思っている人は 93.5%となっている。

歴史文化遺産に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 93.5%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 5.9%となっており、『肯定派』が 9 割を超え、高くなっている。

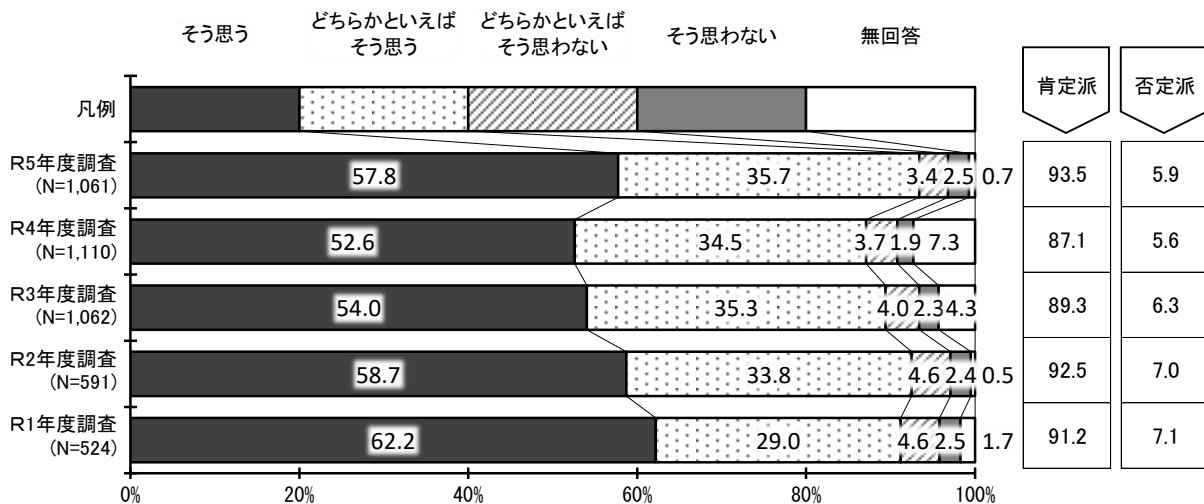
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は令和 4 年度調査から 6.4 ポイント増加し、過去 5 年間の調査で最も高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は、男性が 93.5%、女性が 93.5%で男女に大きな差はみられない。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』が 8 割を超えており、特に 60 歳代（94.8%）、70 歳代以上（94.4%）の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は水城小学校区（95.8%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは太宰府小学校区（8.3%）となっている。

問 58. あなたは市内の歴史・文化遺産を誇りに思いますか。（○は 1 つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全 体		1,061	613	379	36	26	7	93.5	5.9
性別	男 性	461	55.3	38.2	2.4	3.5	0.7	93.5	5.9
	女 性	568	60.0	33.5	4.0	1.8	0.7	93.5	5.8
	無回答	32	53.1	40.6	6.3	-	-	93.7	6.3
年代別	20歳代	92	64.1	29.3	3.3	3.3	-	93.4	6.6
	30歳代	123	48.8	39.0	4.9	7.3	-	87.8	12.2
	40歳代	173	60.7	33.5	2.9	2.3	0.6	94.2	5.2
	50歳代	191	60.2	34.0	3.7	1.6	0.5	94.2	5.3
	60歳代	191	52.9	41.9	2.6	1.6	1.0	94.8	4.2
	70歳代以上	284	59.2	35.2	3.2	1.4	1.1	94.4	4.6
	無回答	7	71.4	14.3	14.3	-	-	85.7	14.3
小学校区別	太宰府小学校区	132	59.1	31.8	3.8	4.5	0.8	90.9	8.3
	太宰府東小学校区	113	61.9	29.2	4.4	3.5	0.9	91.1	7.9
	太宰府南小学校区	104	64.4	30.8	1.9	1.9	1.0	95.2	3.8
	水城小学校区	144	57.6	38.2	2.8	-	1.4	95.8	2.8
	水城西小学校区	126	56.3	38.9	2.4	1.6	0.8	95.2	4.0
	太宰府西小学校区	201	60.7	34.8	2.0	2.5	-	95.5	4.5
	国分小学校区	150	54.0	40.0	3.3	2.0	0.7	94.0	5.3
	わからない	73	39.7	46.6	8.2	5.5	-	86.3	13.7
無回答		18	66.7	22.2	11.1	-	-	88.9	11.1

43. 本市の日本遺産や市民遺産に対する認知度(問 59)

- 本市の日本遺産や市民遺産について知っている人は 55.6%となっている。

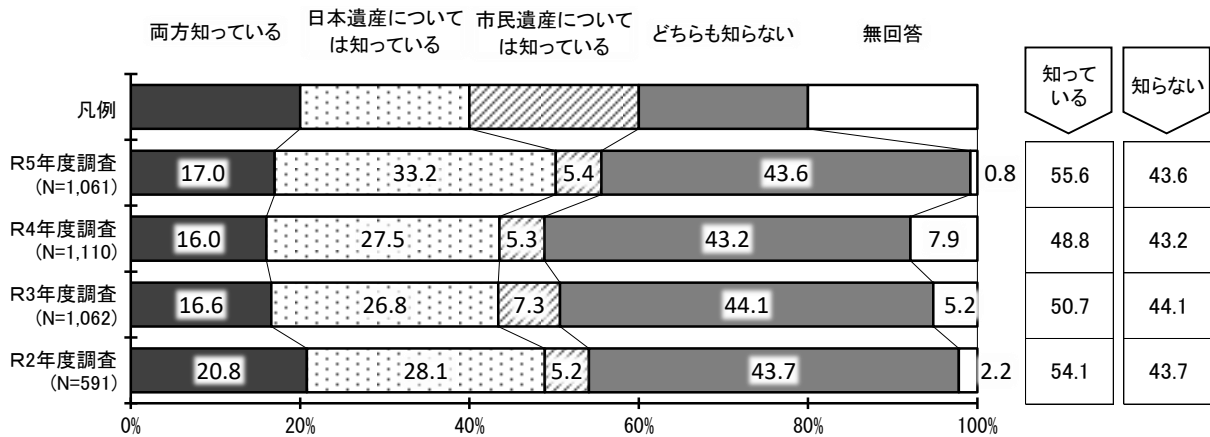
本市の日本遺産や市民遺産に対する認知度について、『知っている』（「両方知っている」と「日本遺産については知っている」と「市民遺産については知っている」の合計）は 55.6%となっている。一方、『知らない』は 43.6%となっている。

性別にみると、「両方知っている」は女性（17.6%）の方が男性（15.6%）より高くなっている。

年代別にみると、「両方知っている」が最も高いのは、20 歳代（23.9%）次いで、70 歳代以上（20.1%）となっている。

小学校区別にみると、「両方知っている」が最も高いのは、太宰府南小学校区（21.2%）となっている。

問 59. あなたは本市の日本遺産や市民遺産についてご存知ですか。（○は 1 つ）



		（％）					
		標本数	両方知っている	日本遺産について知っている	市民遺産について知っている	どちらも知らない	無回答
全 体		1,061	180	352	57	463	9
		100.0	17.0	33.2	5.4	43.6	0.8
性別	男 性	461	15.6	34.3	5.0	44.5	0.7
	女 性	568	17.6	32.7	6.0	42.6	1.1
	無回答	32	25.0	25.0	-	50.0	-
年代別	20歳代	92	23.9	33.7	2.2	40.2	-
	30歳代	123	14.6	25.2	4.1	56.1	-
	40歳代	173	14.5	30.1	6.9	48.0	0.6
	50歳代	191	15.7	36.1	2.6	45.0	0.5
	60歳代	191	13.6	38.7	7.3	39.8	0.5
	70歳代以上	284	20.1	32.7	6.7	38.4	2.1
	無回答	7	28.6	28.6	-	42.9	-
小学校区別	太宰府小学校区	132	20.5	21.2	8.3	49.2	0.8
	太宰府東小学校区	113	16.8	26.5	7.1	49.6	-
	太宰府南小学校区	104	21.2	30.8	9.6	36.5	1.9
	水城小学校区	144	19.4	38.2	2.8	36.8	2.8
	水城西小学校区	126	15.1	35.7	6.3	42.9	-
	太宰府西小学校区	201	16.9	37.8	4.0	41.3	-
	国分小学校区	150	11.3	36.0	4.7	47.3	0.7
	わからない	73	13.7	34.2	1.4	50.7	-
	無回答	18	22.2	38.9	-	33.3	5.6

44. 観光客の来訪に対する評価(問 60)

- 観光客の来訪について好ましいと思っている人は82.8%となっている。

観光客の来訪について、『好ましい』（「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」と「どちらかといえば好ましいと思う」の合計）は82.8%で8割以上を占めている。一方、『好ましくない』（「ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う」と「どちらかといえば好ましくないと思う」の合計）は16.9%となっている。

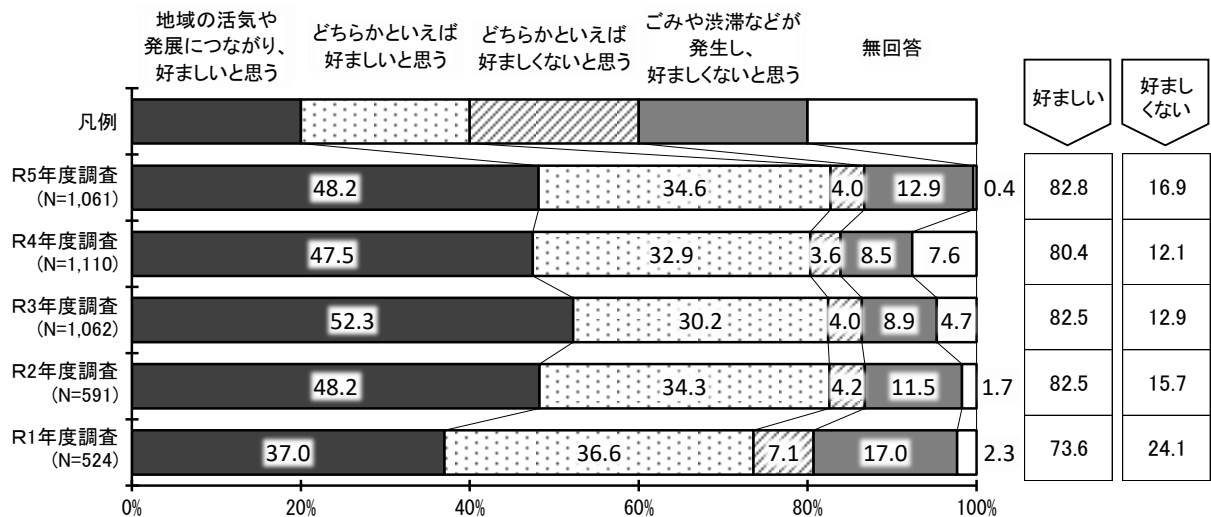
過去の調査結果と比べると、『好ましい』は令和4年度調査より2.4ポイント増加し、過去5年間で最も高くなっている。

性別にみると、『好ましい』は、女性（83.8%）の方が男性（81.3%）より高くなっている。

年代別にみると、『好ましい』が最も高いのは、20歳代（88.0%）で、次いで、50歳代（86.4%）となっている。

小学校区別にみると、『好ましい』が最も高いのは、水城西小学校区（90.5%）となっている。

問 60. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。（○は1つ）



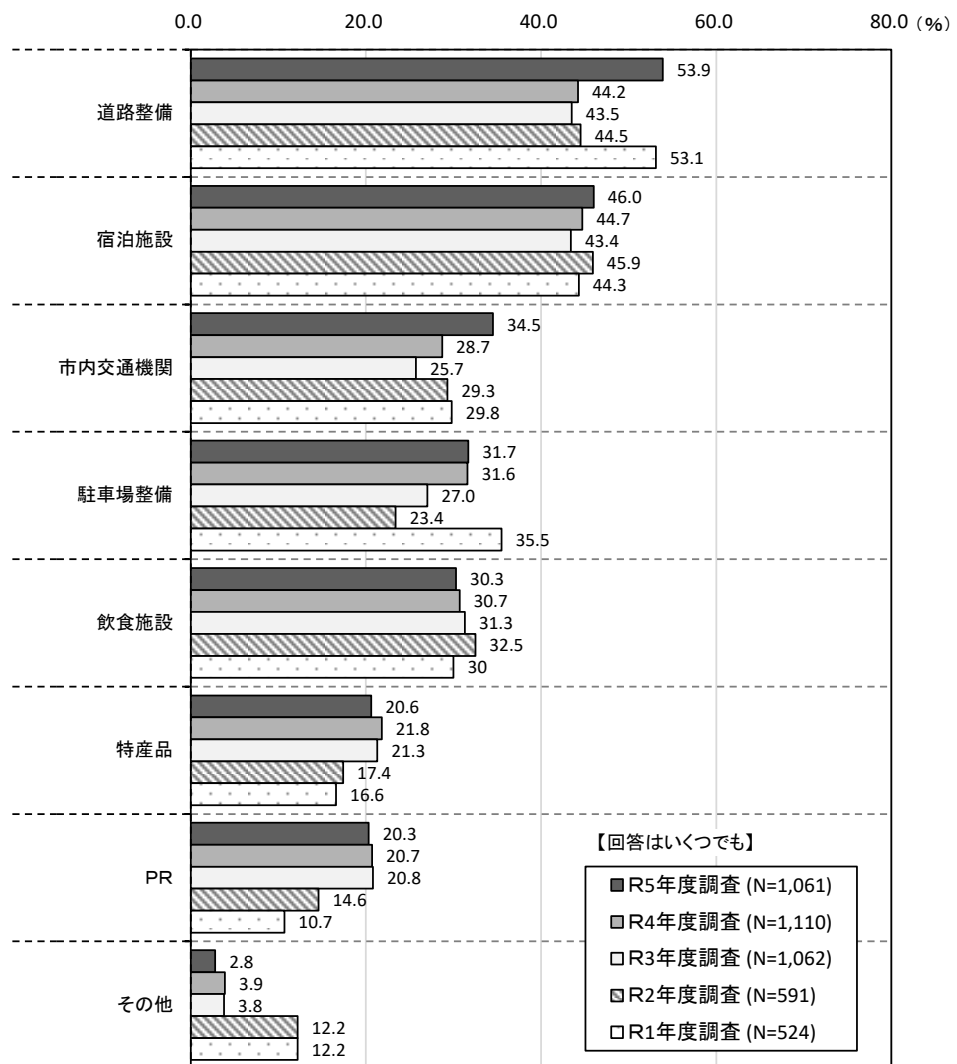
		標本数	地域、活気、発展につながり、好ましいと思う (%)	どちらかといえば好ましいと思う (%)	どちらかといえば好ましくないと思う (%)	ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う (%)	無回答 (%)	好ましい (%)	好ましくない (%)
全 体		1,061	511	367	42	137	4	82.8	16.9
性別	男 性	461	50.5	30.8	4.3	14.1	0.2	81.3	18.4
	女 性	568	46.7	37.1	3.7	12.0	0.5	83.8	15.7
	無回答	32	40.6	43.8	3.1	12.5	-	84.4	15.6
年代別	20歳代	92	58.7	29.3	1.1	10.9	-	88.0	12.0
	30歳代	123	50.4	32.5	4.1	13.0	-	82.9	17.1
	40歳代	173	49.1	32.4	3.5	14.5	0.6	81.5	18.0
	50歳代	191	53.4	33.0	2.6	11.0	-	86.4	13.6
	60歳代	191	41.9	36.6	4.7	15.7	1.0	78.5	20.4
	70歳代以上	284	44.4	38.0	5.6	11.6	0.4	82.4	17.2
	無回答	7	28.6	42.9	-	28.6	-	71.5	28.6
小学校区別	太宰府小学校区	132	33.3	35.6	7.6	22.7	0.8	68.9	30.3
	太宰府東小学校区	113	45.1	32.7	3.5	18.6	-	77.8	22.1
	太宰府南小学校区	104	51.0	33.7	4.8	10.6	-	84.7	15.4
	水城西小学校区	144	47.2	35.4	3.5	12.5	1.4	82.6	16.0
	水城西小学校区	126	53.2	37.3	0.8	7.9	0.8	90.5	8.7
	太宰府西小学校区	201	55.7	30.8	3.5	10.0	-	86.5	13.5
	国分小学校区	150	50.7	38.0	3.3	8.0	-	88.7	11.3
	わからない	73	49.3	30.1	5.5	15.1	-	79.4	20.6
	無回答	18	22.2	50.0	5.6	22.2	-	72.2	27.8

45. 本市の観光に必要なこと(問 61)

- 本市の観光に必要なことは、「道路整備」(53.9%) が最も高い。

本市の観光に必要なことについて、「道路整備」(53.9%) が最も高くなっている。次いで、「宿泊施設」(46.0%)、「市内交通機関」(34.5%)、「駐車場整備」(31.7%) の順となっている。過去調査結果と比較すると、「道路整備」は令和4年度調査より9.7ポイント増加している。

問 61. あなたは今後の本市の観光に何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



性別にみると、「道路整備」、「駐車場整備」、「PR」の項目で男性の方が女性より高くなっている。

年代別にみると、20歳代を除くすべての年代で「道路整備」が最も高くなっている。なお、20歳代では「宿泊施設」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、水城西小学校区と太宰府西小学校区を除くすべての小学校区で「道路整備」が最も高くなっている。なお、水城西小学校区と太宰府西小学校区は「宿泊施設」（それぞれ58.7%、45.8%）が最も高くなっている。

		(%)							
		標 本 数	道 路 整 備	宿 泊 施 設	関 市 内 交 通 機	駐 車 場 整 備	飲 食 施 設	特 産 品	P R そ の 他
全 体		1,061 -	572 53.9	488 46.0	366 34.5	336 31.7	321 30.3	219 20.6	215 20.3 30 2.8
性 別	男 性	461	57.7	44.7	31.7	33.0	29.1	18.9	23.0 3.5
	女 性	568	50.4	47.4	37.1	30.5	31.5	22.4	18.5 2.5
	無回答	32	62.5	40.6	28.1	34.4	25.0	15.6	12.5 -
年 代 別	20歳代	92	44.6	47.8	38.0	31.5	33.7	18.5	15.2 3.3
	30歳代	123	57.7	47.2	39.0	35.0	40.7	28.5	23.6 4.1
	40歳代	173	63.6	49.1	37.0	32.9	35.8	20.8	19.7 3.5
	50歳代	191	50.3	47.6	38.2	27.2	34.6	25.7	27.7 3.7
	60歳代	191	57.6	47.1	35.1	34.0	29.3	22.5	19.9 1.6
	70歳代以上	284	49.6	40.8	26.8	30.6	19.7	13.7	16.5 2.1
	無回答	7	42.9	57.1	42.9	42.9	-	-	- -
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	66.7	36.4	31.8	28.0	28.0	9.8	11.4 8.3
	太宰府東小学校区	113	66.4	39.8	32.7	36.3	28.3	15.0	15.0 0.9
	太宰府南小学校区	104	49.0	48.1	41.3	32.7	28.8	19.2	20.2 2.9
	水城小学校区	144	57.6	49.3	29.9	31.3	34.0	25.7	21.5 4.2
	水城西小学校区	126	49.2	58.7	27.0	32.5	30.2	25.4	26.2 1.6
	太宰府西小学校区	201	45.3	45.8	39.3	31.3	31.3	23.9	22.4 1.0
	国分小学校区	150	52.0	42.7	41.3	28.7	33.3	25.3	28.7 1.3
	わからない	73	52.1	49.3	30.1	37.0	26.0	17.8	13.7 2.7
	無回答	18	33.3	44.4	22.2	27.8	16.7	5.6	- 5.6

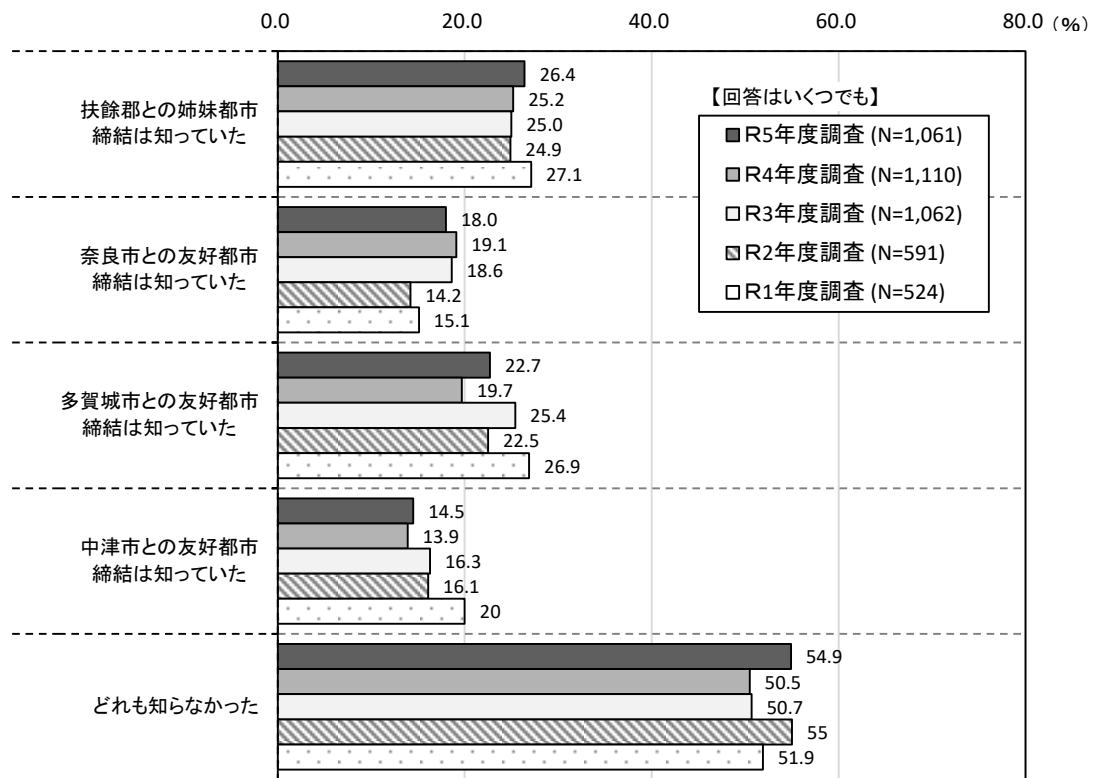
46. 姉妹都市、友好都市締結の認知度(問 62)

- 本市の姉妹都市・友好都市締結については5割以上が「どれも知らなかった」と回答している。

本市の姉妹都市・友好都市締結の認知度について、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」(26.4%)が最も高く、次いで「多賀城市との友好都市締結は知っていた」(22.7%)、「奈良市との友好都市締結は知っていた」(18.0%)、「中津市との友好都市締結は知っていた」(14.5%)の順となっている。なお、「どれも知らなかった」は54.9%となっている。

過去の調査結果と比べると、令和4年度調査から「多賀城市との友好都市締結は知っていた」は3.0ポイント、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」は1.2ポイント増加している。

問 62. あなたは本市が^{フ ヨ グ}大韓民国扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(〇はいくつでも)



性別にみると、いずれの都市との締結においても女性の方が認知度の割合が高くなっている。

年代別にみると、奈良市を除く都市との締結において 70 歳代以上の認知度の割合が最も高くなっている。なお、「どれも知らなかった」は 30 歳代（77.2%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」「奈良市との友好都市締結は知っていた」は太宰府西小学校区、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」は太宰府東小学校区、「中津市との友好都市締結は知っていた」は太宰府小学校区がそれぞれ最も高くなっている。

			(%)				
		標 本 数	知妹扶 つ都餘 て市郡 い締と た結の は姉	は友多 知好賀 つ都城 て市市 い締と た結の	知好奈 つ都良 て市市 い締と た結の は友	知好中 つ都津 て市市 い締と た結の は友	かど つれ たも 知ら な
全 体		1,061 -	280 26.4	241 22.7	191 18.0	154 14.5	583 54.9
性 別	男 性	461	21.7	19.1	15.8	13.9	62.5
	女 性	568	30.6	25.9	20.2	14.8	48.6
	無回答	32	18.8	18.8	9.4	18.8	59.4
年 代 別	20歳代	92	22.8	26.1	26.1	17.4	53.3
	30歳代	123	13.8	8.9	10.6	10.6	77.2
	40歳代	173	22.0	22.0	15.6	11.6	54.9
	50歳代	191	27.7	23.0	17.3	9.4	53.4
	60歳代	191	26.2	18.8	14.7	15.7	58.6
	70歳代以上	284	35.2	31.0	22.9	19.7	44.4
	無回答	7	14.3	-	14.3	14.3	57.1
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	18.2	26.5	18.2	18.9	52.3
	太宰府東小学校区	113	23.9	30.1	21.2	18.6	55.8
	太宰府南小学校区	104	26.9	26.0	22.1	17.3	51.0
	水城小学校区	144	17.4	19.4	18.8	16.0	61.1
	水城西小学校区	126	25.4	15.9	15.9	11.9	61.1
	太宰府西小学校区	201	50.2	27.9	23.4	15.9	35.3
	国分小学校区	150	26.7	24.0	14.0	11.3	54.7
	わからない	73	2.7	6.8	5.5	2.7	90.4
	無回答	18	5.6	-	5.6	5.6	77.8

48. ボランティア活動への参加状況(問 64)

- ボランティア活動に参加しているのは 11.7%となっている。

ボランティア活動への参加状況について、『参加派』(「参加している」と「どちらかといえば参加している」の合計)は 11.7%となっている。一方、『不参加派』(「参加していない」と「どちらかといえば参加していない」の合計)は 88.0%で、『不参加派』が 8 割以上を占め、高くなっている。

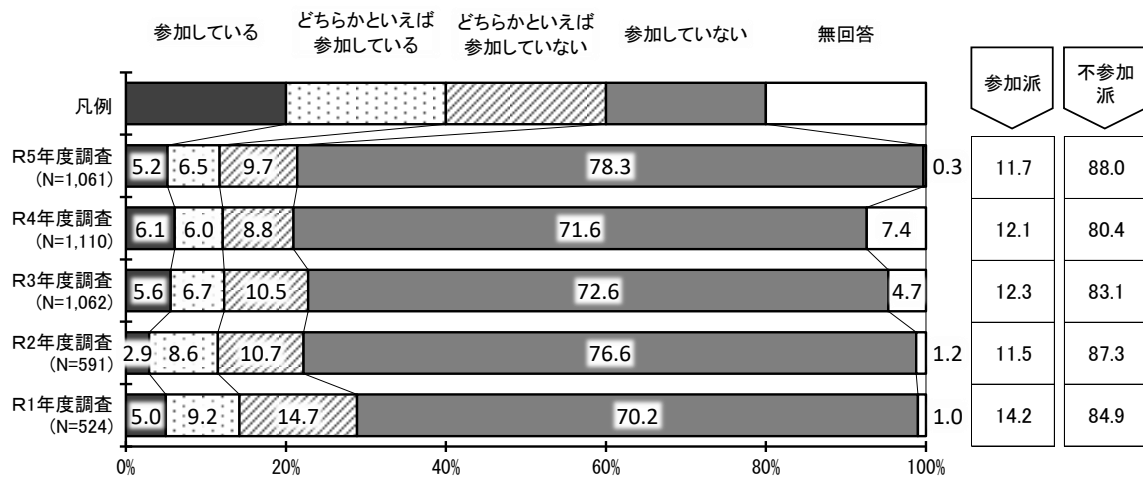
過去の調査結果と比べると、『不参加派』は令和 4 年度調査から 7.6 ポイント増加し、過去 5 年間で最も高くなっている。

性別にみると、『参加派』は、男性(12.8%)の方が女性(11.2%)より高くなっている。

年代別にみると、『参加派』は 70 歳代以上(16.9%)で最も高くなっている。

小学校区別にみると、『参加派』が最も高いのは太宰府西小学校区(15.0%)、次いで、太宰府小学校と太宰府南小学校区(同率 14.4%)となっている。

問 64. あなたは自治会活動以外(問 63 以外)のボランティア活動に参加していますか。 (〇は 1 つ)



		標 本 数	参 加 し て い る	い え ば 参 加 し て い る	ど ち ら か と い え ば 参 加 し て い る	い え ば 参 加 し て い な い	参 加 し て い な い	無 回 答	(%)	
									参 加 派	不 参 加 派
全 体		1,061 100.0	55 5.2	69 6.5	103 9.7	831 78.3	3 0.3		124 11.7	934 88.0
性別	男 性	461	5.6	7.2	9.8	77.2	0.2		12.8	87.0
	女 性	568	4.9	6.3	9.3	79.0	0.4		11.2	88.3
	無回答	32	3.1	-	15.6	81.3	-		3.1	96.9
年代別	20歳代	92	2.2	1.1	5.4	91.3	-		3.3	96.7
	30歳代	123	3.3	4.1	5.7	87.0	-		7.4	92.7
	40歳代	173	4.6	9.2	8.7	76.9	0.6		13.8	85.6
	50歳代	191	4.2	4.2	13.1	78.5	-		8.4	91.6
	60歳代	191	8.4	4.2	9.4	77.5	0.5		12.6	86.9
	70歳代以上	284	6.0	10.9	10.9	71.8	0.4		16.9	82.7
	無回答	7	-	-	28.6	71.4	-		-	100.0
小学校区別	太宰府小学校区	132	7.6	6.8	13.6	71.2	0.8		14.4	84.8
	太宰府東小学校区	113	4.4	6.2	8.8	80.5	-		10.6	89.3
	太宰府南小学校区	104	4.8	9.6	6.7	78.8	-		14.4	85.5
	水城小学校区	144	4.9	6.3	9.0	78.5	1.4		11.2	87.5
	水城西小学校区	126	4.8	3.2	15.1	77.0	-		8.0	92.1
	太宰府西小学校区	201	5.5	9.5	10.0	75.1	-		15.0	85.1
	国分小学校区	150	5.3	6.0	8.0	80.7	-		11.3	88.7
	わからない	73	1.4	1.4	2.7	94.5	-		2.8	97.2
	無回答	18	11.1	5.6	11.1	72.2	-		16.7	83.3

49. 市民と行政との情報共有(問 65)

- 市民と行政との情報共有ができているかについて『否定派』が 56.1%で、『肯定派』(41.8%) より多い。

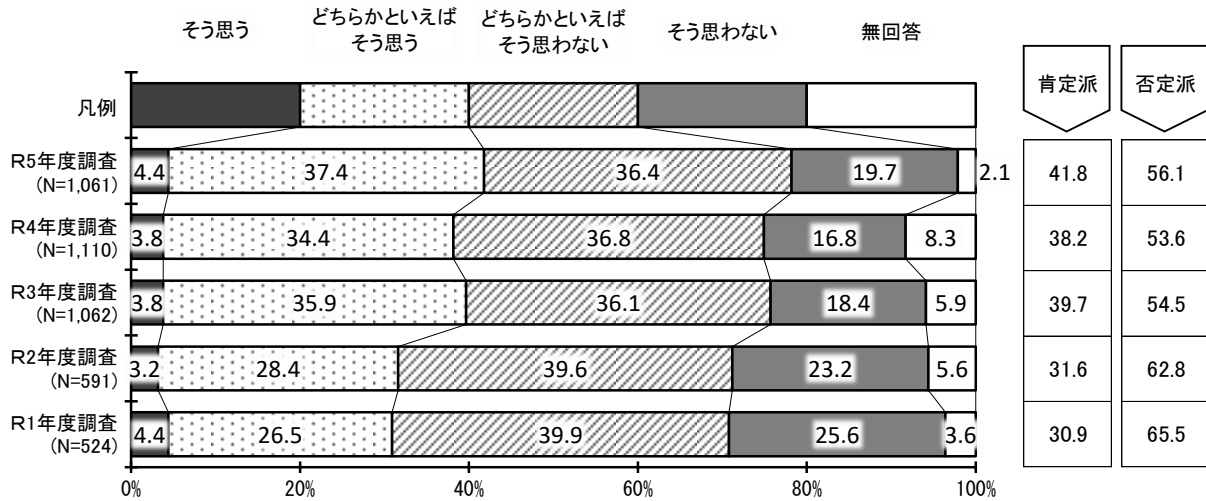
市民と行政との情報共有について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計) は 41.8%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計) は 56.1%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は男性が 41.9%、女性が 41.4%で男女に大きな差はみられない。

年代別にみると、70 歳代以上を除くすべての年代で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっており、『否定派』が最も高いのは 30 歳代 (67.5%) となっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区と太宰府西小学校区を除くすべての校区で『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっており、最も高いのは太宰府小学校区 (66.6%) となっている。一方、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区 (51.3%) となっている。

問 65. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	えど ば ち ら か そ う お も う い	な え ど ば ち ら か そ う お も わ い	そ う お も わ な い	無 回 答	肯定 派	否定 派
全 体		1,061	47	397	386	209	22	444	595
		100.0	4.4	37.4	36.4	19.7	2.1	41.8	56.1
性 別	男 性	461	5.0	36.9	34.9	22.1	1.1	41.9	57.0
	女 性	568	3.7	37.7	37.7	18.0	3.0	41.4	55.7
	無回答	32	9.4	40.6	34.4	15.6	-	50.0	50.0
年 代 別	20歳代	92	5.4	35.9	35.9	22.8	-	41.3	58.7
	30歳代	123	4.1	28.5	30.1	37.4	-	32.6	67.5
	40歳代	173	4.6	33.5	42.2	19.1	0.6	38.1	61.3
	50歳代	191	2.6	41.9	34.0	21.5	-	44.5	55.5
	60歳代	191	2.6	29.8	47.1	17.3	3.1	32.4	64.4
	70歳代以上	284	6.7	46.8	29.6	11.6	5.3	53.5	41.2
	無回答	7	-	14.3	57.1	28.6	-	14.3	85.7
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	2.3	30.3	42.4	24.2	0.8	32.6	66.6
	太宰府東小学校区	113	5.3	41.6	31.0	20.4	1.8	46.9	51.4
	太宰府南小学校区	104	3.8	46.2	31.7	16.3	1.9	50.0	48.0
	水城小学校区	144	4.9	35.4	33.3	19.4	6.9	40.3	52.7
	水城西小学校区	126	4.8	36.5	39.7	18.3	0.8	41.3	58.0
	太宰府西小学校区	201	6.0	45.3	33.3	14.4	1.0	51.3	47.7
	国分小学校区	150	5.3	32.0	46.0	15.3	1.3	37.3	61.3
	わからない	73	1.4	27.4	27.4	42.5	1.4	28.8	69.9
	無回答	18	-	33.3	44.4	16.7	5.6	33.3	61.1

50. 本市が発信している情報を得ている媒体(問 66)

- 本市の情報を得ている媒体は「広報だざいふ」が83.5%となっている。

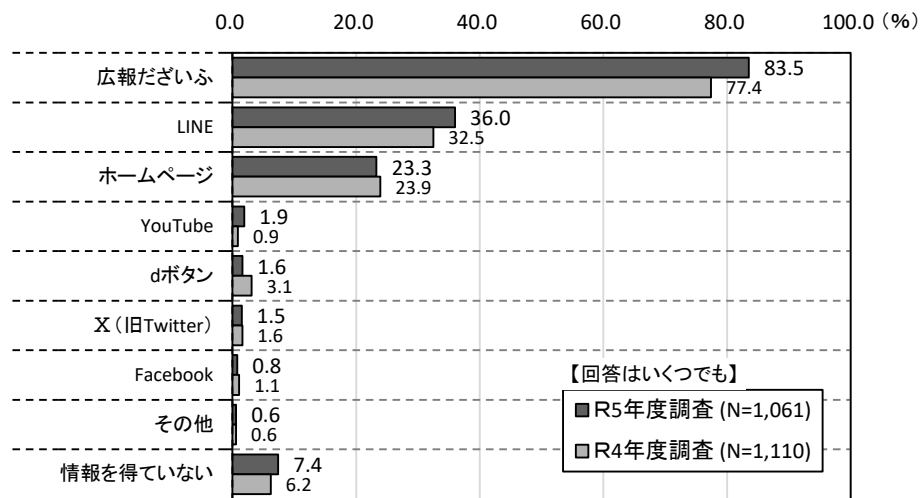
本市の情報を得ている媒体について、「広報だざいふ」が83.5%で最も高く、次いで、「LINE」(36.0%)、「ホームページ」(23.3%)の順となっている。一方、「情報を得ていない」は7.4%となっている。

性別にみると、上位3項目のうち、「広報だざいふ」、「LINE」は女性の方が高く、「ホームページ」は男性の方が高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「広報だざいふ」が最も高くなっている。また、「広報だざいふ」では50歳代(91.1%)、「LINE」では50歳代(49.7%)、「ホームページ」では40歳代(28.9%)がそれぞれ高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「広報だざいふ」が最も高くなっている。

問 66. あなたはどのような媒体で本市が発信している情報を得ていますか。(〇はいくつでも)



		標本数	広報だざいふ	LINE	ホームページ	YouTube	dボタン	X(旧Twitter)	Facebook	その他	情報を得ていない
全 体		1,061	886	382	247	20	17	16	9	6	79
		-	83.5	36.0	23.3	1.9	1.6	1.5	0.8	0.6	7.4
性別	男 性	461	79.6	29.7	24.1	2.4	1.5	1.5	1.3	0.7	9.5
	女 性	568	86.8	41.5	22.5	1.2	1.4	1.4	0.5	0.5	5.8
	無回答	32	81.3	28.1	25.0	6.3	6.3	3.1	-	-	6.3
年代別	20歳代	92	55.4	26.1	14.1	1.1	-	3.3	-	-	28.3
	30歳代	123	65.0	38.2	22.0	1.6	2.4	2.4	-	-	16.3
	40歳代	173	86.7	47.4	28.9	1.2	0.6	2.3	2.3	0.6	3.5
	50歳代	191	91.1	49.7	24.6	2.6	0.5	2.1	1.0	1.0	3.1
	60歳代	191	87.4	36.1	24.6	0.5	3.7	1.0	1.0	0.5	3.7
	70歳代以上	284	90.8	22.2	22.2	3.2	1.8	-	0.4	0.7	4.6
	無回答	7	85.7	28.6	-	-	-	-	-	-	14.3
小学校区別	太宰府小学校区	132	87.1	31.1	25.8	0.8	0.8	1.5	0.8	-	4.5
	太宰府東小学校区	113	82.3	38.1	27.4	2.7	3.5	0.9	-	-	5.3
	太宰府南小学校区	104	86.5	36.5	26.0	2.9	3.8	1.9	2.9	1.0	5.8
	水城小学校区	144	81.9	33.3	22.9	2.1	1.4	2.1	0.7	2.1	6.3
	水城西小学校区	126	86.5	35.7	20.6	0.8	0.8	2.4	0.8	0.8	4.8
	太宰府西小学校区	201	86.1	38.8	25.9	2.0	1.5	0.5	1.0	0.5	7.5
	国分小学校区	150	84.7	44.0	18.0	2.0	0.7	2.0	-	-	9.3
	わからない	73	64.4	27.4	21.9	-	1.4	1.4	1.4	-	19.2
	無回答	18	77.8	16.7	5.6	11.1	-	-	-	-	16.7

51. 行政情報の接触状況(問 67)

① 「広報だざいふ」の閲読状況

●「広報だざいふ」の閲読率は81.9%となっている。

「広報だざいふ」について、『閲読率』（「いつも読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）は81.9%となっている。一方、『非閲読率』（「読まない」と「ほとんど読まない」の合計）は16.4%となっている。

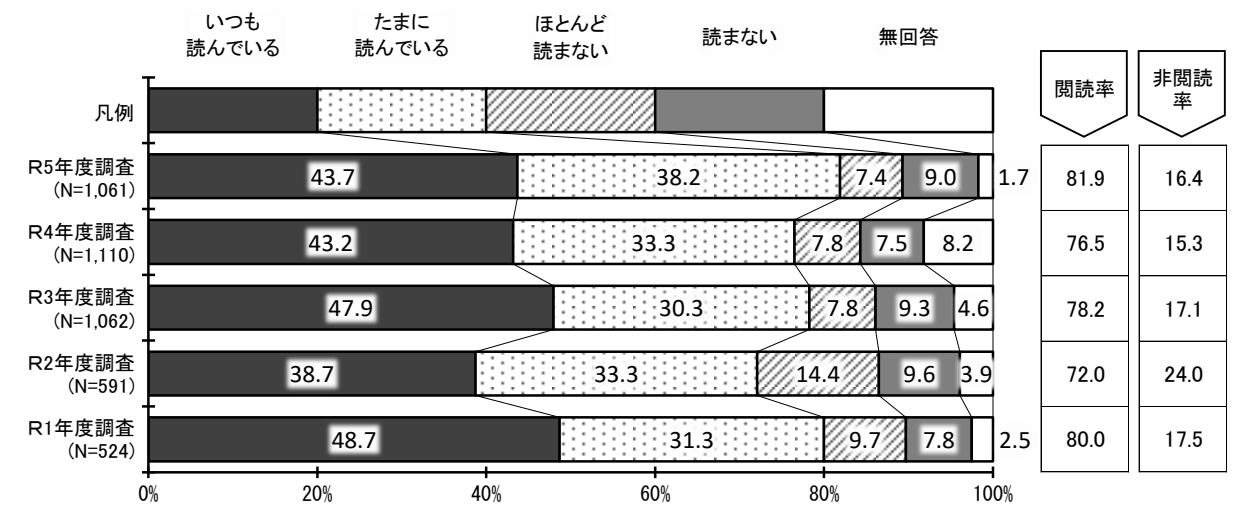
過去の調査結果と比べると、『閲読率』は令和4年度調査から5.4ポイント増加し、過去5年間で最も高くなっている。

性別にみると、『閲読率』は、女性（85.4%）の方が男性（77.6%）より高くなっている。

年代別にみると、年代が上がるにつれて『閲読率』が高くなっており、70歳代以上では90.8%となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『閲読率』は8割を超えており、太宰府南小学校区（85.6%）が最も高くなっている。

問 67. あなたは「広報だざいふ」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）



		標本数	い ん い で つ い も る 読	ん た で ま い に る 読	読 ほ ま と な ん い ど	読 ま な い	無 回 答	閲 読 率	非 閲 読 率
全 体		1,061	464	405	79	95	18	869	174
		100.0	43.7	38.2	7.4	9.0	1.7	81.9	16.4
性 別	男 性	461	36.0	41.6	8.9	11.5	2.0	77.6	20.4
	女 性	568	49.3	36.1	6.5	6.9	1.2	85.4	13.4
	無回答	32	56.3	25.0	3.1	9.4	6.3	81.3	12.5
年 代 別	20歳代	92	7.6	42.4	14.1	32.6	3.3	50.0	46.7
	30歳代	123	25.2	40.7	13.8	20.3	-	65.9	34.1
	40歳代	173	38.2	46.2	8.7	6.4	0.6	84.4	15.1
	50歳代	191	45.5	39.8	8.9	4.7	1.0	85.3	13.6
	60歳代	191	46.6	41.9	5.2	5.2	1.0	88.5	10.4
	70歳代以上	284	63.0	27.8	2.5	3.5	3.2	90.8	6.0
	無回答	7	71.4	14.3	-	-	14.3	85.7	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	38.6	43.9	7.6	6.8	3.0	82.5	14.4
	太宰府東小学校区	113	52.2	31.0	8.0	8.8	-	83.2	16.8
	太宰府南小学校区	104	48.1	37.5	6.7	6.7	1.0	85.6	13.4
	水城小学校区	144	39.6	45.1	6.3	6.3	2.8	84.7	12.6
	水城西小学校区	126	39.7	43.7	8.7	7.9	-	83.4	16.6
	太宰府西小学校区	201	53.7	28.4	7.0	9.0	2.0	82.1	16.0
	国分小学校区	150	43.3	40.0	6.0	9.3	1.3	83.3	15.3
	わからない	73	23.3	38.4	13.7	21.9	2.7	61.7	35.6
	無回答	18	38.9	44.4	-	11.1	5.6	83.3	11.1

② 「太宰府市ホームページ」の閲覧状況

●「太宰府市ホームページ」の閲覧率は41.3%となっている。

「太宰府市ホームページ」について、『閲覧率』（「いつも見ている」と「たまに見ている」の合計）は41.3%となっている。一方、『非閲覧率』（「見たことがない」と「ほとんど見ていない」の合計）は50.0%となっている。

過去の調査結果と比べると、『閲覧率』は令和4年度調査から2.4ポイント増加している。

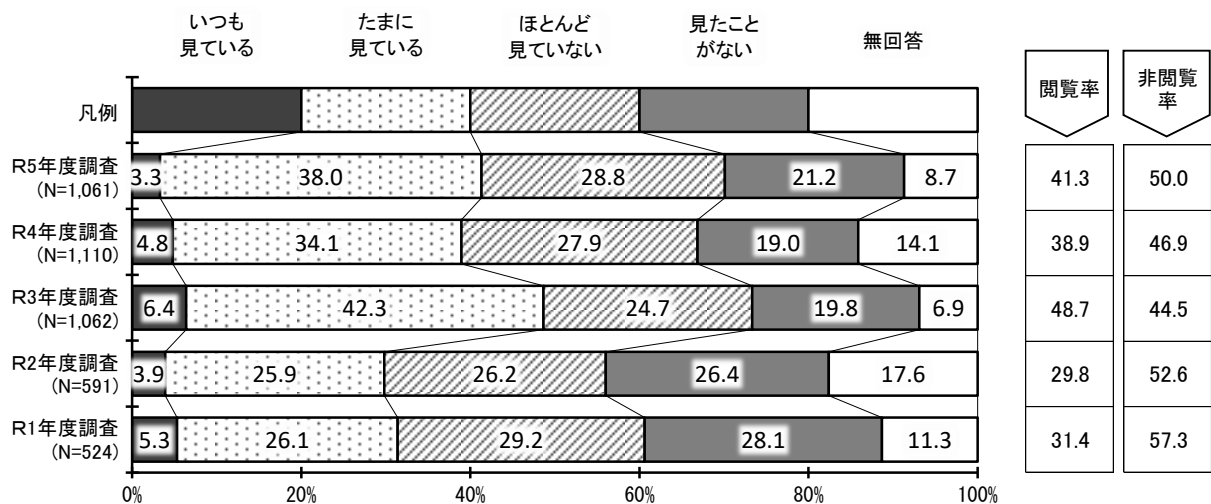
性別にみると、『閲覧率』は男性（43.1%）の方が女性（40.5%）より高くなっている。

年代別にみると、『閲覧率』が最も高くなっているのは、50歳代（49.8%）となっている。

小学校区別にみると、『閲覧率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（50.4%）となっている。

一方、『非閲覧率』が最も高いのは、水城西小学校区（57.1%）となっている。

問 67. あなたは「広報だざいふ」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見ていない	見たことがない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全体		1,061	35	403	306	225	92	438	531
		100.0	3.3	38.0	28.8	21.2	8.7	41.3	50.0
性別	男性	461	2.8	40.3	28.0	20.6	8.2	43.1	48.6
	女性	568	3.7	36.8	30.3	21.1	8.1	40.5	51.4
	無回答	32	3.1	25.0	15.6	31.3	25.0	28.1	46.9
年代別	20歳代	92	1.1	20.7	38.0	33.7	6.5	21.8	71.7
	30歳代	123	1.6	30.1	40.7	25.2	2.4	31.7	65.9
	40歳代	173	2.3	43.4	41.6	7.5	5.2	45.7	49.1
	50歳代	191	3.7	46.1	31.4	14.1	4.7	49.8	45.5
	60歳代	191	3.1	41.4	23.0	23.0	9.4	44.5	46.0
	70歳代以上	284	5.3	35.9	15.5	27.8	15.5	41.2	43.3
	無回答	7	-	42.9	14.3	-	42.9	42.9	14.3
小学校区別	太宰府小学校区	132	3.8	36.4	33.3	15.2	11.4	40.2	48.5
	太宰府東小学校区	113	3.5	46.9	21.2	19.5	8.8	50.4	40.7
	太宰府南小学校区	104	1.0	39.4	26.0	24.0	9.6	40.4	50.0
	水城西小学校区	144	2.1	34.7	32.6	20.1	10.4	36.8	52.7
	水城西小学校区	126	2.4	37.3	38.1	19.0	3.2	39.7	57.1
	太宰府西小学校区	201	3.5	39.3	27.4	21.4	8.5	42.8	48.8
	国分小学校区	150	7.3	36.7	24.0	25.3	6.7	44.0	49.3
	わからない	73	1.4	32.9	31.5	26.0	8.2	34.3	57.5
	無回答	18	-	33.3	11.1	27.8	27.8	33.3	38.9

52. 市議会が発信している情報を得ている媒体(問 68)

- 市議会が発信している情報を得ている媒体は「太宰府市議会だより」が 65.8%となっている。

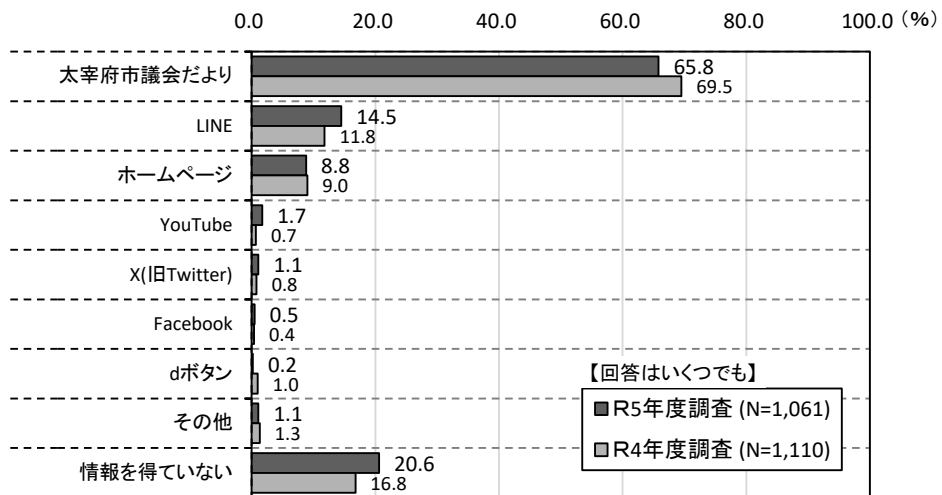
市議会が発信している情報を得ている媒体について、「太宰府市議会だより」が 65.8%で最も高く、次いで、「LINE」(14.5%)、「ホームページ」(8.8%) の順となっている。一方、「情報を得ていない」は 20.6%となっている。

性別にみると、上位 3 項目のうち、「太宰府市議会だより」、「LINE」は女性の方が高く、「ホームページ」は男性の方が高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「太宰府市議会だより」が最も高くなっている。また、「太宰府市議会だより」では 70 歳代以上 (77.1%)、「LINE」では 50 歳代 (20.9%)、「ホームページ」では 50 歳代 (11.0%) がそれぞれ高くなっている。一方、「情報を得ていない」は 20 歳代 (45.7%) が特に高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「太宰府市議会だより」が最も高くなっている。

問 68. あなたはどのような媒体で市議会が発信している情報を得ていますか。(〇はいくつでも)



		標本数	太宰府市議会だより	LINE	ホームページ	YouTube	X(旧Twitter)	Facebook	dボタン	その他	情報を得ていない
全 体		1,061	698	154	93	18	12	5	2	12	219
性別	男 性	461	62.7	12.1	9.1	2.8	0.9	0.4	0.4	2.0	22.3
	女 性	568	68.8	16.4	8.1	0.9	1.4	0.5	-	0.5	18.8
	無回答	32	56.3	15.6	15.6	-	-	-	-	-	28.1
年代別	20歳代	92	33.7	13.0	7.6	1.1	3.3	-	-	-	45.7
	30歳代	123	37.4	17.1	10.6	2.4	3.3	-	-	-	42.3
	40歳代	173	68.2	16.2	8.7	1.7	1.2	1.2	-	2.3	15.6
	50歳代	191	70.7	20.9	11.0	2.1	1.0	-	-	1.6	16.8
	60歳代	191	75.9	15.2	10.5	0.5	0.5	-	1.0	0.5	15.2
	70歳代以上	284	77.1	7.7	6.0	2.1	-	1.1	-	1.4	12.7
	無回答	7	57.1	28.6	-	-	-	-	-	-	14.3
小学校区別	太宰府小学校区	132	68.9	12.9	13.6	2.3	3.0	-	-	-	21.2
	太宰府東小学校区	113	70.8	14.2	12.4	1.8	1.8	0.9	-	-	17.7
	太宰府南小学校区	104	72.1	3.8	3.8	2.9	-	-	1.0	1.9	21.2
	水城小学校区	144	63.9	13.9	12.5	2.1	1.4	-	-	2.1	17.4
	水城西小学校区	126	61.9	20.6	7.1	1.6	0.8	0.8	0.8	2.4	22.2
	太宰府西小学校区	201	69.7	16.9	7.5	1.0	0.5	1.0	-	1.0	17.4
	国分小学校区	150	64.7	15.3	6.0	2.0	1.3	-	-	1.3	20.7
	わからない	73	45.2	15.1	8.2	-	-	1.4	-	-	37.0
無回答		18	66.7	16.7	-	-	-	-	-	-	16.7

53. 市議会情報の接触状況(問 69)

①「太宰府市議会だより」の閲読状況

- 「太宰府市議会だより」の閲読率は60.6%となっている。

「太宰府市議会だより」について、『閲読率』（「いつも読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）は60.6%となっている。一方、『非閲読率』（「読まない」と「ほとんど読まない」の合計）は37.6%となっている。

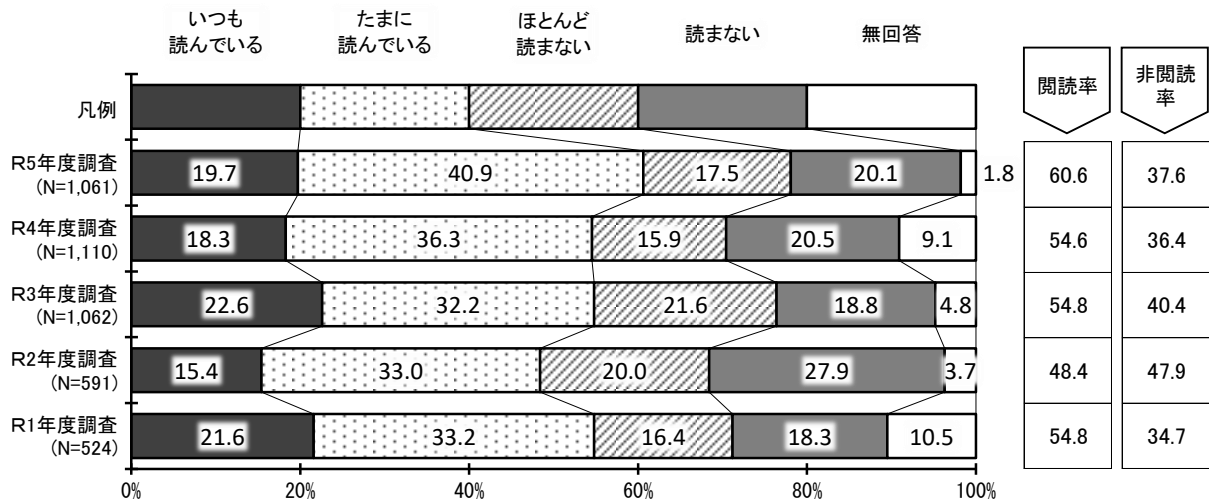
過去の調査結果と比べると、『非閲読率』は令和4年度調査から1.2ポイント増加している。

性別にみると、『閲読率』は女性（61.1%）の方が男性（60.3%）より高くなっている。

年代別にみると、『閲読率』が最も高くなっているのは、70歳代以上（76.7%）となっている。一方、『非閲読率』が最も高いのは、20歳代（75.0%）で、次いで、30歳代（59.4%）となっている。

小学校区別にみると、『閲読率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（69.9%）となっている。一方、『非閲読率』が最も高いのは、水城西小学校区（44.4%）となっている。

問 69. あなたは「太宰府市議会だより」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市議会ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも読んでいる	たまに読んでいる	ほとんど読まない	読まない	無回答	閲読率	非閲読率
全 体		1,061	209	434	186	213	19	643	399
		100.0	19.7	40.9	17.5	20.1	1.8	60.6	37.6
性別	男 性	461	18.7	41.6	15.8	21.9	2.0	60.3	37.7
	女 性	568	20.1	41.0	19.0	18.5	1.4	61.1	37.5
	無回答	32	28.1	28.1	15.6	21.9	6.3	56.2	37.5
年代別	20歳代	92	1.1	22.8	21.7	53.3	1.1	23.9	75.0
	30歳代	123	10.6	28.5	24.4	35.0	1.6	39.1	59.4
	40歳代	173	15.6	35.8	24.9	22.5	1.2	51.4	47.4
	50歳代	191	19.4	46.6	18.8	14.1	1.0	66.0	32.9
	60歳代	191	20.4	49.7	14.7	12.6	2.6	70.1	27.3
	70歳代以上	284	31.3	45.4	10.2	10.9	2.1	76.7	21.1
	無回答	7	42.9	42.9	-	-	14.3	85.8	-
小学校区別	太宰府小学校区	132	16.7	46.2	13.6	20.5	3.0	62.9	34.1
	太宰府東小学校区	113	24.8	45.1	13.3	15.9	0.9	69.9	29.2
	太宰府南小学校区	104	23.1	42.3	16.3	16.3	1.9	65.4	32.6
	水城西小学校区	144	20.1	43.1	20.1	15.3	1.4	63.2	35.4
	水城西小学校区	126	17.5	36.5	19.0	25.4	1.6	54.0	44.4
	太宰府西小学校区	201	23.9	34.8	19.9	19.9	1.5	58.7	39.8
	国分小学校区	150	14.7	46.0	17.3	20.7	1.3	60.7	38.0
	わからない	73	12.3	30.1	21.9	32.9	2.7	42.4	54.8
	無回答	18	27.8	50.0	5.6	11.1	5.6	77.8	16.7

② 「太宰府市議会ホームページ」の閲覧状況

●「太宰府市議会ホームページ」の閲覧率は19.0%となっている。

「太宰府市議会ホームページ」について、『閲覧率』（「いつも見ている」と「たまに見ている」の合計）は19.0%となっている。一方、『非閲覧率』（「見たことがない」と「ほとんど見ていない」の合計）は71.5%となっている。

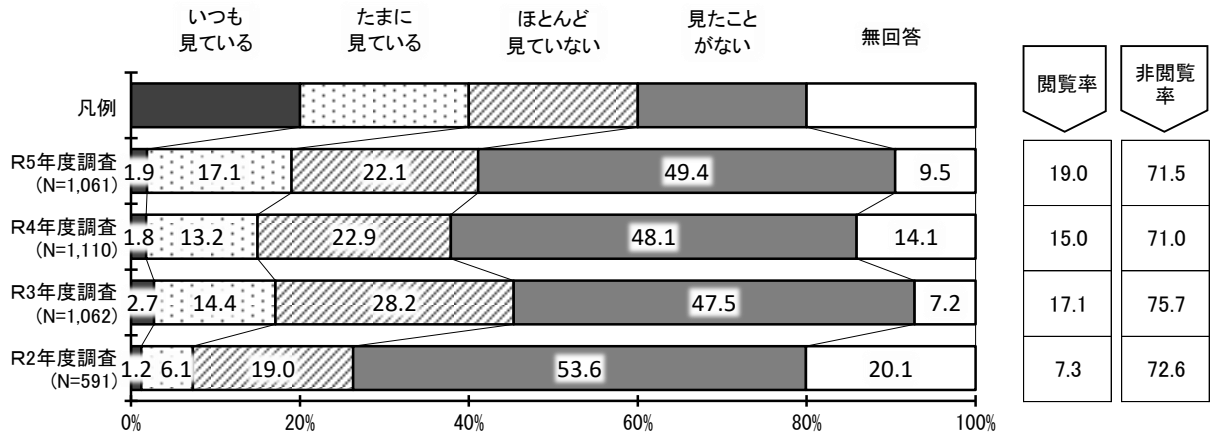
過去の調査結果と比べると、『閲覧率』は令和4年度調査から4.0ポイント増加している。

性別にみると、『閲覧率』は、男性（23.0%）の方が女性（15.9%）より高くなっている。

年代別にみると、『閲覧率』は50歳代（25.2%）が最も高くなっている。一方、『非閲覧率』が最も高いのは、30歳代（87.8%）となっている。

小学校区別にみると、『閲覧率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（23.1%）、次いで、太宰府小学校区（19.7%）となっている。一方、『非閲覧率』が最も高いのは水城西小学校区（77.0%）となっている。

問 69. あなたは「太宰府市議会だより」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市議会ホームページ」を見たりしていますか。（〇はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見ていない	見たことがない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全 体		1,061	20	181	235	524	101	201	759
		100.0	1.9	17.1	22.1	49.4	9.5	19.0	71.5
性 別	男 性	461	2.2	20.8	23.9	45.3	7.8	23.0	69.2
	女 性	568	1.8	14.1	21.1	53.0	10.0	15.9	74.1
	無回答	32	-	15.6	15.6	43.8	25.0	15.6	59.4
年 代 別	20歳代	92	-	9.8	21.7	65.2	3.3	9.8	86.9
	30歳代	123	1.6	7.3	24.4	63.4	3.3	8.9	87.8
	40歳代	173	1.7	13.3	28.9	50.9	5.2	15.0	79.8
	50歳代	191	1.6	23.6	25.1	45.0	4.7	25.2	70.1
	60歳代	191	1.6	19.4	22.5	45.5	11.0	21.0	68.0
	70歳代以上	284	3.2	20.1	15.1	43.3	18.3	23.3	58.4
	無回答	7	-	14.3	14.3	28.6	42.9	14.3	42.9
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	132	1.5	18.2	18.9	53.0	8.3	19.7	71.9
	太宰府東小学校区	113	2.7	20.4	19.5	48.7	8.8	23.1	68.2
	太宰府南小学校区	104	1.9	17.3	22.1	50.0	8.7	19.2	72.1
	水城西小学校区	144	0.7	16.7	20.1	48.6	13.9	17.4	68.7
	水城西小学校区	126	1.6	16.7	28.6	48.4	4.8	18.3	77.0
	太宰府西小学校区	201	3.5	15.9	20.9	49.8	10.0	19.4	70.7
	国分小学校区	150	1.3	15.3	23.3	52.0	8.0	16.6	75.3
	わからない	73	1.4	16.4	27.4	47.9	6.8	17.8	75.3
無回答		18	-	22.2	16.7	16.7	44.4	22.2	33.4

附属資料

附属資料＜使用した調査票＞

太宰府まちづくり市民意識調査 アンケートご協力のお願い

市民の皆様には日頃より市政運営にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本市では「令和の都さらに羽ばたく太宰府！～課題解決先進都市を目指して～」を目標に掲げ、市民の皆様のご意見や市の取組についての考えをお聞きし、今後のまちづくりに反映させていきたいと考えています。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、これからのまちづくりにとって非常に重要な調査となりますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和 6 年 3 月

太宰府市長 楠田 大蔵

【実施概要】

- 1 調査対象：満 18 歳以上の市民の皆様から **2,000 人を無作為抽出**
- 2 回答方法：以下のいずれかの方法でご回答ください。
 - ①調査票にご記入いただき、**3 月 15 日（金）までに同封の返信用封筒により返送してください。（切手不要）**
※広報だざいふ令和 6 年 2 月号掲載内容から調査期間が変更になっています。
 - ②パソコンやスマートフォンから web ページにアクセスいただき、**3 月 15 日（金）までに回答してください。**
<https://questant.jp/q/Dazaifu-CitizenSurvey>
※回答を途中で中断する場合は、保存されませんので、最後まで回答いただくか、改めて初めから回答をお願いいたします。
- 3 アンケートテーマ
 - ①あなた自身についておたずねします
 - ②まちの住みやすさについておたずねします
 - ③本市の行政運営についておたずねします
 - ④あなた自身の考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします



回答用 QR コード

【その他】

- 1 調査には**無記名**でお答えください。
- 2 あて名のご本人がお答えください
※ご本人が回答できない場合は、家族の方がお答えいただいても結構です。
- 3 ご記入は**鉛筆またはボールペン**をお願いします。
- 4 お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
- 5 アンケート結果は数字で統計処理を行い、市ホームページや広報だざいふで公表する予定です。回答結果をそのまま公表することはありませんので、**個人情報の観点でご迷惑をおかけすることはありません。**

【お問合せ先】

太宰府市 総務部 経営企画課 企画政策係 電話 921-2121（内線 548）

《①あなた自身についておたずねします》

問 1. あなたの戸籍上の性別についてお選びください。(○は1つ)

1. 男
2. 女

問 2. あなたの年齢を次の中からお選びください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 18～24 歳 | 6. 45～49 歳 | 11. 70～74 歳 |
| 2. 25～29 歳 | 7. 50～54 歳 | 12. 75 歳以上 |
| 3. 30～34 歳 | 8. 55～59 歳 | |
| 4. 35～39 歳 | 9. 60～64 歳 | |
| 5. 40～44 歳 | 10. 65～69 歳 | |

問 3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。(○は1つ)

1. 単身世帯
2. 夫婦のみ
3. 2世代世帯（親と子）
4. 3世代世帯（親と子と孫）
5. 4世代以上
6. 兄弟姉妹のみ
7. その他（ ）

問 4. あなたのご職業を次の中からお選びください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 会社員 | 6. パート・アルバイトなど |
| 2. 農林水産業 | 7. 学生 |
| 3. 自営業（農林水産業以外） | 8. 無職 |
| 4. 団体職員・公務員 | 9. その他（ ） |
| 5. 家事専業 | |

問 5. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 太宰府小学校区 | 5. 水城西小学校区 |
| 2. 太宰府東小学校区 | 6. 太宰府西小学校区 |
| 3. 太宰府南小学校区 | 7. 国分小学校区 |
| 4. 水城小学校区 | 8. わからない |

問 6. あなたは本市に住んで何年になりますか。次の中からお選びください。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 3年未満 | 5. 15年以上～20年未満 |
| 2. 3年以上～5年未満 | 6. 20年以上～25年未満 |
| 3. 5年以上～10年未満 | 7. 25年以上 |
| 4. 10年以上～15年未満 | |

《②まちの住みやすさについておたずねします》

問7. あなたは本市が住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい
5. どちらともいえない

問8.【問7で「1. 住みやすい」、「2. どちらかといえば住みやすい」と答えた方におたずねします。】

住みやすいと思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 友人・知人が多い
2. 自宅周辺の環境がよい
3. サークル活動が盛ん
4. まちづくりに参加しやすい
5. 史跡や文化財が身近にある
6. まちの知名度が高い
7. 大学・短大が多い
8. 通勤通学の交通の便がよい
9. 商店が多く買い物が便利
10. 生涯学習・スポーツの事業が盛ん
11. 高齢者施設が充実している
12. 子育てしやすい制度や環境が整っている
13. 医療機関が多い
14. 教育・文化施設の整備が進んでいる
15. 健康づくりのための事業が充実している
16. 道路や上下水道の整備が進んでいる
17. 公園や街路樹などの緑が多い
18. その他（ ）

問9. 【問7で「3. どちらかといえば住みにくい」、「4. 住みにくい」と答えた方におたずねします。】

住みにくいと思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

1. 近所づきあいが苦手
2. 自宅周辺の環境が悪い
3. サークル活動が少ない
4. まちづくりに参加しにくい
5. 保険料や公共料金が高い
6. 災害対策に不安がある
7. 通勤通学の交通の便が悪い
8. 近所に商店が少ない
9. 就職先が少ない
10. 生涯学習・スポーツの事業が少ない
11. 高齢者や障がい者の福祉施策が遅れている
12. 子育て支援の制度や環境が不十分
13. 大型総合病院がない
14. 教育・文化施設の整備が不十分
15. 健診や健康づくり事業などが不十分
16. 道路や上下水道の整備が遅れている
17. 公園や街路樹などの緑が少ない
18. その他（ ）

《③本市の行政運営についておたずねします》

問 10. あなたは市政に関心はありますか。(○は1つ)

1. ある
2. どちらかといえばある
3. どちらかといえばない
4. ない

問 11. あなたは市政を信頼していますか。(○は1つ)

1. 信頼している
2. どちらかといえば信頼している
3. どちらかといえば信頼していない
4. 信頼していない

問 12. あなたは本市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 13. あなたは本市職員の窓口での対応や日頃の仕事に対する姿勢について、満足していますか。(○は1つ)

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問 14. あなたは第2期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略（通称：まちづくりビジョン）を知っていますか。(○は1つ)

1. 内容を知っている
2. 読んだことがある
3. 聞いた（見た）ことがある
4. 知らない

問 15. 本市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、本市が行っているまちづくりビジョンに掲げる次の1～31の施策についておたずねします。

(A) あなたはこの施策がどの程度重要だと思いますか。

(B) あなたはこの施策にどの程度満足していますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ1つ選んで、数字に○印をお付けください。

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
(A) 重要度、(B) 満足度のそれぞれに、○印を1つずつつけてください										
記入例	1	②	3	4	5	1	②	3	4	5
基本目標 1 太宰府の底力総発揮構想（成長戦略）										
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進 (回遊ルートの充実、宿泊飲食施設等の滞在向け施設の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策02 地場みやげ産業の創出 (地域の特性を活かした特産品等の検討など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策03 観光セールスプロモーションの促進 (官民一体となった観光セールスプロモーション、PRキャラクターの活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成 (企業誘致の実現、起業や創業支援事業の拡充など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化 (市内宗教法人や学校法人、九州国立博物館との連携など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進 (民間企業や団体との連携、市役所組織体制の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策０７ 人材育成・登用 (外部人材との交流による市役所組織の活性化、時代に即した人材の育成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策０８ ふるさと納税の拡充 (ふるさと納税返礼品の充実、企業版ふるさと納税の活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標２ 太宰府型全世代居場所と出番構想（移住定住戦略）										
施策０９ 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化 (市民参加のまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策１０ 子育て・教育環境の充実 (先進的な教育環境等の整備や充実、保育サービスの充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策１１ 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充 (地域福祉の推進、福祉関係団体との連携強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策１２ 健康寿命の延伸 (健康を支える環境の整備、介護予防事業の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策１３ 就職氷河期世代対策 (就職氷河期世代への社会参加支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策１４ 不登校、ひきこもり対策 (不登校やひきこもりの方の、学校復帰や社会的自立支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策１５ ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興 (市民の文化芸術への参画、歴史や文化、芸術の活用による観光コンテンツの拡充など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策１６ スポーツ振興 (健康づくりや仲間づくり、生きがいづくりにつながる生涯スポーツの実現など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策１７ 空家活用の推進 (空家化の予防推進、空家等を流通させる仕組みづくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策 18 全世代交流型施設の検討 (全世代が交流できる居場所づくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 19 人権尊重のまちづくりの推進 (人権教育や啓発による、市民一人ひとりの人権が真に尊重されるまちづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標 3 令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想（圏域拡大戦略）										
施策 20 史跡指定 100 年とこれからの保存・活用 (大宰府関連史跡の保存や活用、整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 21 国・県・国内外自治体との連携の推進 (国や県、他市町村との連携、国際文化都市としての国外自治体との連携など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 22 交流人口・関係人口の拡大 (本市にゆかりのある方やこれから関わりを持とうとする方との関係づくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 23 交通環境の向上 (交通の回遊促進、交通体系整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標 4 1300 年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府構想（行財政改革）										
施策 24 防災力の強化 (市民の防災意識の向上、災害に強いまちづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 25 市街地の活性化 (市内エリアごとの戦略に基づいたまちづくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し (公共施設再編、運営方法や利用料金の見直しなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策２７ 諸団体の強化、再編、補助金等改革 (諸団体への補助金交付適正化や効率化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策２８ 地域コミュニティの強化、再編 (地域コミュニティの効率的な運営や組織づくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策２９ ごみの削減を始めとする環境負荷低減 (ごみ排出量削減や資源化率の向上など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策３０ ICTの活用推進、働き方改革 (オンライン手続きの拡大、SNS 等を用いた情報発信・交換の促進、市役所働き方改革の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策３１ 持続可能なまちへの取組 (持続可能なまちづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 16. 本市では市民を主体とした自治を推進し、市民福祉の向上を図ることを目的に「太宰府市自治基本条例」を制定していますが、あなたはこの条例についてご存じですか。

(○は１つ)

1. 内容を知っている
2. 読んだことがある
3. 聞いた（見た）ことがある
4. 知らない

≪④あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします≫

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 17. あなたは本市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)

1. 子育てがしやすい
2. どちらかといえば子育てがしやすい
3. どちらかといえば子育てがしにくい
4. 子育てがしにくい

【65 歳以上の方だけにおたずねします。】

問 18. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)

1. 感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらかといえば感じていない
4. 感じていない

問 19. あなたは本市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 高齢者福祉サービスの内容を知らない

問 20. あなたは本市の障がい福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 障がい福祉サービスの内容を知らない

問 21. あなたは市内の公共施設（市役所など）が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 22. あなたは市内の民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 23. あなたは本市では高齢者や障がい者などの交通弱者にとって必要な移動手段が確保されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 24. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 25. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. 健康である
2. 健康な方である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問 26. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいることがありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない

問 27. あなたはこの一年間に、健康診査（がん検診、人間ドックを含む）を受けましたか。(○は1つ)

1. 受けた
2. 受けなかった

問 28. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

- ① 3日分程度の食料・飲料の備蓄をしている。
1. はい 2. いいえ
- ② 避難場所を知っている。
1. はい 2. いいえ
- ③ 警戒レベル3 高齢者等避難などの災害情報の入手方法を知っている。
1. はい 2. いいえ
- ④ 家具の転落・転倒防止策をとっている。
1. はい 2. いいえ

問 29. あなたは消防団という団体の活動内容を知っていますか。(○は1つ)

- 1. 活動内容をよく知っている
- 2. 活動内容を一部知っている
- 3. 活動内容は知らないが、消防団があることは知っている
- 4. 消防団があることを知らない

問 30. あなたは市内に住むうえで防犯の面で安心していただけますか。(○は1つ)

- 1. 安心している
- 2. どちらかといえば安心している
- 3. どちらかといえば不安である
- 4. 不安である

問 31. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。(○は1つ)

- 1. ある
- 2. ない

問 32. 【問 31 であると答えた方におたずねします。】

それはどのような人権侵害ですか。(○はいくつでも)

- 1. 同和問題
- 2. 性別に関する人権問題
- 3. 子どもの人権問題
- 4. 高齢者の人権問題
- 5. 障がいのある人の人権問題
- 6. 外国人の人権問題
- 7. HIV 感染者、ハンセン病などに関する人権問題
- 8. インターネットによる人権侵害問題
- 9. 職場における人権問題
- 10. 新型コロナウイルス感染症等の感染症に関連する人権問題
- 11. その他

問 33. あなたは市内で同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)

1. 尊重されている
2. どちらかといえば尊重されている
3. どちらかといえば尊重されていない
4. 尊重されていない

問 34. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(○は1つ)

1. 同感する
2. ある程度同感する
3. あまり同感しない
4. 同感しない

問 35. 配偶者（元配偶者も含む）や交際相手からDVを受けた経験がある場合、どこ（誰）かに相談をしましたか。[※DVには身体的・精神的・性的・経済的な暴力を含む] (○は1つ)

1. 相談した
2. どこ（誰）にも相談しなかった
3. DVを受けたことはない

問 36. あなたは日頃から自発的に学習に取り組んでいますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日取り組んでいる
2. 週に1回程度取り組んでいる
3. 月に数回程度取り組んでいる
4. 年に数回程度取り組んでいる
5. ほとんど取り組んでいない

問 37. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。(○は1つ)

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に3回程度行っている
3. 週に1回程度行っている
4. 月に数回程度行っている
5. 年に数回程度行っている
6. ほとんど行っていない

- 問 38. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）
1. ほぼ毎日行っている
 2. 週に1回程度行っている
 3. 月に数回程度行っている
 4. 年に数回程度行っている
 5. ほとんど行っていない
- 問 39. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草などあき地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。（○は1つ）
1. 守られている
 2. ある程度守られている
 3. あまり守られていない
 4. 守られていない
- 問 40. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。（○は1つ）
1. いつも参加している
 2. たまに参加している
 3. 参加していない
- 問 41. あなたは市内の自然は豊かと感じますか。（○は1つ）
1. そう思う
 2. ややそう思う
 3. あまりそう思わない
 4. そう思わない
- 問 42. あなたは市内で、野鳥や昆虫、水辺の生き物等を観察したり、ふれあう場所がありますか。（○は1つ）
1. 観察したり、ふれあう場所があり、満足している
 2. 観察したり、ふれあう場所がわからない
 3. 観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う
- 問 43. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。（○は1つ）
1. 取り組んでいる
 2. ときどき取り組んでいる
 3. あまり取り組んでいない
 4. 取り組んでいない

- 問 44. あなたは、不要な紙類（新聞紙・雑誌及び雑紙・ダンボール）及び古布の資源回収を利用していますか。（○は1つ）
1. いつも利用している
 2. たまに利用している
 3. 利用していない
- 問 45. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。（○は1つ）
1. 行っている
 2. ある程度行っている
 3. あまり行っていない
 4. ほとんど行っていない
- 問 46. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会、イベントに参加したことがありますか。（○は1つ）
1. 年に2回以上参加した
 2. 年に1回程度は参加した
 3. 参加したことはない
- 問 47. あなたは市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。（○は1つ）
1. そう思う
 2. どちらかといえばそう思う
 3. どちらかといえばそう思わない
 4. そう思わない
- 問 48. あなたがお住まいの地域は、良好なまちなみだと思いますか。（○は1つ）
1. そう思う
 2. どちらかといえばそう思う
 3. どちらかといえばそう思わない
 4. そう思わない
- 問 49. あなたがお住まいの地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。（○は1つ）
1. そう思う
 2. どちらかといえばそう思う
 3. どちらかといえばそう思わない
 4. そう思わない

問 50. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 51. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. バスを利用しないのでわからない

問 52. 市内のバスの中でコミュニティバス「まほろば号」についておたずねします。あなたはまほろば号をどの程度の頻度で利用しますか。(○は1つ)

1. 週5日以上
2. 週3～4日
3. 週1～2日
4. 月2～3日
5. 年2～3日
6. 利用しない

問 53. まほろば号は運行費用を運賃収入(年間約5千万円)と本市の財政負担(年間約1億5千万円)で運行しており、一律運賃100円でご利用いただいています。あなたは運賃や利便性についてどのように思いますか。(○は1つ)

1. 現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い。
2. 運賃を値下げし、財政負担を増やす方が良い。
3. 運賃を値上げし、財政負担を減らす方が良い。
4. 運賃を値上げし、利便性を高める方が良い。
5. まほろば号を利用しないのでわからない。

問 54. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. 鉄道を利用しないのでわからない

問 55. あなたは市内の道路全般について、円滑に移動できると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 56. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(2つ以上あるときは主なもの1つ)

- | | |
|---------|--------------------|
| 1. 徒歩 | 5. コミュニティバス(まほろば号) |
| 2. 自転車 | 6. 路線バス |
| 3. 自家用車 | 7. タクシー |
| 4. 鉄道 | 8. その他() |

問 57. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|---------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市 |
| 2. 福岡市 | 6. 那珂川市 |
| 3. 筑紫野市 | 7. 宇美町 |
| 4. 春日市 | 8. 1から7以外の市町村 |

問 58. あなたは市内の歴史・文化遺産を誇りに思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 59. あなたは本市の日本遺産や市民遺産についてご存知ですか。(○は1つ)

1. 両方知っている
2. 日本遺産については知っている
3. 市民遺産については知っている
4. どちらも知らない

問 60. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。(○は1つ)

1. 地域の活気や発展につながり、好ましいと思う
2. どちらかといえば好ましいと思う
3. どちらかといえば好ましくないと思う
4. ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う

問 61. あなたは今後の本市の観光に何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---------|----------|-----------|-----------|
| 1. 宿泊施設 | 3. 駐車場整備 | 5. 道路整備 | 7. PR |
| 2. 飲食施設 | 4. 特産品 | 6. 市内交通機関 | 8. その他() |

問 62. あなたは本市が^{フ ヨ グン}大韓民国扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(○はいくつでも)

1. 扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた
2. 奈良市との友好都市締結は知っていた
3. 多賀城市との友好都市締結は知っていた
4. 中津市との友好都市締結は知っていた
5. どれも知らなかった

問 63. あなたは自治会活動及び小学校区自治協議会活動に参加していますか。(○は1つ)

1. 参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

問 64. あなたは自治会活動以外(問 63 以外)のボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)

1. 参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

問 65. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 66. あなたはどのような媒体で本市が発信している情報を得ていますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1. 広報だざいふ | 6. YouTube |
| 2. ホームページ | 7. d ボタン |
| 3. X(旧 Twitter) | 8. その他() |
| 4. Facebook | 9. 情報を得ていない |
| 5. LINE | |

問 67. あなたは「広報だざいふ」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）

広報だざいふ	太宰府市ホームページ
1. いつも読んでいる	1. いつも見ている
2. たまに読んでいる	2. たまに見ている
3. ほとんど読まない	3. ほとんど見ていない
4. 読まない	4. 見たことがない

問 68. あなたはどのような媒体で市議会が発信している情報を得ていますか。（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. 太宰府市議会だより | 6. YouTube |
| 2. ホームページ | 7. d ボタン |
| 3. X（旧 Twitter） | 8. その他（ ） |
| 4. Facebook | 9. 情報を得ていない |
| 5. LINE | |

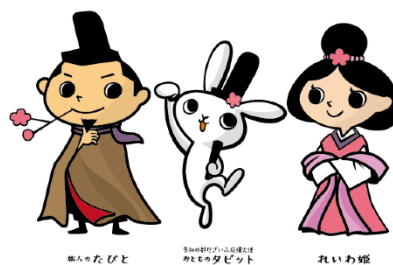
問 69. あなたは「太宰府市議会だより」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市議会ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）

太宰府市議会だより	太宰府市議会ホームページ
1. いつも読んでいる	1. いつも見ている
2. たまに読んでいる	2. たまに見ている
3. ほとんど読まない	3. ほとんど見ていない
4. 読まない	4. 見たことがない

問 70. 最後にまちづくりについてご意見などがありましたら、お聞かせください。《自由意見欄》

貴重なご意見をありがとうございました。
今後も、市政へのご理解ご協力をお願いいたします。

ご記入が済みましたら、
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
3月15日（金）までに投函してください。



太宰府まちづくり市民意識調査

報 告 書

編集・発行 太宰府市 総務部 経営企画課
〒818-0198
福岡県太宰府市観世音寺一丁目1番1号
TEL 092-921-2121
FAX 092-921-1601